

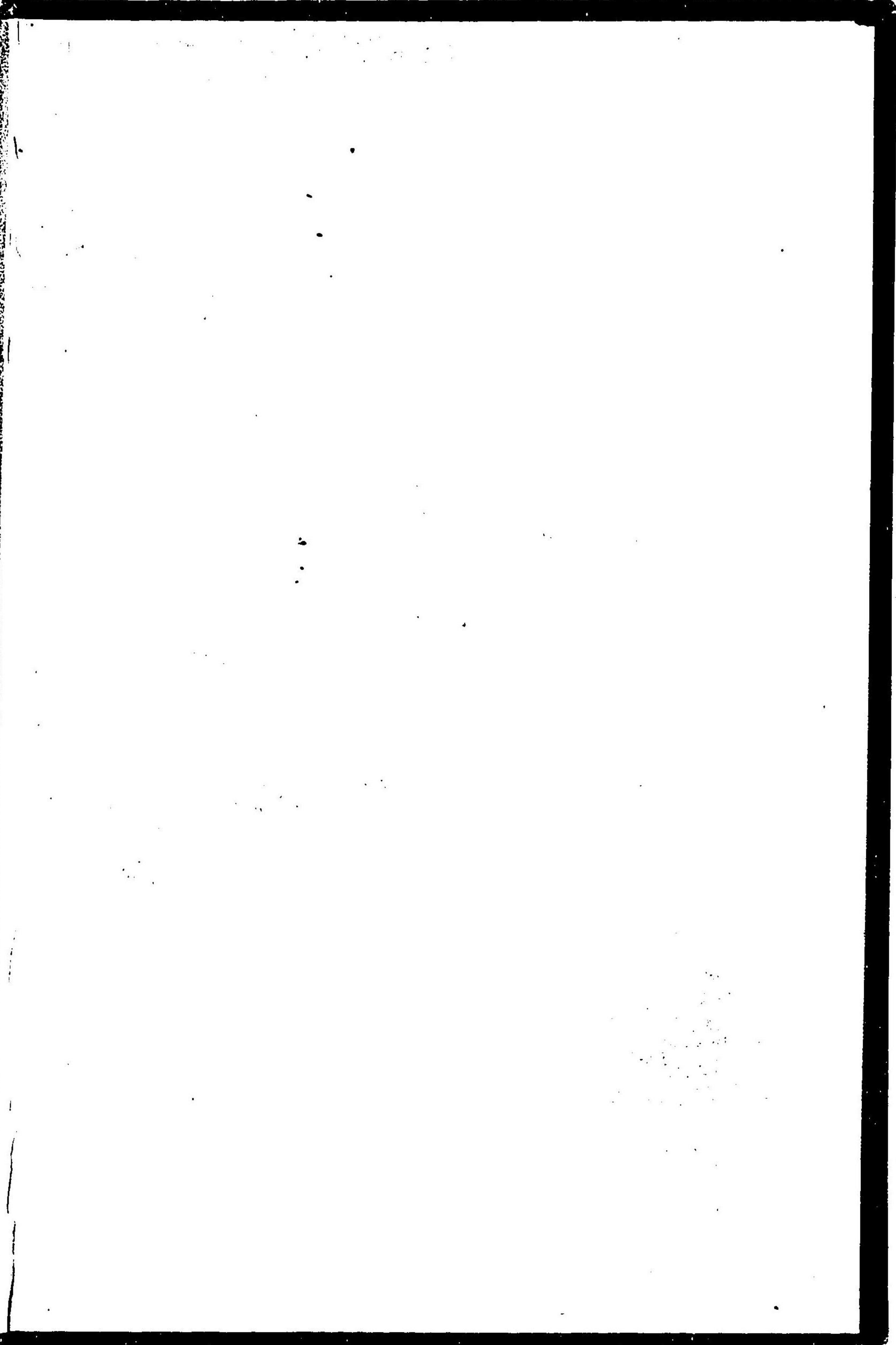
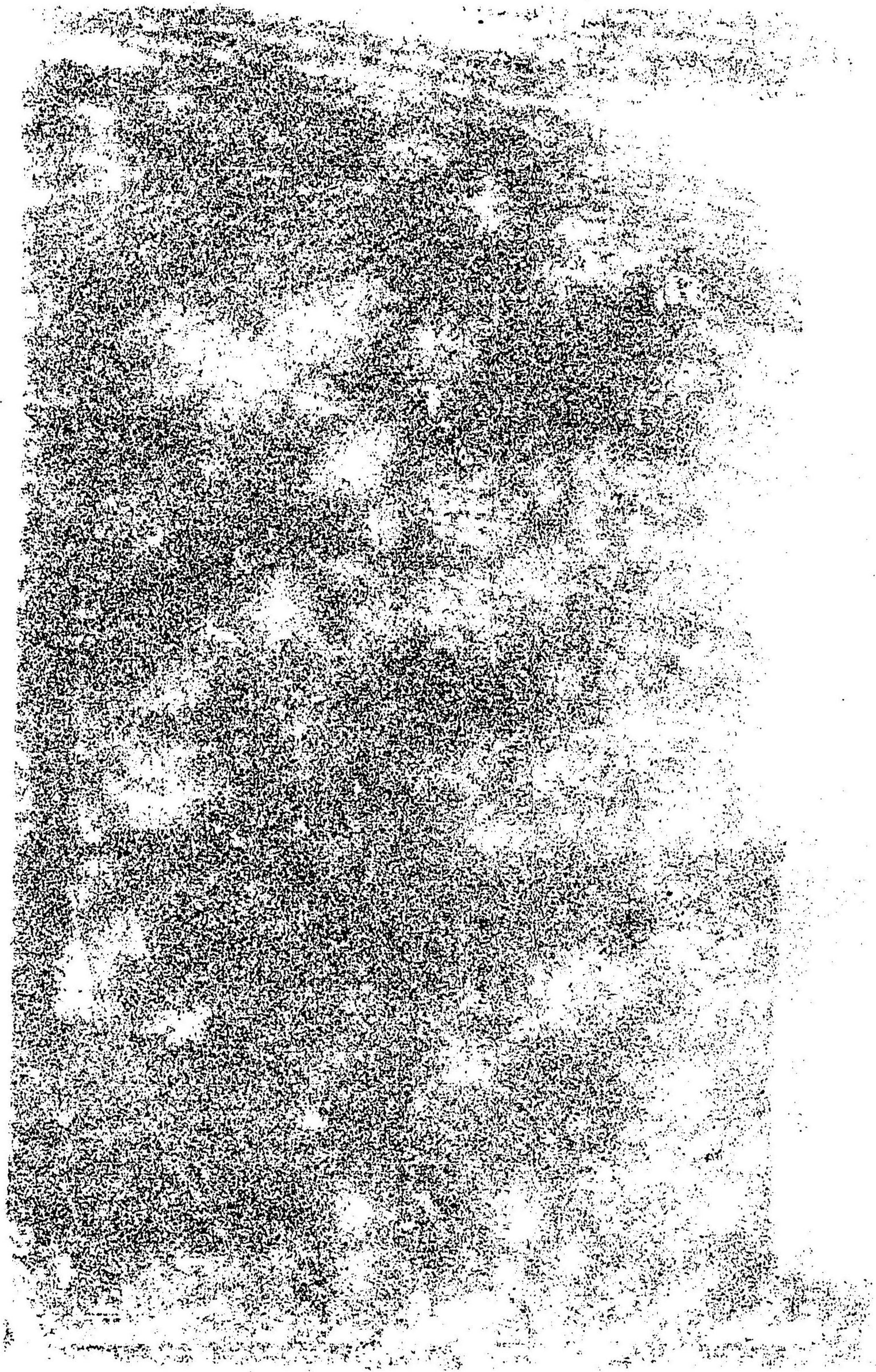
918.5

Q-846A

Q-1118

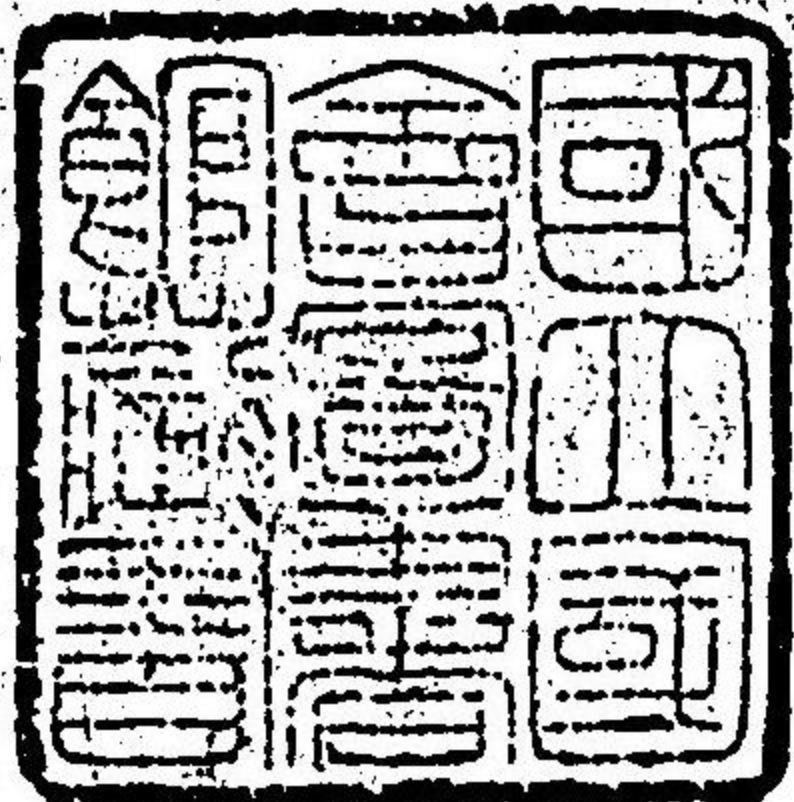
Q-1118

Q-1118



蜀山人全集

索引



~~918.5~~
~~Q 846.5~~
54
918.5
Q 846.5



261244

蜀山人全集索引

凡 例

- 一本索引は蜀山人全集中に散在せる事項を五十音順辭書體に排列し搜索に便ならしむ
- 一排列の法は五十音順を基礎としたれど、同音中にありて首字同じきものは一處に集むるの折衷法を採り、必しも精密なる音順に依らず、是れ一目觀易からしめんが爲のみ
- 一標題の稱呼は最も普通なるものを採り諸所より参照を附したり、又必要に依りては二ヶ所三ヶ所に出せるものあり
- 一檢者若し所要の標題を檢出し能はざれば更に他の同意義又は廣狹の同意味の事項を搜索されたり
- 一本索引に用ふる符號は、最初卷數并其丁數、次に書名の略號を以てす、假令ば(四ノ六二九上、一話)
- とあるは四卷六百二十九頁上段にありて、一話一言中にあるものなり
- 一書名の略號は別表收録書目を参照すべし

明治四十一年

編 者 識

収録書目

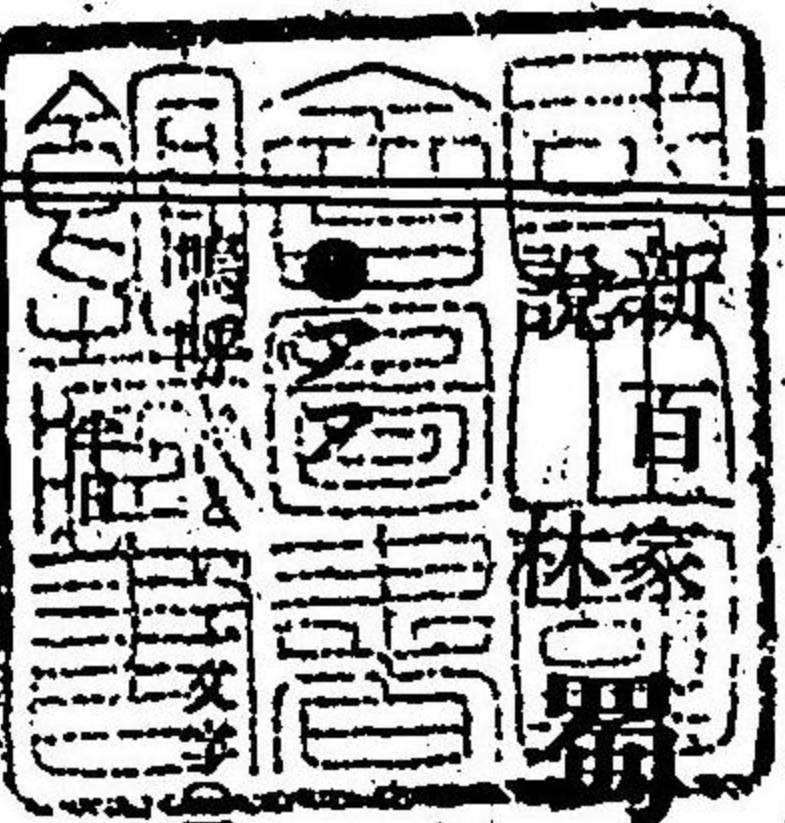
巻	巻	巻	巻
二	一	一	一
四方のあが かくれ里の記 春夏帖 武江披砂 玉川披砂 調布日記 小春紀行 革命紀行 壬戌紀行 葦の若葉 改元紀行 三餐餘興	三 改元 葦の 壬戌 革命 小春 調布 玉川 武江 春夏 四方	略	號
四方の留粕 杏園詩集 蜀山文集 寐惚先生文集 賣飴土平傳 檀那山人藝舍集 二大家風雅 めてた百首夷歌 蜀山百首 狂歌百人一首 千とせの門 巴人集	四 杏園 蜀山 寐惚 賣飴 檀那 二大 めて 蜀山 狂歌 千と 巴人	略	號

（Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to low contrast and graininess.)

狂詩諺解	李不盡通詩選	通詩選笑知	江戸花海老	粹町甲聞	甲驛新話	尺牘	寛政御用留	科場窓稿	あしてるの記	宛丘子傳	蜀山集	萬紫千紅	千紅萬紫	巴人集拾遺
						尺牘	寛政	科場				萬紫	千紅	巴拾
								卷三						
玉川砂利	瓊浦又綴	瓊浦雜綴	百舌の草莖	石楠堂隨筆	迦遊從之	俗耳鼓吹	瀬田問答	半日閑話	阿姑麻傳	鶯笛	鯛の味噌津	春笑一刻	和漢同詠道行	道中粹語錄
玉	瓊	瓊	百	石	迦	俗	瀬	半						
砂	又	雜	舌	楠	遊	耳	田	日						

奴風	南畝莠言	金層木	向岡閑話
奴風	南畝	金層	向岡
	卷五	卷四	
一話一言補遺	同下	増一話一言上	假名世説
一		一	假
補		話	世

山人全集索引



<p>藍 一染の衣服の落し様(三ノ五七〇下、百舌)</p> <p>藍返し染 (三ノ二五九下、半日)</p> <p>愛岳麓文庫 「オホ」大久保忠務ヲ見ヨ</p> <p>愛染明王 南都西大寺——開帳(三ノ四三七上、半日)</p> <p>朝所 アイランドコロの讀み方(四ノ一二四下、一話)</p> <p>●アウ 鴛蛙集 の序(二ノ二五七下、巴人)</p> <p>櫻花帖 ——顯跋(五ノ二一九)</p>	<p>櫻棠花 下、一話(四ノ九二下、一話)</p> <p>奥州 遊女——の挑灯(三ノ四九一上、俗耳)</p> <p>遊女——の句(四ノ七二上、一話)</p> <p>鸚鵡藏 (四ノ七四下、一話)</p> <p>鸚鵡石 伊勢磯部の——(四ノ七四下、一話)</p> <p>●アオ 青蛙 ドング(三ノ六一四上、瓊雜)</p> <p>青木郷助 被召出(三ノ五三上、半日)</p> <p>青木昆陽 (五ノ二二五上、一話)</p> <p>——小傳(三ノ四七二下、瀬田)</p> <p>——著述目錄(五ノ三〇九上、一話)</p>	<p>——の墓(一ノ四五三上、武江)</p> <p>青木緬嗣 踰醫——死去(四ノ六〇下、一話)</p> <p>青木鷲水 (三ノ八三四下、假世)</p> <p>青葉集 の序(二ノ二四二下、巴人)</p> <p>青葉笛 (三ノ三三八下、半日)</p> <p>青本 といふ名(三ノ二五八下、半日)</p> <p>●アカ 赤井得水 書家——(四ノ一四五下、一話)</p> <p>赤城神社 祭禮通行道筋(四ノ四八九下、一話)</p> <p>赤坂 江戸——の變遷(五ノ二六三下、一話)</p> <p>赤穂義士 赤城磯臣傳抄(四ノ</p>	<p>六九〇上、一話)</p> <p>東屋義士行(四ノ六二四上、一話)</p> <p>——名譽(三ノ八九下、半日)</p> <p>——復讐申合(四ノ三七三上、一話)</p> <p>——復讐の實況(三ノ三八九上、半日)</p> <p>假名せる——の立退ニ付届書(四ノ七七九上、一話)</p> <p>加盟者并欠落者の事(四ノ六四〇下、一話)</p> <p>——討入の發束(四ノ六九四下、一話)</p> <p>——討入の合印(四ノ六九六上、一話)</p> <p>——切腹被仰付(四ノ六二三下、</p>
---	--	--	---

アア—アカ

<p>一話)</p> <p>子供の事(四ノ六三三下、一話)</p> <p>水野監物御預—物語書留(五ノ二八六下、一話)</p> <p>辭世(三ノ四〇六上、半日)</p> <p>遺品(四ノ六二二下、一話)</p> <p>泉岳寺開帳并—遺物(三ノ四〇四上、半日)</p> <p>—の遺族(四ノ七七九下、一話)</p> <p>【附言】大石内蔵助以下各人は各其名の下に收む</p> <p>赤本 といふ名(三ノ二五八下、半日)</p> <p>赤松牧太 の歎門(四ノ八一〇上、一話)</p> <p>赤松圓心 禪僧に説破せらる(四ノ四三〇上、一話)</p> <p>銅 「トウ」兩ヲ見ヨ</p>	<p>蒲屋半七 の石塔(四ノ六六一上、一話)</p> <p>三勝—の石塔(三ノ七三五上、金層)</p> <p>—の墓(三ノ七三五下、金層)</p> <p>●アキ</p> <p>秋月氏 の祖先(四ノ一〇一上、一話)</p> <p>秋の七草 (三ノ二〇六下、半日)</p> <p>秋葉権現 長崎—の開帳(三ノ五九二下、瓊雜)</p> <p>秋山源藏 甲州の士—辭世(四ノ三七五下、一話)</p> <p>●アク</p> <p>悪路王 の體(四ノ三六五下、一話)</p> <p>●アケ</p> <p>明智光秀 (四ノ四二三上、一話)</p> <p>—本能寺を攻む(四ノ五〇八上、一話)</p>	<p>下、一話)</p> <p>上ケ米 御書付(四ノ三二五上、一話)</p> <p>揚ケ物 菊の葉渡(三ノ七六七下、南畝)</p> <p>朱樂菅江 狂歌師—の狂名(三ノ八〇二下、奴風)</p> <p>●アコ</p> <p>柏 (四ノ三三〇下、一話)</p> <p>●アサ</p> <p>浅井奉政 の著書(四ノ五八九下、一話)</p> <p>浅草 の名物(三ノ二二五下、半日)</p> <p>浅草市 (三ノ四五一上、半日)</p> <p>「トシ」歳の市ヲ見ヨ</p> <p>浅草川 (二ノ四三九下、武江)</p> <p>浅草觀世音 の開帳(三ノ二七三下、半日)</p> <p>—養老(五ノ五二七下、一話)</p>	<p>浅草三社 —考(四ノ六八五下、一話)</p> <p>浅草寺 「セン」浅草寺ヲ見ヨ</p> <p>浅草橋 (二ノ四三四上、武江)</p> <p>浅野家 播州赤穂—臣遺族の事(五ノ四九九下、一話)</p> <p>浅野長矩 元祿古武備(五ノ六三九上、一補)</p> <p>—分家願書付(五ノ二二〇下、一話)</p> <p>殿中刃傷(四ノ三三二下、一話)</p> <p>—墳墓(四ノ六九三上、一話)</p> <p>—奥方所持の三方(三ノ七〇三上、向阿)</p> <p>—奥方の寺(三ノ七〇三下、向阿)</p> <p>浅野浪士 「アカ」赤穂浪士ヲ見ヨ</p> <p>浅間山 信州—噴火一件(四ノ二二二下、一話)</p>
---	--	---	---

<p>ノ八一三下、一話)</p> <p>朝顔 黄—の事(五ノ三五六上、一話)</p> <p>朝倉氏 系圖(二ノ三二六下、朝布)</p> <p>朝妻船 一蝶の—(四ノ四〇〇下、一話)</p> <p>朝比奈 の紋(三ノ一〇四下、半日)</p> <p>字 上田三郎といふ—(四ノ二一〇上、一話)</p> <p>麻布 江戸浅布原(二ノ四五一上、武江)</p> <p>麻布十番 の馬場(二ノ四八三下、武江)</p> <p>●アシ</p> <p>蘆 難波の—(四ノ三三四下、一話)</p> <p>蘆のまろ屋 歌に詠ずる—(三ノ七四八上、南畝)(三ノ六</p>	<p>九二上、向阿)</p> <p>足利氏 代々木像(二ノ一三五上、壬戌)</p> <p>足利直義 の製琴(四ノ三〇五上、一話)</p> <p>足利持氏 の墓(四ノ一一四下、一話)</p> <p>足利義滿 皇帝勅諭日本國王源道義(五ノ三三七下、一話)</p> <p>足輕 といふ名(三ノ一一二下、半日)</p> <p>足代弘臣 の發句(四ノ一〇七下、一話)</p> <p>●アス</p> <p>飛鳥井雅章 方言の歌(四ノ七二上、一話)</p> <p>飛鳥山 の碑(二ノ四七七上、武江)</p> <p>—碑築額(四ノ一一一上、一話)</p>	<p>—出來の年代(三ノ四七三下、湘田)</p> <p>—知行所(四ノ七一五上、一話)</p> <p>●アセ</p> <p>汗流 の藥(三ノ五七二下、百舌)</p> <p>●アタ</p> <p>アダン草 の漢名(三ノ五一一下、遊遊)</p> <p>—及筆草(三ノ五三三下、半日)</p> <p>愛宕神社 愛宕山毘沙門天使者の式(五ノ三五二下、一話)</p> <p>愛宕山 芝—(二ノ四四九上、武江)</p> <p>新橋 江戸—の舊名(二ノ四七六下、武江)</p> <p>—出來の年代(二ノ四四九上、武江)</p> <p>●アチ</p> <p>安治川 攝津國—(二ノ六六</p>	<p>上、淡若)</p> <p>阿茶局 の墓(二ノ五〇四下、武江)(四ノ五九七下、一話)</p> <p>●アツ</p> <p>小豆餅 「モチ」餅ヲ見ヨ</p> <p>熱田神宮 の四門(五ノ五四四下、一補)</p> <p>—傳左衛門茶所(四ノ二一〇上、一話)</p> <p>安土山 の肥(五ノ三四二上、一話)</p> <p>吾妻 遊女佐渡島—(四ノ七二二下、一話)</p> <p>遊女—の發句(四ノ一一三上、一話)</p> <p>吾妻橋 淺草竹町新規模普請(三ノ二五四上、半日)</p> <p>吾妻山 上州—噴火一件(四ノ八一二下、一話)</p>
---	---	--	--

<p>案内川 高尾山麓(三ノ六八 八下、向阿)</p> <p>穴山梅雪 の跡目(四ノ七四五 下、一話)</p> <p>●アニ 兄殺(三ノ三〇二下、半日)</p> <p>●アハ あはれみて うつみたまへといふ詞(四ノ二九四上、一話)</p> <p>鮑 石決明を柔に煮る法(三ノ六 八八下、向阿)</p> <p>鮑結 (四ノ六〇下、一話)</p> <p>阿波夢物語 といふ書(三ノ二 二八上、半日)</p> <p>●アヒ 相對死 「シヤ」情死ヲ見ヨ</p> <p>會津 の風俗(三ノ七一上、半日)</p> <p>●アフ 扇 童(四ノ三八三上、一話)</p> <p>日本一を洋一といふ(四ノ三〇</p>	<p>三下、一話)</p> <p>葵 の種類(四ノ二九九下、一話)</p> <p>鏡 名物出猿入猿御(傳來寫(五ノ二五六下、一話)</p> <p>近江國 の名(三ノ五三六上、石楠)</p> <p>近江春定 筆の名匠(三ノ 八三二下、假世)</p> <p>油 江戸城一の發高(四ノ三四三 上、一話)</p> <p>●アハ 阿部仲磨 の歌(四ノ四八五下、一話)</p> <p>●アホ あほら 「クシ」愚者ヲ見ヨ</p> <p>●アマ あまがゆ 醜を—といふ(一ノ二三三上、小春)</p> <p>アマゾウネン 南米—の風俗(三ノ五八八下、瓊雜)</p>	<p>甘酒 の製法(三ノ五六七上、百舌)(四ノ二二一上、一話)</p> <p>天野氏 —證文(三ノ一九一 上、半日)</p> <p>天野丈右衛門 門人(訓戒(三ノ八三四下、假世)</p> <p>天野信景 の傳(四ノ二二二下、一話)</p> <p>天野屋利兵衛 佚商(四ノ 三三七上、一話)</p> <p>雨乞 天満宮に祈る(四ノ八〇上、一話)</p> <p>雨夜の尊 光孝天皇の御子(三ノ三五六下、半日)</p> <p>●アミ 編笠茶屋 大門の—(三ノ七 一六下、金層)</p> <p>—の編笠代(三ノ八二四上、假世)</p> <p>阿彌陀經 の脱字(五ノ三一六</p>	<p>上、一話)</p> <p>筑前宗像—碑本歌(五ノ一 二二下、一話)</p> <p>網破損針金 の狂名(三ノ八〇 二下、奴風)</p> <p>●アメ 雨 夏のは馬の背をわくといふ事(三ノ七五二下、南歌)</p> <p>雨森東州 の書簡(五ノ一八三 下、一話)</p> <p>飴賣 十七八の歌(三ノ二五二上、半日)</p> <p>—の笛(三ノ二九下、半日)(三ノ七四九下、南歌)</p> <p>飴賣土平 の傳(二ノ一三二上)</p> <p>—の歌(三ノ二二四下、半日)</p> <p>飴屋忠七 (三ノ八四九下、假世)</p> <p>●アユ 鮎 甲州(五ノ五五四上、一補)</p> <p>●アラ</p>
---	---	--	---

<p>新井白石 の幼時(三ノ八三〇 下、假世)</p> <p>昇進の次第(三ノ四六九上、瀬田)</p> <p>—の性質(三ノ五二九上、石楠)</p> <p>—の發語(三ノ八三四上、假世)</p> <p>—手書五條(五ノ三三四下、一話)</p> <p>—容奇の詩(四ノ四八四上、一話)</p> <p>—の書簡(四ノ三九〇下、一話)</p> <p>鈴木白藤所藏—著述目(五ノ 二〇〇上、一話)</p> <p>—の法號(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>新玉集 の序(二ノ五一上、四留)</p> <p>荒井治義 の墓(三ノ七〇三上、</p>	<p>向阿)</p> <p>荒木田守武 の卒日并辭世(四ノ七〇下、一話)</p> <p>—の孫(四ノ一〇七下、一話)</p> <p>荒和布 浪花にて平日—を食す(三ノ六五八上、玉砂)</p> <p>荒墓郷 (四ノ四五九上、一話)</p> <p>嵐のあろしぶし (四ノ三六 五上、一話)</p> <p>霞 延寶二年京都大(三ノ六二 九下、瓊文)</p> <p>●アリ ありがた坊 —榮心(三ノ八 四七上、假世)</p> <p>有栖川宮 下向(三ノ二五三上、半日)</p> <p>—御對顔并御馳走(三ノ二五 三下、半日)</p> <p>有馬中務大輔 縁談書付(五ノ 五二一上、一話)</p>	<p>有馬頼利 —卒(五ノ五一七上、一話)</p> <p>蟻の塔 妙恩寺の—(三ノ四五 二上、半日)</p> <p>●アン あんけらこんけら糖 —賣の歌流行(三ノ二八三上、半日)</p> <p>あんぼつ といふ乗物(三ノ三 五二下、半日)</p> <p>安永 改元林家書上(五ノ二五三 上、一話)</p> <p>—改元の落首(三ノ二四六上、半日)</p> <p>—年間の記事(三ノ二四六上 ヨリ、半日)</p> <p>安覺 日本國傳(四ノ六六六下、一話)</p> <p>安居院法印 の五字七字(四ノ 四二六下、一話)</p>	<p>安國寺 といふ寺號(三ノ七七二 上、南歌)</p> <p>安國殿 御尊像の事(五ノ五三一 上、一補)</p> <p>安産樹 といふもの(三ノ五一四 上、遊遊)</p> <p>安藤冠里 の句(五ノ五四三上、一補)</p> <p>安藤東野 略傳(四ノ四六〇下、一話)</p> <p>安徳天皇 (五ノ七七上、一話)</p> <p>—は海に入らせ給はざる事并平家の旗の事(四ノ三二〇下、一話)</p> <p>安南國 の書翰(四ノ二四九下、一話)</p> <p>鹽梅 アンマイ(四ノ六六六下、一話)</p>
---	--	---	---

七上、一話)

●イイ 井伊直孝 駿嶺原刑部大輔詞(四ノ六二下、一話)

●イウ

遊廓 内藤新宿遊女町見世開(三ノ二九九上、半日)

三月—に櫻を植る事(三ノ六五八上、五砂)

遊戯 替鬼といふ(三ノ七五〇下、南歌)

遊藝 天子在位の時ば琴三枝の類を用わす(四ノ三三二下、一話)

遊女 身うけ、身ぬけ(三ノ七三七上、金層)

ひしゃく(四ノ二一〇上、一話) 脂粉鏡を上納す(四ノ五九

三八上、一補)

祐天上人 の靈のり移りたる怪 異(三ノ一六五下、半日)

祐筆 奥—の始(三ノ五六下、半日)

●イカ

位階 官品正從(四ノ六四五下、一話)

推古、天智、天武三帝御宇の—(四ノ六四五下、一話)

伊香保温泉 上州—(五ノ五六三上、一補)

●イキ 壹岐國 の婦人は一生眉を剃らず(四ノ二八六上、一話)

生目八幡 日向宮崎の—(四ノ三三五下、一話)

英吉利 浦賀—船來着(三ノ二九〇下、半日)

軍の陣 といふ詞(四ノ三七四下、一話)

生島新五郎 江島へ森通せし—等の刑罰(四ノ一三九上、一話)

島にて作れる小唄井發句(四ノ六三三下、一話)

生田檢校 の卒日(四ノ五四四下、一話)

生玉神社 攝津國—(一ノ五七下、茶若)

育王山 —砂金の請取書(四ノ四八上、一話)

●イケ 池 富士山頂の—(三ノ二二八下、半日)

池田光政 備前少將へ御奉書付(四ノ五〇上、一話)

池永道雲 萬象一刀の著者—(五ノ二二四下、一話)

池野大雅堂 の性行(三ノ八四五下、假世)

生花 挿花(四ノ三七九上、一話) 五節日に用ふべき—(四ノ三七九上、一話)

生花秘傳圖式 の跋(五ノ二五五上、一話)

●イコ

圍碁 (四ノ一六四下、一話) 碁所(四ノ八四上、一話)

●イサ

猪崎律齋 琴曲家—(四ノ七六一下、一話)

伊皿子 芝—地名の起(四ノ四四二下、一話)

伊皿子 明人—の墓(四ノ四四二下、一話)

●イシ

石 五福—(四ノ四七四下、一

話) 雨候—無相塔(四ノ三八二下、一話)

代赫—(四ノ三八二上、一話) 日の糞、月の糞(四ノ二二八上、一話)

遠州の貝—(四ノ二二六下、一話)

鮮管(三ノ一一四上、半日) 蛇舎—(三ノ五一八下、遊遊)

甲州のツヤガー—(三ノ五二五上、石楠)

水戸の斑—(三ノ五二五上、石楠)

温祭—夜叉神、松化—、駒留—、烏—、市谷の—(五ノ三五〇上、一話)

駒場の—、靈驗—、影向—(五ノ三五一上、一話)

備中大島山中谷の—井貝—(五

ノ五五二上、一補) 大—落下(三ノ三三二下、半日)

寄—肥(三ノ五四一上、石楠)

石龜 見付の—料理(一ノ二二二下、改元)

石川丈山 凹西菓(五ノ三〇五上、一話)

の隱名(四ノ五三四下、一話)

和歌(四ノ五七四上、一話) 手簡(四ノ五七六上、一話)

(五ノ五八九下、一補) 慕謠銘(三ノ一五四上、半日)

の逸事(四ノ七〇二下、一話)

石川島 (一ノ四三八下、武江)

石川雅望 六樹園和文(四ノ六二四下、一話)

石河土佐守 町奉行—(四ノ

一一〇上、一話) 町奉行被仰付(五ノ五六九上、一補)

石狩國 北海道—(四ノ六九下、一話)

石切 明暦三年江戸—の工賃(四ノ三二四上、一話)

石島筑波 儒者—(三ノ八三〇上、假世)

石谷土入 の卒日(五ノ五一八上、一話)

石田梅巖 心學者—(三ノ八二九上、假世)

石田三成 の使(四ノ三六七下、一話)

石作駒石 の墓(一ノ二六〇上、壬戌)

石燈籠 佐久間勝之等寄進の大—(四ノ五九八上、一話)

石濱 武藏淺草—(一ノ四七三

上、武江)

石枕 の事(一ノ四六八下、武江)

倚子 の読み方(四ノ四七下、一話)

醫師 醫學館考試(三ノ四四七下、半日)

半日)

醫術 古方無妄用(四ノ四二上、一話)

一話)

の事に就き半井今大路兩家

碑文 元弘五年并弘安十一年の古

漢草專當屋敷の古(四ノ六

八〇下、一話)

普濟寺古(三ノ七七三上、南

畝)

聖川より堀出せる古(四ノ

七四上、一話)

駿府城碑(四ノ一一二下、一話)

武侯廟碑(四ノ五九七下、一話)

聖廟碑(三ノ四五九上、半日)

武藏國府中國分寺碑記(一ノ五

〇三上、武江)

鴨立澤(四ノ五三下、一話)

琴曲傳來(四ノ五四下、一

話)

淺草寺(一ノ四八五下、武

江)

補陀落山碑陰(五ノ一〇八下、一

話)

石川文山墓誌銘(三ノ一五四上、

半日)

鳥羽戀塚(三ノ一五五下、半

日)

難波寺山上人詩(四ノ七

三下、一話)

俳諧師發句の(三ノ七五三

下、南畝)

發句の(三ノ六九二下、向

阿)「ハカ」墳墓ヲ見ヨ

衣食住 の巻(四ノ四七六上、一

話)

●イセ 伊勢參宮 寶水(四ノ五〇

七上、一話)

三歳の小兒(を希ふ(四ノ五

〇七下、一話)

明和六年御蔭參(三ノ四四二上、

半日)

流行(三ノ二三三下、半日)

大の(五ノ五六三下、一補)

伊勢神宮 内宮外宮御師の公事

(四ノ七九五上、一話)

宮崎文庫、林崎文庫(四ノ七七

下、一話)

●イソ 五十宮 御下向(四ノ三七〇上、

一話)

●イタ いた(穴)は續引なり(四ノ三

三一上、一話)

板倉修理 細川越中守(殿中

又書(四ノ三五三上、一話)

板倉助次郎(五ノ二二三下、一

話)

板倉内膳正 殿中の書簡(四ノ

二〇上、一話)

板坂意齋(四ノ七〇二下、一

話)

板留 「ハシ」橋ヲ見ヨ

板橋信濃守 の墓(五ノ二六三

上、一話)

板佛 寶藏院の年號(三ノ七

〇〇上、向阿)

仙台石の巻の(三ノ六八八

下、向阿)

井田攝津守 是政(三ノ六

八六下、向阿)

●イチ

市川海老蔵 の狂歌(三ノ五〇

三上、俗耳)

の綽名(三ノ四八一上、俗

耳)

二代目五粒死去(三ノ二八二下、

半日)

市川高麗藏 錦考改名(三ノ二

四五下、半日)

市川團藏 死去并追悼の時

(三ノ二四一上、半日)

市川團十郎(初代) 才牛と號せ

し事(三ノ七一八下、金屑)

市川團十郎(五代目) の綽名

(三ノ四八一上、俗耳)

遊歴の描寫(三ノ五〇六下、

俗耳)

の狂名(三ノ五〇四上、俗

耳)

の狂歌(三ノ五〇四下、俗

耳)

市川白猿戯述(五ノ六三七下、一

補)

市川團十郎(七代目) の評(四

ノ八〇三下、一話)

市川團之助 の書置寫(五ノ四

三三下、一話)

市川八百藏 中車死去(三ノ二

八二下、半日)

市原八景 死去(三ノ四四五上、半日)

市村羽左衛門 等の描寫句(三

ノ五〇六下、俗耳)

の狂歌(三ノ五〇三上、俗

耳)

卒日(三ノ四九二下、俗耳)

市村家橘 の狂名(三ノ四八九

下、俗耳)

市ヶ谷八幡 (一ノ四四三上、

武江)

一を以て萬を知る といふ語

の出處(四ノ四八八下、一話)

一石橋 江戸の名(三ノ六一

二上、瓊雜)

一人一首 の撰者(三ノ五三〇

上、石楠)

一里塚 (四ノ七〇三下、一話)

●イツ

イツも若シ といふ流行言

葉(三ノ一六六上、半日)

伊豆國 豆州村々様子大権書(五

ノ九六上、一話)

伊豆檢校 (四ノ一五四上、一

話)

一揆 信濃國百姓騒動(三ノ二七

二下、半日)

飛騨國百姓騒動(三ノ二五〇下、

半日)

同取領御褒美(三ノ二五二上、半

日)

信州水内郡百姓騒動(三ノ二五

下、半日)

高田領淺川百姓騒動(四ノ八一

一上、一話)

寛政八年勢州津百姓騒動(四ノ

八一七上、一話)

一休和尚 獨居用意の歌(四

ノ二四四上、一話)

一葉 葉の葉(四ノ四八七下、

一話)

一筆一枚起請文(四ノ二二三

上、一話)

一色内藏助 寄伊丹播磨守

(四ノ七〇三上、一話)

一心寺 攝津國の寶物(一ノ

六〇上、葉若)

一寸八分 古法の物七ツ(三ノ

一〇三下、半日)

一本木温泉 越後一録(三ノ

一六五上、半日)

一本菊 といふ書(五ノ三七八

上、一話)

<p>嚴島神社 神廟記(三ノ五二〇 上、石楠)</p> <p>— 祭禮(五ノ五四八下、一補)</p> <p>伏存叢書 の頁上(四ノ七九九 下、一話)</p> <p>和泉國 の方言(四ノ三四〇下、一話)</p> <p>和泉式部 の歌(四ノ一四四上、一話)</p> <p>五文字 娘を—といふ(三ノ二〇三上、半日)</p> <p>出雲大社 の狀(四ノ三六三上、一話)</p> <p>●イテ</p> <p>银杏娘 のお蔭(三ノ二七上、半日)</p> <p>●イト</p> <p>井戸 奥州大鹽村童が—姥が—(四ノ三〇七上、一話)</p> <p>小川町—の記(一ノ五〇九上、一話)</p>	<p>武江)</p> <p>上野三大師堂—の銘(一ノ四六三下、武江)</p> <p>白木屋—の銘(一ノ四四〇下、武江)</p> <p>伊藤仁齋 の別號(三ノ八四四上、假世)</p> <p>—の度量(三ノ八四二下、假世)</p> <p>—の評(五ノ四四一上、一話)</p> <p>—手書落款(四ノ七六二下、一話)</p> <p>伊藤竹里 平藏の花押(四ノ四八上、一話)</p> <p>伊藤東涯 猿樂開口の文(四ノ八四〇上、一話)</p> <p>元藏の花押(四ノ四八一上、一話)</p> <p>伊東秋風 の詩文(五ノ一九上、一話)</p> <p>●イナ</p>	<p>稻垣秩翁 の施符詩并—牧山を叱す(四ノ四四一上、一話)</p> <p>稻垣白巖 の墓(一ノ五〇七下、武江)</p> <p>稻垣若狹守 の嫡子亂心(三ノ三二三下、半日)</p> <p>稻毛三郎 の墓(三ノ六九二下、向阿)</p> <p>稻葉風 「ヒヤ病氣ヲ見ヨ」</p> <p>稻葉正休 殿中刃傷(四ノ三五〇下、一話)</p> <p>稻生下野守 の滑稽(四ノ三七六上、一話)</p> <p>稻生若水 庶物類書の著者—(五ノ二二三下、一話)</p> <p>稻村殿 源滿兼と里見義興(四ノ一六六下、一話)</p> <p>稻荷 關西に—少し(三ノ八〇九上、奴風)</p>	<p>上野淺雲院勸請四—の事(五ノ四二下、一話)</p> <p>田舎者 の開き誤(五ノ四三九上、一話)</p> <p>蠡 の書(三ノ二三四上、半日)</p> <p>伊奈左近將監 の處分(三ノ一四四下、半日)</p> <p>伊奈半左衛門 諸大夫被仰付(五ノ五六八下、一補)</p> <p>渭南集 抄(四ノ六〇五下、一話)</p> <p>渭南文集 藏書印(四ノ六二九上、一話)</p> <p>●イヌ</p> <p>犬 中野御—預(三ノ五九上、半日)</p> <p>—毛付書上帳(三ノ五七上、半日)</p> <p>元禄年中—の御觸(四ノ七六五下、一話)</p>
--	--	--	---

<p>—に就ての食談(四ノ七七八上、一話)</p> <p>—の儀に付断口上書(五ノ一六八上、一話)</p> <p>薩摩にて狗の子を食する事(五ノ五七七上、一補)</p> <p>—の伊勢參宮(五ノ五六三下、一補)</p> <p>神田監染川の怪(三ノ二〇八上、半日)</p> <p>—大手に入(五ノ五八〇上、一補)</p> <p>病—に喰れし妙藥(五ノ四二四下、一話)</p> <p>犬追物 (四ノ三七五上、一話)</p> <p>(四ノ二八七上、一話)</p> <p>—肥(五ノ三〇八下、一話)</p> <p>—鴛書(四ノ二八九下、一話)</p> <p>犬ころし—といふ梨子(四ノ七四九上、一話)</p>	<p>●イネ</p> <p>稻 ひつぢ—(四ノ七四下、一話)</p> <p>●イノ</p> <p>井上氏 の祖先(三ノ六八九下、向阿)</p> <p>井上主計頭 (四ノ三七六上、一話)</p> <p>井上正就 豊島信滿に刺さる(四ノ三五〇下、一話)</p> <p>井ノ頭 遊—源配(二ノ一〇八上、文稿)</p> <p>井ノ頭辨天 開帳(三ノ二五七上、半日)</p> <p>玄猪 の儀式(三ノ三八六上、半日)</p> <p>猪 信濃山中—を突く事(五ノ五五六下、一補)</p> <p>●イハ</p> <p>位牌 小林義春陣中—(三ノ六九六下、向阿)</p>	<p>岩井笠澤 (四ノ六八一上、一話)</p> <p>岩蓮花 火を防ぐ(五ノ三五上、一話)</p> <p>井原西鶴 の發句(四ノ一一三上、一話)</p> <p>●イヒ</p> <p>飯香の浦 長崎—(三ノ六一下、瓊雜)</p> <p>飯富信繩 の信玄へ捧げたる目安(三ノ三八二上、半日)</p> <p>●イフ</p> <p>衣服 流行の—(三ノ四四四下、半日)</p> <p>安永時代流行の男—(三ノ二四六下、半日)</p> <p>藍染の藍の落し様(三ノ五七〇下、百舌)</p> <p>—に油の付たるを落す良法(三ノ五七〇下、百舌)</p>	<p>●イマ</p> <p>今川了俊 子孫へ誠の歌(三ノ三五二上、半日)</p> <p>—の書(三ノ三三八上、半日)</p> <p>今切 遠江國—(一ノ二四上、文元)</p> <p>今宮社 京都—(四ノ二九八上、一話)</p> <p>今物語 の作者(三ノ三三九上、半日)</p> <p>●イミ</p> <p>諱 今上御—(四ノ一〇六下、一話)</p> <p>●イム</p> <p>忌むべき物 (四ノ四二三上、一話)</p> <p>●イモ</p> <p>芋 が—と櫻葉食(五ノ五五三下、一補)</p> <p>鑄物師 和州—共より書上候</p>
--	---	--	--

古文書(五ノ二三五上、一話)	原(三ノ四六四下、瀬田)	秋亭余松の齋(四ノ六六九上、一話)	魚(話)
イロ 等の字林(三ノ八二四下、假世)	山猫といふ(三ノ四六四下、瀬田)	印書考 源清道(稿本(五ノ二七五下、一話)	下野の湖水の鱗(鱗なし)(三ノ二八上、半日)
いろは短歌 京風(稿(三ノ二四上、半日)	奴風)	印肉 秘傳唐來(法(三ノ五七〇上、百舌)	鯛の増源八といふ(四ノ七四九上、一話)
イウ 下総州(鐘銘并序(二ノ一一八下、文稿)	因果地藏 淺草寺中(三ノ二五八上、半日)	印籠(三ノ三五三上、半日)	ウカ 藤澤山(縁起(三ノ一一五上、半日)
イソ 願濟候御褒美の事(三ノ七六上、半日)	陰莖 鐵筋子(四ノ一一二下、一話)	飲酒 「サケ」酒客ヲ見ヨ	ウキ 宇喜壽園 江戸高輪(一ノ四六六下、一話)
隠元禪師 草書(鐘銘(五ノ三九九下、一話)	陰門 を替々といふ説(三ノ七二〇上、金屑)	飲料 夏(四ノ三〇六下、一話)	浮田氏 松平加賀守家より八丈島(一類(差遣候書付(四ノ二六二上、一話)
煙草を喫セザ(四ノ四四一上、一話)	蛇の入りたる治療(五ノ三六下、一話)	音物 人事(四ノ四六九上、一話)	浮世 にあき果申候(三ノ八一五上假世)(五ノ四三八上、一話)
來朝(三ノ六四〇上、瓊文)	印刷 「ハン」板摺ヲ見ヨ	鳥有園 中井履軒の(記(四ノ五〇二上、一話)	浮世小路 の名(四ノ七六下、一話)
隠賣女 寛政七年(一件(三ノ四五〇上、半日)	印章 相州小田原慶勝寺金(三ノ一〇四上、半日)	●ウエ 和漢産の草木(四ノ四七〇上、一話)	ウク 江戸の寺社地に(一)を置きし起

鶯塚 攝津國長柄(一ノ八五上、葦若)	の牛石(五ノ三五〇下、一話)	城のなき國々の(三ノ一二八下、半日)	鳩吹の古(四ノ六七上、一話)
鶯笛 の序(二ノ六二下、四留)	牛天神集會 序(二ノ五九上、四留)	海のなき國々の(三ノ一二八下、半日)	金華和歌(四ノ七六上、一話)
鶯笛賣 府中の(三ノ六八八上、向阿)	牛袋氏 系圖(三ノ一九六、半日)	己巳己の(四ノ一四四上、一話)	跡寄月往事(并辭(四ノ四〇上、一話)
●ウサ の腹鼓(五ノ五四七下、一話)	牛糞橋 (四ノ一六六下、一話)	蝦夷國の(四ノ一四四下、一話)	一橋殿御屏風繪(三ノ三六二上、半日)
●ウシ 牛が鼻岩 (四ノ二二六下、一話)	牛の御前 の張札(三ノ四八四下、俗耳)	烏丸重相職人歌仙歌合(四ノ一一上、一話)	琉球入宮士を詠ず(四ノ二四〇下、一話)
牛飼 を道手といふ(三ノ七三六下、金屑)	●ウタ に玉椿八千代と詠む事(三ノ六七八上、玉砂)	押山伯榮の話(三ノ三四〇上、半日)	鳥人(五ノ五二八上、一話)
牛込忠左衛門 の墓(一ノ五〇五上、武江)	一に印を捺す事(三ノ七一八上、金屑)	仁徳天皇の御製と傳(られたる高き屋にのぼりての(三ノ五四九上、石楠)	新内裏造せられし時の(三ノ四一四下、半日)
牛大夫宗長 の墓(四ノ七四〇上、一話)	彼我轉倒(四ノ六七下、一話)	高師直繼谷判官の妻に送る(の(三ノ七六五上、南越)	禁裏御當座(五ノ五九二下、一話)
牛天神 小石川の(一ノ四四三上、武江)	日野家(入門の(四ノ六三上、一話)	加藤清正家法に(一)を停止す(三ノ四一〇下、半日)	寛政譜作りける時の(五ノ二〇五上、一話)
	牡丹夏季(四ノ六七上、一話)		伊達政宗の(三ノ七一下、半日)
	諸國方言の(四ノ七一上、一話)		烏丸光磨の(四ノ七七上、一話)

<p>話)</p> <p>賀茂真淵後朝なよめる歌(四ノ一一四下、一話)</p> <p>萩原宗固の—(四ノ一一四下、一話)</p> <p>横田登翁の—(四ノ六二七上、一話)</p> <p>成島道筑の—(四ノ六二七上、一話)</p> <p>萩(四ノ一九九上、一話)</p> <p>获生祖孫の—(四ノ一四二下、一話)</p> <p>高井宣風の—(四ノ四七七上、一話)</p> <p>正三位爲重の—(四ノ五三三上、一話)</p> <p>松平定信の—(四ノ四四八上、一話)</p> <p>宗澄の—(四ノ三八五上、一話)</p> <p>佐々木一貫の—(三ノ三三九下、半日)</p>	<p>榎垣の—(三ノ三三八上、半日)</p> <p>堀川親元の—(三ノ二〇五下、半日)</p> <p>兼好法師の—(三ノ一〇四上、半日)</p> <p>元政法師の—(三ノ一〇四上、半日)</p> <p>契沖の—(三ノ九〇下、半日)</p> <p>展代弘賢の—(四ノ五九八下、一話)</p> <p>仙田龜鶴女の—(四ノ七四〇上、一話)</p> <p>石川丈山の—(四ノ五七四上、一話)</p> <p>上田秋成の—(四ノ五六二下、一話)</p> <p>橋千蔭の—(四ノ七三三下、一話)</p> <p>小林重高の—(三ノ七六下、半日)</p>	<p>南畝村上氏の松前に行か送るの—(三ノ七六下、半日)</p> <p>花山院忠長配所の—(四ノ七五上、一話)</p> <p>武者小路實隆富士山の—(四ノ三七五下、一話)</p> <p>枯草上人袈衣を許されし時の—(四ノ三七五下、一話)</p> <p>今川了俊子孫へ誠の—(三ノ三五一上、半日)</p> <p>惟足翁が—の徳(四ノ三七三下、一話)</p> <p>資枝日暮里の—(四ノ五八九下、一話)</p> <p>横山數馬冷泉爲村贈答の—(四ノ三四四下、一話)</p> <p>小野於通娘捨山の—(四ノ七四九上、一話)</p> <p>秀吉并細巴の大なる—(三ノ九七七下、半日)</p>	<p>秀吉の難題細巴の即吟(三ノ三九七下、半日)</p> <p>細野の感じたる—(四ノ四三五下、一話)</p> <p>藤州の蛋女の—(三ノ三三八下、半日)</p> <p>定家三首抄(四ノ五三六下、一話)</p> <p>怪談和歌集抄(四ノ五四八下、一話)</p> <p>千首和歌草(三ノ一七〇下、半日)</p> <p>頓阿法師追善—(三ノ二三〇上、半日)</p> <p>田安公辭世の—(三ノ二五四下、半日)</p> <p>小笠原宗信辭世の—(四ノ六五二下、一話)</p> <p>「シセ」辭世ナモ見ヨ</p>
<p>下、一話)</p> <p>謠曲 「エウ」謠曲ナ見ヨ</p> <p>謠初 (四ノ二六一上、一話)</p> <p>●ウチ</p> <p>打毀 天明—一件(五ノ五六四下、一補)</p> <p>内山賀郎 年回の歌(五ノ六四一上、一補)</p> <p>●ウツ</p> <p>宇都宮宗圓 (四ノ三八二下、一話)</p> <p>宇都宮由的 の緯名(三ノ八四〇下、假世)</p> <p>太秦廣隆寺 牛祭々文(四ノ一二三上、一話)</p> <p>針簀 (四ノ三四八下、一話)</p> <p>教 といふ物(四ノ六五三上、一話)</p> <p>鶉 日向宮崎の片目—(四ノ三三三下、一話)</p>	<p>甲州の—鳴かざる事(五ノ五五七下、一補)</p> <p>鶉衣 序(二ノ六〇下、四留)</p> <p>●ウチ</p> <p>鳥亭焉馬 七奏齋厨(二ノ二九上、萬紫)</p> <p>●ウト</p> <p>溫飽 大名—盆器(五ノ一六七下、一話)</p> <p>—に胡椒の粉を添へる事(三ノ八〇八下、奴風)</p> <p>—蕎麥切煮賣之者火持ある事(五ノ三三二下、一話)</p> <p>●ウナ</p> <p>鰻鱺 と芥子酢(五ノ三三二上、一話)</p> <p>—に酢(三ノ八〇九下、奴風)</p> <p>—に山椒を添へて食ふ事(三ノ七六七上、南畝)</p>	<p>●ウノ</p> <p>うの目鷹の目 といふ謠(四ノ一六五上、一話)</p> <p>宇野三平 の平常(三ノ八四一上、一話)</p> <p>—の頼才(五ノ四三九下、一話)</p> <p>—の花押(四ノ四八一上、一話)</p> <p>卯の花 の漢名(三ノ五一九上、一話)</p> <p>●ウハ</p> <p>鳥卯 は日東(四ノ一六六下、一話)</p> <p>姥が井 奥州大鹽村—「イト」井戸ナ見ヨ</p> <p>姥捨山 小野於通—の歌(四ノ七四九上、一話)</p> <p>●ウヘ</p> <p>上杉氏 羽州米澤—城内の御</p>	<p>堂(三ノ三八九上、半日)</p> <p>上田秋成 の書狀(四ノ六六一下、一話)</p> <p>—補公の發(四ノ六六一下、一話)</p> <p>—の歌(四ノ五六二下、一話)</p> <p>無腸翁の文(三ノ八三七下、假世)</p> <p>上野 の鐘井同大師堂の鐘(五ノ三四八下、一話)</p> <p>上野御成 (三ノ二六一上、半日)</p> <p>安永四年—(三ノ二五六上、半日)</p> <p>●ウマ</p> <p>馬 嵯峨野物語に載せし—の事(三ノ七三三下、半日)</p> <p>尾長の—(五ノ五六二上、一補)</p> <p>百—圖名(四ノ二二三上、一話)</p> <p>御神—初立黒(四ノ四〇九上、一話)</p>

<p>下、一話)</p> <p>謠曲 「エウ」謠曲ナ見ヨ</p> <p>謠初 (四ノ二六一上、一話)</p> <p>●ウチ</p> <p>打毀 天明—一件(五ノ五六四下、一補)</p> <p>内山賀郎 年回の歌(五ノ六四一上、一補)</p> <p>●ウツ</p> <p>宇都宮宗圓 (四ノ三八二下、一話)</p> <p>宇都宮由的 の緯名(三ノ八四〇下、假世)</p> <p>太秦廣隆寺 牛祭々文(四ノ一二三上、一話)</p> <p>針簀 (四ノ三四八下、一話)</p> <p>教 といふ物(四ノ六五三上、一話)</p> <p>鶉 日向宮崎の片目—(四ノ三三三下、一話)</p>	<p>甲州の—鳴かざる事(五ノ五五七下、一補)</p> <p>鶉衣 序(二ノ六〇下、四留)</p> <p>●ウチ</p> <p>鳥亭焉馬 七奏齋厨(二ノ二九上、萬紫)</p> <p>●ウト</p> <p>溫飽 大名—盆器(五ノ一六七下、一話)</p> <p>—に胡椒の粉を添へる事(三ノ八〇八下、奴風)</p> <p>—蕎麥切煮賣之者火持ある事(五ノ三三二下、一話)</p> <p>●ウナ</p> <p>鰻鱺 と芥子酢(五ノ三三二上、一話)</p> <p>—に酢(三ノ八〇九下、奴風)</p> <p>—に山椒を添へて食ふ事(三ノ七六七上、南畝)</p>	<p>●ウノ</p> <p>うの目鷹の目 といふ謠(四ノ一六五上、一話)</p> <p>宇野三平 の平常(三ノ八四一上、一話)</p> <p>—の頼才(五ノ四三九下、一話)</p> <p>—の花押(四ノ四八一上、一話)</p> <p>卯の花 の漢名(三ノ五一九上、一話)</p> <p>●ウハ</p> <p>鳥卯 は日東(四ノ一六六下、一話)</p> <p>姥が井 奥州大鹽村—「イト」井戸ナ見ヨ</p> <p>姥捨山 小野於通—の歌(四ノ七四九上、一話)</p> <p>●ウヘ</p> <p>上杉氏 羽州米澤—城内の御</p>	<p>堂(三ノ三八九上、半日)</p> <p>上田秋成 の書狀(四ノ六六一下、一話)</p> <p>—補公の發(四ノ六六一下、一話)</p> <p>—の歌(四ノ五六二下、一話)</p> <p>無腸翁の文(三ノ八三七下、假世)</p> <p>上野 の鐘井同大師堂の鐘(五ノ三四八下、一話)</p> <p>上野御成 (三ノ二六一上、半日)</p> <p>安永四年—(三ノ二五六上、半日)</p> <p>●ウマ</p> <p>馬 嵯峨野物語に載せし—の事(三ノ七三三下、半日)</p> <p>尾長の—(五ノ五六二上、一補)</p> <p>百—圖名(四ノ二二三上、一話)</p> <p>御神—初立黒(四ノ四〇九上、一話)</p>
---	--	--	--

<p>話)</p> <p>浦生秀行の—(四ノ二六六下、一話)</p> <p>頼摩—(四ノ六六五下、一話)</p> <p>禮—(四ノ六五二下、一話)</p> <p>盛門(四ノ二二二下、一話)</p> <p>捨上村(五ノ五八三上、一話)</p> <p>「ハシ」馬術「クラ」鞍「モ」見ヨ</p> <p>馬とどめ—といふ事(五ノ二七九下、一話)</p> <p>馬の歌—熱田—、観音—(四ノ二七下、一話)</p> <p>鶴祭—謡曲—(四ノ五五六下、一話)</p> <p>●ウミ</p> <p>海—奥州の—紅になる事(五ノ五〇九下、一話)</p> <p>—水赤色に變ず(三ノ七七二上、南畝)</p> <p>—のなき國々の歌(三ノ二二八)</p>	<p>下、半日)</p> <p>海の幸—といふ書(三ノ八〇七上、奴風)</p> <p>海坊主—(三ノ五三六下、石楠)</p> <p>●ウメ</p> <p>梅—白山御樂園の—(四ノ四四二上、一話)</p> <p>—麻布白銀の—(二ノ四八五下、武江)</p> <p>梅酒—(三ノ六一二下、瓊雜)</p> <p>梅若塚—向島の—(一ノ四三五下、武江)</p> <p>梅若丸—「モク」木母寺ヲ見ヨ</p> <p>●ウラ</p> <p>浦島社—丹波國—(四ノ一〇上、一話)</p> <p>孟蘭盆—吉川惟足—の歌(三ノ三八上、半日)</p> <p>●ウリ</p> <p>瓜—を食ふに鬼をするといふ事</p>	<p>(三ノ七五〇上、南畝)</p> <p>初—類(二ノ六下、春夏秋冬)</p> <p>●ウル</p> <p>閻年—に蟬少し(四ノ二二八、一話)</p> <p>賣まゝの證文—といふもの(三ノ七三七上、金層)</p> <p>●ウロ</p> <p>鱗形屋草紙—(三ノ二五八上、半日)</p> <p>●ウン</p> <p>うんすんかるた—の打方(三ノ一六三上、半日)</p> <p>雲根志—抄(四ノ三八二下、一話)</p> <p>—といふ書(三ノ二〇六上、半日)</p> <p>雲茶會—初集(五ノ一六五下、一話)</p> <p>—二集(五ノ一七二上、一話)</p> <p>—出品目錄遺稿(五ノ五二六、)</p>	<p>一補)</p> <p>雲門寺—比叡山の—(四ノ三〇二上、一話)</p> <p>●エイ</p> <p>詠歌大撰—といふ書(三ノ一八五下、半日)</p> <p>永山和尚—東慶寺二十一世—(四ノ七八二上、一話)</p> <p>永代橋—の橋鏡(五ノ三三五上、一話)</p> <p>—落つ井落首(五ノ五三六下、一補)</p> <p>●エウ</p> <p>佞—の字は佛の略(四ノ二二七上、一話)</p> <p>謡曲—の初(三ノ三五二下、半日)</p> <p>—觀世流新稿(三ノ二五四下、半日)</p>
--	---	--	---

<p>觀世流新稿附(三ノ七七上、半日)</p> <p>江口—(四ノ二二四上、一話)</p> <p>—道成寺の故事(五ノ五九〇上、一補)</p> <p>「ウタ」謡初ヲ見ヨ</p> <p>腰鼓—兄弟(四ノ三六三下、一話)</p> <p>—槽工(四ノ三二九上、一話)</p> <p>幼女—森淫(四ノ六〇上、一話)</p> <p>●エカ</p> <p>影向石—増上寺—の銘(三ノ五二三上、石楠)</p> <p>●エギ</p> <p>易纂言—(五ノ三二二下、一話)</p> <p>疫病—「ヤク」疫病ヲ見ヨ</p> <p>驛路鈴—(四ノ一四三下、一話)</p> <p>—(四ノ六三二下、一話)</p> <p>●エン</p> <p>江島—奥女中—の亂行并刑罰</p>	<p>江口—謡曲—(四ノ二二四上、一話)</p> <p>江口寺—攝津—(二ノ八七上、葦若)</p> <p>惠光比丘—の鐘銘(五ノ三四九下、一話)</p> <p>●エサ</p> <p>繪双紙—の變遷(五ノ二二下、一話)</p> <p>—の種類并價(三ノ七一六上、金層)</p> <p>大阪落城の時の—(四ノ一二四上、一話)</p> <p>鱗形屋—(三ノ二五八上、半日)</p> <p>—の作者(五ノ四二二上、一話)</p> <p>「ウサ」草双紙ヲ見ヨ</p> <p>●エシ</p> <p>江島—奥女中—の亂行并刑罰</p>	<p>(四ノ二二七下、一話)</p> <p>江島其積—の發句(五ノ四四一上、一話)</p> <p>—の發句(四ノ二二三上、一話)</p> <p>繪島—播磨國—(三ノ一二二上、半日)</p> <p>●エツ</p> <p>蝦夷—の制札(三ノ五七上、半日)</p> <p>—松前島郷帳(五ノ一四〇上、一話)</p> <p>—江戸より—地宿村留(四ノ六五三下、一話)</p> <p>—地へ相廻候兵糧(五ノ五三六上、一補)</p> <p>—地へ魯西亞人來る(五ノ五九〇下、一補)</p> <p>—寛政元年—騷動(四ノ一九五上、一話)</p> <p>—源義經—の事蹟(三ノ三〇八)</p>	<p>下、半日)</p> <p>—の開闢(三ノ三〇八下、半日)</p> <p>—の奇談(三ノ三〇七下、半日)</p> <p>—の奇歌(三ノ三〇八上、半日)</p> <p>—の風俗(五ノ五〇三上、一話)</p> <p>蝦夷人—の唄(五ノ二二三下、一話)</p> <p>—の誓詞(三ノ二二七下、半日)</p> <p>●エタ</p> <p>枝豆—を歩きながら食ふ風俗(三ノ七九九上、奴風)</p> <p>●エツ</p> <p>慧通—僧—(三ノ六一二下、瓊)</p> <p>●エト</p>
--	--	--	--

<p>江戸 江戸金石雜記(五ノ三四八上、一話)</p> <p>— 名所(四ノ六〇四下、一話)</p> <p>東武百景詩(五ノ四四七下、一話)</p> <p>元禄六年の— 繪圖(三ノ五二六上、石楠)</p> <p>瀨名貞雄自書— 圖(一ノ四九四下、武江)</p> <p>— 風俗(五ノ二〇上、一話)</p> <p>寛政八年— の流行もの(三ノ三九一上、半日)</p> <p>— の名物を記せる書(三ノ二七二下、半日)</p> <p>— 淺草の名物(三ノ二二五下、半日)</p> <p>— の名物を讀める狂歌(四ノ八二九下、一話)</p> <p>延寶四年の— 名物(三ノ八二二下、假世)</p>	<p>— と浪花の似たるもの(四ノ三四〇下、一話)</p> <p>慶長十六年— 新開町割(三ノ三五五上、半日)</p> <p>寛政十年— 大別(四ノ七五三下、一話)</p> <p>— 惣町數并男女數(三ノ一四二下、半日)</p> <p>— 中辻番町々木戸(五ノ五一二下、一話)</p> <p>— 惣町數(五ノ一一二下、一話)</p> <p>江戸十組問屋(五ノ三五二下、一話)</p> <p>— 一日の黒砂糖使用高(三ノ五〇九下、俗耳)</p> <p>— にて燈油一年間の使用高(三ノ五〇九下、俗耳)</p> <p>明暦三年— 諸職人の工賃(四ノ三二三下、一話)</p>	<p>多摩郡より— に入る諸貨物(三ノ六七二上、玉砂)</p> <p>— より蝦夷地宿村留(四ノ六五三下、一話)</p> <p>寛永— 大火(五ノ五一二下、一話)</p> <p>明暦三年— 火災(四ノ三二三上、一話)</p> <p>寛文八年— 火災(四ノ七九四下、一話)</p> <p>天明四年— 火災(四ノ一六八上、一話)</p> <p>天明六年— 火災(四ノ一六九下、一話)</p> <p>明和九年— 火災(三ノ二三七下、半日)</p> <p>同防火の面々(御褒美)(三ノ二三九上、半日)</p> <p>戲場圓縁年歴録(三ノ九四下、半日)</p>	<p>安永三年— 落雷(三ノ三九上、半日)</p> <p>寛政七年— 落雷(三ノ三六下、半日)</p> <p>江戸鑑 増補— 抄(四ノ四九二下、一話)</p> <p>江戸鑑分限帳 抄(四ノ四九〇下、一話)</p> <p>江戸櫻五人男 歌舞伎狂言— の白首(四ノ三九九下、一話)</p> <p>江戸氏 (一ノ四三二上、武江)</p> <p>— 系圖(一ノ四三三下、武江)</p> <p>江戸自慢 といふ書(三ノ二七二下、半日)</p> <p>江戸城 (一ノ四二七上、武江)</p> <p>— を靜勝軒と云ふ(一ノ四二七下、武江)</p> <p>— 門節分に橋を立つ(三ノ七二七上、金層)</p> <p>四丸修復(三ノ二二五上、半日)</p>
---	--	---	---

<p>柳營の茶釜(三ノ五二七下、石楠)</p> <p>紅葉山下御門出火(三ノ三〇四上、半日)</p> <p>江戸二色 序(二ノ五九下、四留)</p> <p>江戸花海老 序(二ノ五四上、四留)</p> <p>●エノ 繪具 コナルト(四ノ六七〇上、一話)</p> <p>●エヒ 多びす紙 (四ノ三三六上、一話)</p> <p>惠美須 泉州石津大社— 開帳(三ノ二二五上、半日)</p> <p>今宮の騷— (一ノ六三三下、草若)</p> <p>●エン 「カオ」家屋ヲ見ヨ</p>	<p>●エハ 月餅 といふ菓子(三ノ二二三上、半日)</p> <p>●エホ 烏帽子 土— の圖(三ノ一三二下、半日)</p> <p>繪本太閤記— 絶板被仰付(三ノ一六八上、半日)</p> <p>●エマ 繪馬 江戸淺草觀音— 考(一ノ四六五下、武江)</p> <p>繪巻物 著名なる— (四ノ七四九下、一話)</p> <p>●エン 遠櫻居士 大田南畝— と號せし由來(一ノ三四二下、開布)</p> <p>遠行 檢校の死な— といふ(四ノ七三三下、一話)</p>	<p>遠梅居士 傳(四ノ四四三下、一話)</p> <p>— の號の出處(三ノ六九二上、向岡)</p> <p>宛丘子 傳(三ノ八一八上、假世)</p> <p>燕窩 といふもの(三ノ五一八上、迦遊)</p> <p>燕石雜誌 抄(四ノ七四九上、一話)</p> <p>宴會 の戲(三ノ四八〇下、俗耳)</p> <p>怨恨 僧侶の— (五ノ五五八下、一補)</p> <p>圓座 讀破— (三ノ七五六下、南畝)</p> <p>圓通寺 赤坂— の鐘銘(五ノ三四九下、一話)</p> <p>圓満寺 湯島萬昌山— 什物(五ノ二二二上、一話)</p> <p>猿子眠 (四ノ四二二上、一話)</p>	<p>延壽寺 相州大磯— (一ノ一〇上、改元)</p> <p>延命院 谷中— 日道一件(五ノ二七〇上、一話)</p> <p>鉛丹 の製法(三ノ五一六下、迦遊)</p> <p>閻魔 小野篁作の— (五ノ四二二下、一話)</p> <p>縁結次 俗世結(三ノ七五〇下、南畝)</p> <p>●オウ 應齋咄 といふ書(四ノ七六三下、一話)</p> <p>●オ、 オ、ウセ といふ海獸の角の圖(四ノ七六三下、一話)</p> <p>●オカ 小笠原官次郎 小笠原入一件</p>
--	---	--	---

<p>小笠原宗信 馬に就ての辭世 (三ノ三〇九下、半日)</p> <p>小川町 非月の配(一ノ五〇九上、武江)</p> <p>岡田寒泉 (三ノ七二七上、金層)</p> <p>新規模召出(四ノ二〇八下、 物之一話)</p> <p>岡八郎兵衛 の御告(五ノ二三三上、一話)</p> <p>岡白駒 が殺殿の時(四ノ六八上、一話)</p> <p>岡部忠澄 の墓(一ノ一七五上、 壬戌)</p> <p>岡目八目 序(二ノ七〇上、四留)</p> <p>岡本半助 書家(三ノ六一四上、瓊雜)</p> <p>緒方深省 の印井乾山燒(四ノ</p>	<p>一六下、一話)</p> <p>緒方光琳 の發句(四ノ一二三下、一話)</p> <p>卷物(三ノ三三七上、半日)</p> <p>の借用証文(三ノ二二下、半日)</p> <p>橋巻阪(四ノ五三九下、一話)</p> <p>●オキ</p> <p>隱岐院百首 といふ書(三ノ一八五下、半日)</p> <p>隱岐國造 が家系(四ノ六三二上、一話)</p> <p>萩生徂徠 先祖及由緒書(三ノ三九二上、半日)</p> <p>略傳(四ノ四六〇下、一話)</p> <p>の居所(四ノ四六一上、一話)</p> <p>高師直鹽谷判官の妻に贈る歌を評す(四ノ四八三下、一</p>	<p>話)</p> <p>伊藤仁齋を評す(五ノ四四一上、一話)</p> <p>近松門左衛門を評す(五ノ四三九下、一話)</p> <p>の心掛(三ノ八二四下、假世)</p> <p>財を賣りて書を買ふ(三ノ八三三下、假世)</p> <p>筆親に好なし(四ノ六八下、一話)</p> <p>古今集の奥書(三ノ七六三下、南畝)</p> <p>の初名(三ノ七六四上、南畝)</p> <p>書翰(四ノ二九二下、一話)</p> <p>の會讀と祝言等の談議(三ノ八三六上、假世)</p> <p>筆振舞に逢たる時の作(四ノ四八三下、一話)</p>	<p>の詩(五ノ四一三上、一話)</p> <p>玉藻前贊(四ノ四五三下、一話)</p> <p>の和語(三ノ八二五上、假世)</p> <p>太宰春古贈答(三ノ八二五下、假世)</p> <p>の歌(四ノ一四二下、一話)</p> <p>の墓(一ノ四五八上、武江)</p> <p>の法號(三ノ一〇七下、半日)</p> <p>翁三番叟 次第(五ノ二〇三上、一話)</p> <p>翁物語 といふ書并序(三ノ一八四下、半日)</p> <p>●オク</p> <p>奥田孫太夫 立退并妻子の事(四ノ七七九下、一話)</p> <p>小倉色紙 (五ノ五一〇下、一話)</p>
--	--	---	--

<p>井利休の文(四ノ六八二下、一話)</p> <p>定家卿(四ノ六八八下、一話)</p> <p>小栗宗丹 の門人(四ノ三二〇上、一話)</p> <p>小栗堂 藤澤(一ノ八八上、改元)</p> <p>●オク</p> <p>麻笥 の字(三ノ一一一上、半日)</p> <p>桶 なカイといふ(三ノ一一一上、半日)</p> <p>桶狭間 といふ地名(三ノ六九二上、向岡)</p> <p>●オコ</p> <p>お駒胎 (三ノ二五八下、半日)</p> <p>お駒染 (三ノ二五八下、半日)</p> <p>御腰物奉行 (四ノ三四九上、一話)</p>	<p>小澤詢吾 の豪勝并辭世(三ノ八四三下、假世)</p> <p>小澤蘆庵 門人の無情を怒る(三ノ八三四上、假世)</p> <p>の臨終(三ノ八三五下、假世)</p> <p>●オシ</p> <p>白粉 本朝の初(三ノ三五二下、半日)</p> <p>●オス</p> <p>お末 といふ女官(四ノ三三二下、一話)</p> <p>御救米 天明七年江戸(金(五ノ二二三上、一話)</p> <p>男居 「オス」お末ヲ見ヨ</p> <p>●オマ</p> <p>おだまき草 の漢名(四ノ三六六上、一話)</p> <p>お竹大日如來 の墓(五ノ五六四上、一補)</p>	<p>御田植祭 攝津國住吉(一ノ九三上、莖考)</p> <p>御爲者 といふ言葉(三ノ七一九上、金層)</p> <p>尾田玄古 (五ノ二二三下、一話)</p> <p>織田信雄 の蹟(四ノ一二八下、一話)</p> <p>織田信長 高野山を攻む(五ノ一六二上、一話)</p> <p>小田原 相州より大山へ到る道(五ノ五五〇下、一補)</p> <p>小田原町 江戸(五ノ六四〇上、一補)</p> <p>●オチ</p> <p>阿茶局 「アチ」阿茶局ヲ見ヨ</p> <p>●オツ</p> <p>おつくばい といふもの(四ノ三三〇下、一話)</p>	<p>乙由 俳人—の書簡(五ノ二四五下、一話)</p> <p>夫殺 青山原宿(三ノ三一六下、半日)</p> <p>●オト</p> <p>男達 古來俠者姓名小傳(五ノ三八七上、一話)</p> <p>落咄 「ラク」落語ヲ見ヨ</p> <p>踊 京都各所の盆(四ノ三三九下、一話)</p> <p>難波の—の難子(四ノ三三九下、一話)</p> <p>長崎燒酎(三ノ六一五上、瓊雜)</p> <p>踊子 寶曆時代—の風俗(三ノ七三〇下、金層)</p> <p>踊船 古圖并考(三ノ五五下、半日)</p> <p>●オナ</p> <p>おなむと なむさ(四ノ二二</p>
--	--	--	---

<p>○下、一話)</p> <p>女化原 常陸國—の由来(四ノ七九四下、一話)</p> <p>御成 元禄十年上野中堂—(四ノ三四六下、一話)</p> <p>享保元年同上—(四ノ三四七上、一話)</p> <p>—御道筋下目録見(四ノ三五七下、一話)</p> <p>中堂—(四ノ三五八下、一話)</p> <p>寛政七年—(三ノ四一上、半日)</p> <p>大納言様—(三ノ五二上、半日)</p> <p>外山屋敷—(三ノ七八下、半日)</p> <p>清水御屋形—の節装供方御料物(五ノ一九七下、一話)</p> <p>—に付番部新六郎御告の事(四ノ七四二上、一話)</p>	<p>—に雨降りし事(四ノ四三九下、一話)</p> <p>●オニ</p> <p>鬼貫 俳人—夕霧を悼むの句(四ノ七二下、一話)</p> <p>鬼念佛 攝關(三ノ三三下、四あ)</p> <p>—(二ノ七五上、四留)</p> <p>鬼娘 の親世物(三ノ二八三下、半日)</p> <p>御庭拜見 支度(五ノ五七七下、一話)</p> <p>●オノ</p> <p>小野小町 藩の歌(四ノ五八三上、一話)</p> <p>小野通女 が事(三ノ一〇五下、半日)</p> <p>—旗捨山の歌(四ノ七四九上、一話)</p> <p>小野寺十内 淺野稻荷へ奉納の歌(四ノ六九四上、一話)</p>	<p>小野照崎神社 江戸坂本—(四ノ一六五下、一話)(二ノ四六二下、武江)</p> <p>小野蘭山 の卒日(三ノ七二上、半日)</p> <p>尾上松之丞 弓町踏考(三ノ二六二上、半日)</p> <p>自己 みづからの事を「おれ」といふ(四ノ二〇上、一話)</p> <p>●オハ</p> <p>男橋形 「ハリ」陰相ヲ見ヨ</p> <p>御濱御殿 出来の年代(三ノ四六五上、半日)</p> <p>小林田兵衛 (四ノ三七〇上、一話)</p> <p>尾張國 大風津浪(三ノ二〇八下、半日)</p> <p>●オヒ</p> <p>幸手宿の—(三ノ一一〇上、半日)</p>	<p>帯解 の祝(五ノ二七九下、一話)</p> <p>追廻しの馬場 (四ノ七三下、一話)(二ノ四三四下、武江)</p> <p>●オホ</p> <p>太石良雄 の寫人(四ノ六九一上、一話)</p> <p>—の人物(三ノ九〇上、半日)</p> <p>—番部彌兵衛狀(四ノ六九三上、一話)</p> <p>—書簡(三ノ八七上、半日)(四ノ六四四上、一話)(四ノ一一八下、一話)</p> <p>—欺敵の計(四ノ六九三下、一話)</p> <p>—の遺族(五ノ四九九下、一話)</p> <p>—の家来宇右衛門主人の旗を嫁入らしむるの話(三ノ一五九上、半日)</p>
--	---	---	---

<p>—の作歌(三ノ七三四上、金)</p> <p>大石良金 の帶刀(三ノ一七七下、半日)</p> <p>大浦 長崎—(三ノ六〇六上、環)</p> <p>大江山 鬼ヶ城(五ノ五五七上、一話)</p> <p>大岡出雲守 「オホ」大岡忠光ヲ見ヨ</p> <p>大岡忠相 酒匂川水防工事被仰付(四ノ七〇〇上、一話)</p> <p>—の加増(四ノ八八上、一話)</p> <p>大岡忠光 の隠匿(四ノ五五四下、一話)</p> <p>大垣侍従 追悼短歌(四ノ五五八上、一話)</p> <p>大川橋 出来(三ノ二五五上、半日)</p> <p>大君明神 近江國君が御の—</p>	<p>(四ノ四五二下、一話)</p> <p>大久保忠奇 愛岳蔵文庫の棟札(四ノ三四二上、一話)</p> <p>大久保流徳 の墓(五ノ五六四上、一話)</p> <p>大阪 の圖(二ノ四〇〇下、尺腹)</p> <p>—の家數總數(五ノ五二二下、一話)</p> <p>—町中人別(三ノ一八二下、半日)</p> <p>寛政四年—火災(三ノ八五下、半日)</p> <p>—格ある町家の名(三ノ五一二下、朔遊)</p> <p>江戸と—の似たるもの(四ノ三四〇下、一話)</p> <p>—の名物を讀める狂歌(四ノ八二九下、一話)</p> <p>—の節の雛子(四ノ三三九下、一話)</p>	<p>大阪城 の席々(四ノ三〇九上、一話)</p> <p>—追手橋失奪付(五ノ四〇五下、一話)</p> <p>—落城御祝(四ノ三六七下、一話)</p> <p>大澤下總守 高家—藏書并卒日(三ノ七〇九下、向岡)</p> <p>大鹽村 奥州會津領—(四ノ三〇七上、一話)</p> <p>大島蓼太 「レウ」蓼太ヲ見ヨ</p> <p>大高忠雄 等淺野稻荷へ奉納の佛指(四ノ六九四上、一話)</p> <p>—の書簡(四ノ六三七下、一話)</p> <p>大田 といふ名字の住所(三ノ四七五下、瀬田)</p> <p>大田南畝 對山の號の住所(二ノ三九二下、尺腹)</p> <p>—遠櫻居士と號せし由来(一</p>	<p>ノ三四二下、綱布)</p> <p>—の誕生日支干(四ノ四七〇下、一話)</p> <p>—宅地を賜る(四ノ六一二上、一話)</p> <p>—手簡(四ノ八三六上、一話)</p> <p>—の頓智(五ノ四四〇上、一話)</p> <p>赤良が現(三ノ四八四上、俗耳)</p> <p>—晩年の有様(三ノ八二二上、奴風)</p> <p>杏花園六帖賀羅羅(五ノ一〇八下、一話)</p> <p>—の凶句女子を失ふ(四ノ七四〇下、一話)</p> <p>史館晴窓の詩(三ノ九〇上、半日)</p> <p>大津 江州—の古名(四ノ四六六上、一話)</p>
--	--	---	---

<p>近江—の方言(一ノ一三六上、 壬戌)</p> <p>大津保 江州大津の古名—(四 ノ四六六上、一話)</p> <p>大坪流 馬術—の始祖(三ノ三 五二下、半日)</p> <p>大根太木 狂歌師—傳井基 (二ノ五〇七上、武江)</p> <p>—廢積樓記(二ノ一七下、四 あ)</p> <p>大野道犬 念生捕りし人(四ノ 三七〇上、一話)</p> <p>大野治長 主馬の末葉(四ノ二 八六上、一話)</p> <p>大橋近江 が死去の節書付(五 ノ五八上、一話)</p> <p>大橋長左衛門 水野猪兵衛と 殿中口論(四ノ二九七下、一 話)</p> <p>—死去(五ノ五一八上、一話)</p>	<p>大橋築地 の圖(三ノ二三四上、 半日)</p> <p>三又(三ノ七九九上、奴風)</p> <p>—の繁昌(三ノ二六〇上、半 日)</p> <p>大晦日 五月晦日を—といふ 事(三ノ二八三上、半日)</p> <p>大峰 の方言(五ノ五三〇下、一 補)</p> <p>大村 肥前—の地(三ノ六一五 上、瓊雜)</p> <p>大村氏 樂彼園の碑銘(三ノ五三 五上、石楠)</p> <p>—領内痘瘡少し(三ノ五三四 下、石楠)</p> <p>—參府の事(三ノ五三三上、石 楠)</p> <p>大村龍雲 畫家—(三ノ五七 三上、百舌)</p> <p>大飯食人 悼—祭文(二ノ七</p>	<p>三上、四留)</p> <p>大屋裏住 狂歌師—(三ノ八 一七下、假世)</p> <p>大山 相州—より小田原へ到る 道の事(五ノ五五〇下、一補)</p> <p>大淀三千風 「ミチ」三千風ヲ見 る</p> <p>狼 觀世物の—逃る(三ノ二八二 下、半日)</p> <p>十一歳の童子—を仕留し事(四 ノ一九三下、一話)</p> <p>正親町公通 の卒日(四ノ二二 二上、一話)</p> <p>釣吻 (五ノ二八上、一話)</p> <p>太田錦城 不祥の詩(四ノ六〇 七下、一話)</p> <p>太田道灌 の像(四ノ四六二上、 一話)</p> <p>—の碑(二ノ四七四下、武江)</p> <p>—靈夢の地(三ノ七〇二上、向</p>	<p>御室 京都—(四ノ二四四上、 一話)</p> <p>玩具 スタタマ(三ノ二四二上、 半日)</p> <p>●オヤ おやぢ といふ詞(四ノ二二〇 上、一話)</p> <p>親 おやじ、おやぢ(四ノ二二 〇上、一話)</p> <p>「シン」親子ヲ見ヨ</p> <p>御藥園 白山—の藥草(四ノ四 四九上、一話)</p> <p>小山田與清 清水濱臣との不和 を解く(三ノ一六一下、半日)</p> <p>●オラ オランウ、タン 彌猴の族— 圖考(四ノ八〇〇上、一話)</p>
---	--	---	--

<p>阿蘭陀 の五音(三ノ六〇六下 瓊雜)</p> <p>—の詩(四ノ四八七上、一話)</p> <p>—一年の日數(三ノ六〇九上、 瓊雜)</p> <p>—加比丹狎妓の衣裳(三ノ六 〇六上、瓊雜)</p> <p>—菓子製法(三ノ五七九下、瓊 雜)</p> <p>—船の白帆隠れ(三ノ五三四 下、石楠)</p> <p>阿蘭陀人 の獻上物(三ノ四四 六上、半日)</p> <p>—屋敷冬至の祝(五ノ五三八 下、一補)</p> <p>—俄夢居狂言(五ノ三六三下、 一話)</p> <p>—アライ、ゲスの話(三ノ五 八九下、瓊雜)</p> <p>—來(三ノ二五三上、半日)</p>	<p>長崎在留の—姓名(三ノ五九 〇上、瓊雜)</p> <p>—日本人を長る(四ノ四七上、 一話)</p> <p>—(申渡御書付二通寫(五ノ 六二上、一話)</p> <p>—の墓(三ノ六二〇下、瓊又)</p> <p>●オリ 折本 (四ノ五二五上、一話)</p> <p>織物 柿葉(四ノ六七五下、一話)</p> <p>八丈糊印鑑(三ノ四五六下、半 日)</p> <p>山崎袖織物の事(三ノ五六六上、 百舌)</p> <p>—粗米綿の尺を定む(五ノ五二五 下、一話)</p> <p>—發(二ノ七〇下、四留)</p> <p>古きハレ(四ノ六七下、一話)</p> <p>己「オノ」自己ヲ見ヨ</p>	<p>●オロ 俄羅斯 「ロシ」露西亞ヲ見ヨ</p> <p>俄羅斯文館 (四ノ四五九上、一 話)</p> <p>●オン ヲシコ と云ふ木(四ノ四四八 上、一話)(三ノ五一八上、 週遊)</p> <p>溫疫論校注 杉本仲温が—の 序(四ノ七八六上、一話)</p> <p>溫泉 越後一本木—録(三ノ一 六五上、半日)</p> <p>但馬城崎上野草津—變方(三 ノ五七六下、百舌)</p> <p>陰陽師 に牛を賜ふ事(三ノ七 四七下、南畝)</p>	<p>南畝(三ノ二九下、半日)</p> <p>●カイ 海岳相豆紀行 雜詠序(五ノ五 七下、一話)</p> <p>海賊 東洋西洋の—(三ノ六二 二下、瓊又)</p> <p>海戰 肥後殿調伏(四ノ三三五上、 一話)</p> <p>海住山高清 (四ノ二六五上、一 話)</p> <p>海福寺 深川—の塔(五ノ三五 〇上、一話)</p> <p>海杉 といふもの(三ノ五一三下、 週遊)</p> <p>改元 (四ノ四三三上、一話)</p> <p>—安永—井落首(三ノ二四六上、 半日)</p> <p>—安永—林家書上(五ノ二五三 上、一話)</p> <p>文化—記(五ノ二五三上、一</p>
--	---	--	--

<p>改心 深川兄弟奇特の事(五ノ五 五七下、一話)</p> <p>凱旋 凱陣の食膳(四ノ六二五下、 一話)</p> <p>疥癬 疥癬齋(四ノ六七五上、一 話)</p> <p>—の藥(三ノ五七三下、百舌) (四ノ三〇五下、一話)(三ノ 五七二下、百舌)</p> <p>開帳 佛閣—に轆を上るの初 (三ノ四三六下、半日)</p> <p>●カウ カウヒイ 咖啡(三ノ六二五上、 還文)</p> <p>かう木 上總大山寺の—(四ノ 三〇五上、一話)</p> <p>カウランツトルコ といふ蘭 書(三ノ五八九上、還雜)</p> <p>香 上古十種名—追加六種名—</p>	<p>東山鶴政名—五十種(四ノ七 〇四下、一話)</p> <p>志野流石香秘書(三ノ三七〇下、 半日)</p> <p>香合 蒔繪—圖井—考(五ノ 一七四下、一話)</p> <p>好庵 醫師大膳亮—(五ノ二二 三上、一話)</p> <p>交易 日本と中華の—(四ノ二 一八上、一話)</p> <p>交接 人道(四ノ四八八下、一話) 古—の圖(三ノ七七七上、南 畝)</p> <p>航海 寧波乍浦等より日本への航 路并里數(三ノ五一三上、週 遊)</p> <p>孝行 孝子八右衛門(四ノ七六五 上、一話)</p> <p>孝子萬吉(四ノ一〇八上、一話) 孝子吉助(四ノ一九二上、一話)</p>	<p>薩州の孝子(三ノ五二三下、石 楠)</p> <p>孝子押立村長五郎(三ノ六九三 上、向阿)</p> <p>牛天神下の孝子(五ノ一九七上、 一話)</p> <p>孝女りん(四ノ一一八下、一話) 孝女いち姉妹(四ノ二七九上、一 話)</p> <p>孝經 —述義(四ノ四三三下、一 話)</p> <p>康熙帝 の詩(四ノ七六上、一話) 高啓 明—傳(五ノ二八五下、一 話)</p> <p>高女岱 (四ノ一四六上、一話) 高嵩谷 畫家—(三ノ八一七 下、假世)</p> <p>高泉禪師 夜燈の詩(三ノ五二 三上、石楠)</p> <p>高臺寺 京都東山—(四ノ三三</p>	<p>九上、一話)</p> <p>高駢 唐—(五ノ三七七下、一 話)</p> <p>高師直 鹽谷判官の要に送る歌 の漢譯(三ノ七六五上、南畝) (四ノ四八三下、一話)</p> <p>高慢軒行脚日記 といへる書 (三ノ二五八下、半日)</p> <p>高陽園飲 序(五ノ二六四下、一 話)</p> <p>高野山 織田信長—を攻めし 時の奇怪(五ノ一六二上、一 話)</p> <p>—の木食上人(五ノ一六三下、 一話)</p> <p>帝都を去る事(五ノ四一 二上、一話)</p> <p>高麗日妙 「ニチ」日達ヲ見ヨ 高力左近大夫 領地被召上(四 ノ三一四下、一話)</p>
---	---	--	---

<p>講習餘筆 抄(四ノ四八七下、 一話)</p> <p>講習餘錄 といふ書(四ノ四三 五下、一話)</p> <p>講釋 心學—の序の札(三ノ八 二九上、假世)</p> <p>講釋師 の始(三ノ四七二下、瀨 田)</p> <p>—馬谷の張札(三ノ四九一上、 俗耳)</p> <p>麴町天神 (一ノ四四三下、武 江)</p> <p>庚申 (五ノ二五五下、一話) 定考 の跋み方(四ノ二二下、 一話)</p> <p>鴻の臺 (一ノ四三七上、武江) 下總國—の名の起原(三ノ四 〇三上、半日)</p> <p>鴻巣宿 類稿拜借金覺(三ノ三六 八上、半日)</p>	<p>降伏 笠を出し笠を上る(三ノ七 五五下、南畝)</p> <p>幸若 音曲由緒并略系(三ノ一〇 〇下、半日)</p> <p>臥雲子 瑞齋師(三ノ五二八 下、石楠)</p> <p>●カエ 迦葉尊者 の木鉢(三ノ六二五 上、還文)</p> <p>●カオ 家屋 大阪家作の風(二ノ三九一 下、尺牘)</p> <p>●カカ が、芋 と蕪葉食(五ノ五五三 下、一話)</p> <p>香川太沖 の平常(三ノ八四一</p>	<p>下、假世)</p> <p>—の花押(四ノ四八一上、一 話)</p> <p>歌學方 幕府—の始(三ノ四七 三下、瀨田)</p> <p>鏡 古—の圖(三ノ七七七上、南 畝)</p> <p>鏡池 江戸淺草—(一ノ四七三 上、武江)</p> <p>鏡山 草履打の實錄(五ノ二七〇 下、一話)(五ノ三五五下、一 話)</p> <p>●カキ 柿本人麿 柿本社神階(三ノ三 〇上、半日)</p> <p>柿本大明神(四ノ五七下、一 話)</p> <p>●カク かくれたるしん といふ冊 (五ノ四二二下、一話)</p>	<p>樂器 琉球國の—(四ノ二二七 下、一話)</p> <p>琉球國—の圖(三ノ三四四上、 半日)</p> <p>樂志論 蘇子由の—(四ノ四四 四上、一話)</p> <p>樂人 中院通茂—の話(四ノ三 七六下、一話)</p> <p>角澤大學 龜井樞政守家老— が奇智(三ノ七二上、半日)</p> <p>覺山和尚 東慶寺の開山—(四 ノ七八〇上、一話)</p> <p>隱賢女 「イン」—ヲ見ヨ</p> <p>學津討原 といふ書(四ノ四六 二下、一話)</p> <p>學者 を俳優に比しての評(三ノ 七三六下、金層)</p> <p>—の酒量(三ノ八三九上、假 世)</p> <p>學善坊 山伏—(四ノ六五三</p>
---	--	---	---

<p>下、一話)</p> <p>學則 といふ書(四ノ八〇上、一話)</p> <p>家訓 或人の(三ノ四一四上、半日)</p> <p>神樂 内侍所の(四ノ二〇三下、一話)</p> <p>十二(三ノ七一八上、金層)</p> <p>氷川神社—式(三ノ七一八下、金層)</p> <p>隠れ里 といふ地(三ノ七〇一上、向岡)</p> <p>●カク</p> <p>カケ込唐人 といふ事(三ノ六二七上、瓊文)</p> <p>景清屋敷 尾州熱田の(三ノ四〇九下、半日)</p> <p>●カコ</p> <p>駕籠 辻—の始(三ノ三五二下、半日)</p>	<p>辻—書上(五ノ三一九上、一話)</p> <p>駕舁 の至言(四ノ四一六下、一話)</p> <p>●カサ</p> <p>笠 虫たれ(四ノ三六七上、一話)</p> <p>笠(四ノ一四三下、一話)</p> <p>編(三ノ一一二下、半日)</p> <p>「チン」陣笠ヲモ見ヨ</p> <p>笠森阿仙 —阿藤優秀(二ノ一三七下、土平)</p> <p>—の評判(三ノ二二六下、半日)</p> <p>葛西 (一ノ四三六下、武江)</p> <p>葛飾郡—の地(四ノ五八四上、一話)</p> <p>澹守稻荷 (一ノ五〇九下、武江)</p> <p>飾兜 「タン」端午ヲ見ヨ</p>	<p>●カシ</p> <p>かしく 遊女—の墓(一ノ五六上、葦若)</p> <p>かしく坊 —富士を愛す(三ノ八三四下、假世)</p> <p>柏 の木(四ノ四三六下、一話)</p> <p>鹿島兵助 の墓(三ノ三四八上、半日)</p> <p>●カセ</p> <p>風 尾州大—津派(三ノ一〇八下、半日)</p> <p>風邪 風病流行(四ノ三六七上、一話)</p> <p>「ヒヤ」病氣ヲモ見ヨ</p> <p>●カタ</p> <p>かた言 といふ書(四ノ二一一上、一話)</p> <p>かたち讀 兩點よみ(四ノ六八下、一話)</p> <p>嘉太夫節 (四ノ三三七下、一話)</p>	<p>話)</p> <p>「シヤ」淨瑠璃ヲモ見ヨ</p> <p>片岡源吾右衛門 淺野家士(四ノ六九一上、一話)</p> <p>片山兼山 の死去(四ノ六〇上、一話)</p> <p>敵討 「フク」復讐ヲ見ヨ</p> <p>刀 大小の事(三ノ七四九上、附)</p> <p>「タウ」刀劍ヲモ見ヨ</p> <p>刀鍛冶 の稻荷を祀る事(四ノ七二五下、一話)</p> <p>—御褒美(四ノ七三九上、一話)</p> <p>●カチ</p> <p>徒士 —支配(御書付)(三ノ一三五下、半日)</p> <p>—水泳稽古の始(三ノ四七二下、瀬田)</p> <p>御—方萬年記抄書(五ノ九一</p>
---	---	---	--

<p>上、一話)</p> <p>徒卒隊肥事(五ノ一四六下、一話)</p> <p>—七番組番留の數條(五ノ二四八上、一話)</p> <p>鍛冶 「カタ」刀鍛冶ヲ見ヨ</p> <p>梶女 の發句(四ノ一一三下、一話)</p> <p>梶川與惣兵衛 の墓(一ノ四四三上、武江)</p> <p>楫取魚彦 (四ノ四五〇下、一話)</p> <p>●カツ</p> <p>カツホ木 千木(三ノ一二二上、半日)</p> <p>鯉 —煎汁(四ノ六〇五上、一話)</p> <p>—の鱗(二ノ一〇七上、四あ)</p> <p>「ハッ」初鱗ヲモ見ヨ</p> <p>鯉節 朝鮮人の見たる(三ノ</p>	<p>七六七上、南畝)</p> <p>—製方(五ノ五五一上、一補)</p> <p>葛飾 —六詠(二ノ二下、三養)</p> <p>—に遊ぶの肥(二ノ一上、三養)</p> <p>葛飾郡 (四ノ五八四上、一話)</p> <p>葛飾八幡 下總國—の銅鐘(三ノ四〇二下、半日)</p> <p>葛飾北齋 文化元年—番大途(四ノ二四下、一話)</p> <p>葛城の神 の歌(四ノ七五〇上、一話)</p> <p>喝食 (四ノ二〇九下、一話)</p> <p>喝浪和尚 の座(三ノ六二六下、瓊文)</p> <p>—の百回忌(三ノ六〇八下、瓊文)</p> <p>河童 —圖説(五ノ四四二下、一話)</p> <p>—と勝負を決したる話(三ノ</p>	<p>一二九下、半日)</p> <p>勝俵藏 狂言作者(三ノ六五七下、玉砂)</p> <p>勝正成 職に死す(四ノ七〇四上、一話)</p> <p>桂姫 上島羽村の(四ノ三三六下、一話)</p> <p>桂女 由緒井名(四ノ三三六下、一話)</p> <p>●カト</p> <p>葛野氏 —家譜(三ノ三七七下、半日)</p> <p>加藤清正 肥後殿調伏(四ノ三三五上、一話)</p> <p>—答朝鮮人書(四ノ四六六下、一話)</p> <p>肥後守の名首(四ノ四一八下、一話)</p>	<p>—家法に歌よむ事ヲ停止す(三ノ四一〇下、半日)</p> <p>—二百年忌(四ノ六八七上、一話)</p> <p>加藤千蔭 の芳宜園といふ號(五ノ三三四上、一話)</p> <p>—の狂名(三ノ八〇六上、奴風)</p> <p>—の墓(三ノ七三四上、金層)</p> <p>—の文(三ノ一七五下、半日)</p> <p>—和歌(四ノ七三三下、一話)</p> <p>加藤豫齋 の死去(四ノ六〇上、一話)</p> <p>加藤嘉明 左馬允の寛仁(四ノ四一八上、一話)</p> <p>河東節 の文句の内面白きもの(三ノ四九二下、俗耳)</p> <p>家督相續 正徳時代の(四ノ三七五上、一話)</p> <p>門開き 初て女子の生るゝを賀</p>
--	--	--	---

<p>して—といふ(三ノ四八一 下、俗耳)</p> <p>門松 檜を松に更(四ノ三二〇 下、一話)</p> <p>角屋七郎次 勢州—御朱印願 書之寫(三ノ五四上、半日)×四 ノ五二下、一話)</p> <p>●カナ 金目山 阪東七番觀音相州— 光明寺(四ノ五三下、一話)</p> <p>金砂山明神 の神事(五ノ五四 五下、一補)</p> <p>金杉 芝—にて掘出候古碑(四 ノ七三九下、一話)</p> <p>金森五郎八 (四ノ七二五下、一 話)</p> <p>金森粉負 の家傳(四ノ一九 二下、一話)</p> <p>叶福助 の人形(四ノ八〇三下、 一話)</p>	<p>鐵氣 鍋釜の—なぬく法(四ノ 三七四下、一話)</p> <p>●カニ 蟹 一島に變ず(五ノ五四七上、 一補)</p> <p>一化石(三ノ二〇六上、半日)</p> <p>盤江七本鎗 (四ノ七四二下、一 話)</p> <p>●カ子 鐘 石町の—(二ノ四三八下、武 江)</p> <p>江戸階寺の—(五ノ三四八下、一 話)</p> <p>下越國葛飾八幡の銅—(三ノ四 〇二下、半日)</p> <p>河内國より掘出せし異—(四ノ 一四七下、一話)</p> <p>常陸鹿島郡より出し—(四ノ一 四八上、一話)</p> <p>—を釣るに婦人を忌む(三ノ六</p>	<p>九一下、向阿)(三ノ七四八上、 南歌)</p> <p>「鐘銘」 橋場越前寺—(二ノ四七二下、 武江)</p> <p>押上郷法久山最勝寺—(二ノ 四三九上、武江)</p> <p>江戸金龍山淺草寺—(二ノ四 六五上、武江)×(四ノ七五二下、 一話)</p> <p>四谷寂光寺—(三ノ五五上、半 日)</p> <p>東山清水—(二ノ四四上、改 元)</p> <p>武藏國見次山延命寺—(二ノ 四九八上、武江)</p> <p>武藏國本理山自燈寺—(二ノ 五〇八下、武江)</p> <p>武藏國白壁山養源寺—(二ノ 四九五上、武江)</p>	<p>武藏國福聚山善應寺—(二ノ 四九〇下、武江)</p> <p>武藏國深榮山長昌寺—(二ノ 四九〇上、武江)</p> <p>武藏國高峰山長泉院—(二ノ 四七七上、武江)</p> <p>武藏國愛宕山—(二ノ四五六 下、武江)</p> <p>武藏國慈雲山長泉寺—(二ノ 四四五上、武江)</p> <p>武藏國淺谷山東福寺—(二ノ 四四七下、武江)</p> <p>武藏國古碧山龍巖寺—(二ノ 四四四下、武江)</p> <p>武州豐島郡祥雲寺—(四ノ五 三二上、一話)</p> <p>武州葛西正福寺—(三ノ五二 三下、石橋)</p> <p>武州真福院福兩寺—(三ノ七 七五上、南歌)</p>
--	--	--	--

<p>下越國毘王寺—并序(二ノ一 一八下、文橋)</p> <p>甲州牧庄法光寺古—(三ノ一 七五下、半日)</p> <p>陸奥國平泉中尊寺—(五ノ一 三五下、一話)</p> <p>野島村中尊社—(四ノ四三 一、一話)</p> <p>道澄寺—(三ノ七四四上、南 歌)</p> <p>隱元禪師草書—(五ノ三四 九下、一話)</p> <p>鐘が淵 の名(二ノ四八八下、武 江)</p> <p>—に沈める鐘(二ノ四八九上、 武江)</p> <p>金寶橋次 の鈴(四ノ七二〇下、 一話)</p> <p>金貨 一—(三ノ三〇五上、半 日)</p>	<p>金田八幡宮 の肥録(五ノ一三 六上、一話)</p> <p>●カノ 賀の祝 乾應帝—(三ノ二〇四 下、半日)</p> <p>狩野氏 の系圖(五ノ二四七上、 一話)</p> <p>狩野尚信 の卒日(二ノ四六六 上、武江)</p> <p>狩野涼岷 の特技(四ノ七三下、 一話)</p> <p>●カハ かはづるみ 「シユ」手淫ヲ見ヨ 川井越前守 勘定奉行—久 敬(四ノ三七一上、一話)</p> <p>—卒(三ノ二五七下、半日)</p> <p>—の葵(四ノ八二下、一話)</p> <p>川崎 東海道—(三ノ六八九上、 向阿)</p> <p>川傍柳 —三編序(五ノ三七八</p>	<p>川開 兩國—(四ノ七五下、一 話)</p> <p>—の日(二ノ四三四下、武江)</p> <p>河口靜齋 (三八)の生日并忌日 (四ノ六八一上、一話)</p> <p>河津祐康 が塔(三ノ七六下、半 日)</p> <p>河村隨軒 の略傳并治水の事(三 ノ四六三上、續田)</p> <p>蛙 の聲(二ノ七一上、四留)</p> <p>樺太 の語の出處(四ノ六二九上、 一話)</p> <p>瓦 紫宸殿の—、極古の—(四ノ三 三一上、一話)</p> <p>— 養濟古上配(四ノ四五〇下、一 話)</p> <p>法勝寺古上配并詩歌(四ノ七九 七上、一話)</p> <p>梅垣寺古上配(三ノ七七五下、</p>	<p>南歌)</p> <p>牛込舟河原古—(四ノ五九〇上、 一話)</p> <p>土碗投 (二ノ五七下、荻若)</p> <p>●カヒ 貝石 遠州濱松木原權現附近の— (四ノ二二六下、一話)</p> <p>貝原益軒 の書(四ノ七三七下、 一話)</p> <p>—の花押(四ノ四八一上、一 話)</p> <p>—の書簡(五ノ三六一下、一 話)</p> <p>貝原元端 の書簡(五ノ三六〇 上、一話)</p> <p>貝のむきみ 羽田のぬきみ(三 ノ六八九上、向阿)</p> <p>甲斐國 甲州船井甲州金(五ノ 五五四、一補)</p> <p>甲斐絹 女見絹(四ノ四一三上、</p>
---	--	--	--

<p>一話) 甲斐二十二將 の傳(五ノ三二上、一話)</p>	<p>寶曆四年中村座にて升五郎團十郎十三回忌追善興行(三ノ四三七上、半日) 寶曆十四年大阪竹本筑後芝居下(三ノ四四二下、半日) 道成寺狂言(三ノ二七三下、半日) 狂言師三勝訴狀(三ノ二九四上、半日) 中村座の戀娘昔八丈(三ノ二五九下、半日) 中村座猿若狂言(三ノ二四七上、半日) 市村座助六狂言大當(三ノ二五九上、半日) ひおほひ(三ノ五〇四上、俗耳) 堺町中村座爲朝狂言の時の歌(三ノ六七三上、五砂) 戯場にてうたふ歌(三ノ七二六上、金層)</p>	<p>歌右衛門清盛の衣裳(三ノ六五六上、五砂) 戯場切落の天井(三ノ四八〇上、俗耳) 戯場を瓦葺にせる始(三ノ七一七下、金層) 堺町狂言町に戯場の普請(三ノ六七二上、同六七四上、五砂) 桐長桐芝居松葉落候事(五ノ二三四下、一話) 堺町芝居茶屋の切腹(三ノ二五九上、半日) 阿蘭陀俄芝居狂言(五ノ三六三下、一話) 長崎の支那演劇(三ノ五八四下、瓊雜) 風來山人芝居の事をかける文(三ノ八二九下、假世) 戯場回録年歴録(三ノ九四下、半日)</p>	<p>「ハイ」俳優ヲモ見ヨ 兜 武田信玄の噴嘩笠(四ノ一六六下、一話) 甲觀音 徳山家(五ノ五四一上、一話) 甲府城 の機失(四ノ八九上、一話) 甲陽軍鑑 の事(三ノ五三〇上、石楠) ●カハ 蹄花 八月末の(三ノ二四三上、半日)</p>
<p>●カフ 歌舞伎 三座明鏡(五ノ五九六上、一補) 堺町木挽町芝居由緒書(三ノ四二二下、半日) 顔見世朝の儀式(三ノ六五八上、五砂) 顔見世の名(三ノ四八一上、俗耳) 天明四年の顔見世(三ノ五〇四下、俗耳) 寛政九年の顔見世(三ノ五一〇下、半日) 寛延辛未中村座助六狂言の役割(三ノ四三六下、半日) 正徳六年木挽町勘彌初狂言(五ノ一八八上、一話)</p>	<p>寶曆四年中村座にて升五郎團十郎十三回忌追善興行(三ノ四三七上、半日) 寶曆十四年大阪竹本筑後芝居下(三ノ四四二下、半日) 道成寺狂言(三ノ二七三下、半日) 狂言師三勝訴狀(三ノ二九四上、半日) 中村座の戀娘昔八丈(三ノ二五九下、半日) 中村座猿若狂言(三ノ二四七上、半日) 市村座助六狂言大當(三ノ二五九上、半日) ひおほひ(三ノ五〇四上、俗耳) 堺町中村座爲朝狂言の時の歌(三ノ六七三上、五砂) 戯場にてうたふ歌(三ノ七二六上、金層)</p>	<p>歌右衛門清盛の衣裳(三ノ六五六上、五砂) 戯場切落の天井(三ノ四八〇上、俗耳) 戯場を瓦葺にせる始(三ノ七一七下、金層) 堺町狂言町に戯場の普請(三ノ六七二上、同六七四上、五砂) 桐長桐芝居松葉落候事(五ノ二三四下、一話) 堺町芝居茶屋の切腹(三ノ二五九上、半日) 阿蘭陀俄芝居狂言(五ノ三六三下、一話) 長崎の支那演劇(三ノ五八四下、瓊雜) 風來山人芝居の事をかける文(三ノ八二九下、假世) 戯場回録年歴録(三ノ九四下、半日)</p>	<p>「ハイ」俳優ヲモ見ヨ 兜 武田信玄の噴嘩笠(四ノ一六六下、一話) 甲觀音 徳山家(五ノ五四一上、一話) 甲府城 の機失(四ノ八九上、一話) 甲陽軍鑑 の事(三ノ五三〇上、石楠) ●カハ 蹄花 八月末の(三ノ二四三上、半日)</p>
<p>●カホ 加保茶元成 大文字屋市兵衛の齣(三ノ八四七下、假世) 狂名の起(三ノ八一一下、奴風) 女房井母の狂名(三ノ八一一下、奴風) 戒名(三ノ七三七下、金)</p>	<p>朝鮮人(御返翰の)直段(五ノ五七九上、一補) は穢れたる物なる事(四ノ四二三上、一話) 紙漉 中ノ島村 仲間(三ノ六八八下、向圓) 紙屋治兵衛 小春の心中場所(二ノ六九上、葉若) 髪 清人の名(三ノ六一二下、瓊雜) 男女共一を長くし縮一を治す(三ノ五七三下、百舌) 一の毛生る藥(三ノ五七〇上、百舌) 髪剪 婦人の(四ノ四八一上、一話) 明和五年の流行(三ノ二四四上、半日) 文化七年婢(三ノ二〇七下、半日)</p>	<p>朝鮮人(御返翰の)直段(五ノ五七九上、一補) は穢れたる物なる事(四ノ四二三上、一話) 紙漉 中ノ島村 仲間(三ノ六八八下、向圓) 紙屋治兵衛 小春の心中場所(二ノ六九上、葉若) 髪 清人の名(三ノ六一二下、瓊雜) 男女共一を長くし縮一を治す(三ノ五七三下、百舌) 一の毛生る藥(三ノ五七〇上、百舌) 髪剪 婦人の(四ノ四八一上、一話) 明和五年の流行(三ノ二四四上、半日) 文化七年婢(三ノ二〇七下、半日)</p>	<p>の事并歌(四ノ八〇五上、一話) 髪油 伽羅油の賣始め(三ノ三五二下、半日) 髪生るの方(三ノ五三七下、百舌) 髪付煉やうの秘傳(三ノ五六七下、百舌) 髪付仕方(三ノ五七一上、百舌) 梅香油仕様の傳(三ノ五一七上、百舌) 髪風の風 女帝の御髪(四ノ三二九下、一話) 禁中にて髪にかつらをかける(四ノ三三一上、一話) 本田齣(三ノ二四六下、半日) 安永時代男女の(三ノ二四六下、半日) 巻髪、吹髪、文金風(三ノ四四四上、半日)</p>

<p>●カマ 釜 火を燃さずして炊く(五ノ五二上、一話) 泉州古土(五ノ三二上、一話) 箱根山大(五ノ二五上、一話) 天貓(四ノ一四上、一話) 釜阿彌陀堂 有馬の(三ノ三五三下、半日) 鎌倉三代記 淨瑠璃 中の妙文(三ノ五〇三下、俗耳) 竈 かへッヒといふ事(三ノ六一九下、瓊文)</p>	<p>下、半日) 蒲生氏郷 加増を悦ばず(四ノ四一九上、一話) 蒲生源左衛門 伊達正宗を感ぜしむ(四ノ四一九下、一話) 蒲生秀行 の名馬(四ノ二六六下、一話) 紙 の名(五ノ二八〇上、一話) 典具帖(五ノ五四四上、一補) 泰本(三ノ六二六下、瓊文) 玉川の和唐紙(三ノ七二七下、金層) 和製の唐紙(三ノ六六九上、五砂) 浴考(四ノ四〇九上、一話) 一の假變遷(三ノ七一六下、金層) 唐一の假(三ノ二二下、半日)</p>	<p>朝鮮人(御返翰の)直段(五ノ五七九上、一補) は穢れたる物なる事(四ノ四二三上、一話) 紙漉 中ノ島村 仲間(三ノ六八八下、向圓) 紙屋治兵衛 小春の心中場所(二ノ六九上、葉若) 髪 清人の名(三ノ六一二下、瓊雜) 男女共一を長くし縮一を治す(三ノ五七三下、百舌) 一の毛生る藥(三ノ五七〇上、百舌) 髪剪 婦人の(四ノ四八一上、一話) 明和五年の流行(三ノ二四四上、半日) 文化七年婢(三ノ二〇七下、半日)</p>	<p>の事并歌(四ノ八〇五上、一話) 髪油 伽羅油の賣始め(三ノ三五二下、半日) 髪生るの方(三ノ五三七下、百舌) 髪付煉やうの秘傳(三ノ五六七下、百舌) 髪付仕方(三ノ五七一上、百舌) 梅香油仕様の傳(三ノ五一七上、百舌) 髪風の風 女帝の御髪(四ノ三二九下、一話) 禁中にて髪にかつらをかける(四ノ三三一上、一話) 本田齣(三ノ二四六下、半日) 安永時代男女の(三ノ二四六下、半日) 巻髪、吹髪、文金風(三ノ四四四上、半日)</p>
<p>顔見世 初の儀式(三ノ六五八上、五砂) つら見世(三ノ四八一上、俗耳) 天明四年市村羽左衛門座(三ノ五〇四下、俗耳) 「カフ」歌舞伎ヲモ見ヨ</p>	<p>下、半日) 蒲生氏郷 加増を悦ばず(四ノ四一九上、一話) 蒲生源左衛門 伊達正宗を感ぜしむ(四ノ四一九下、一話) 蒲生秀行 の名馬(四ノ二六六下、一話) 紙 の名(五ノ二八〇上、一話) 典具帖(五ノ五四四上、一補) 泰本(三ノ六二六下、瓊文) 玉川の和唐紙(三ノ七二七下、金層) 和製の唐紙(三ノ六六九上、五砂) 浴考(四ノ四〇九上、一話) 一の假變遷(三ノ七一六下、金層) 唐一の假(三ノ二二下、半日)</p>	<p>朝鮮人(御返翰の)直段(五ノ五七九上、一補) は穢れたる物なる事(四ノ四二三上、一話) 紙漉 中ノ島村 仲間(三ノ六八八下、向圓) 紙屋治兵衛 小春の心中場所(二ノ六九上、葉若) 髪 清人の名(三ノ六一二下、瓊雜) 男女共一を長くし縮一を治す(三ノ五七三下、百舌) 一の毛生る藥(三ノ五七〇上、百舌) 髪剪 婦人の(四ノ四八一上、一話) 明和五年の流行(三ノ二四四上、半日) 文化七年婢(三ノ二〇七下、半日)</p>	<p>の事并歌(四ノ八〇五上、一話) 髪油 伽羅油の賣始め(三ノ三五二下、半日) 髪生るの方(三ノ五三七下、百舌) 髪付煉やうの秘傳(三ノ五六七下、百舌) 髪付仕方(三ノ五七一上、百舌) 梅香油仕様の傳(三ノ五一七上、百舌) 髪風の風 女帝の御髪(四ノ三二九下、一話) 禁中にて髪にかつらをかける(四ノ三三一上、一話) 本田齣(三ノ二四六下、半日) 安永時代男女の(三ノ二四六下、半日) 巻髪、吹髪、文金風(三ノ四四四上、半日)</p>

髪結床

の定書(三ノ四八五上、俗耳)

上泉伊勢守

劍士(五ノ三六上、一話)

袴

裏付—の始(三ノ四六六下、瀬田)

神山蘆聲

の傳(一ノ四八六下、武江)

●カメ

龜

兩頭の一(三ノ二四三下、牛日)(五ノ五〇九上、一話)(五ノ五七七下、一話)

兩頭の一献上(四ノ八八下、一話)

津輕の大(五ノ五四一上、一話)

龜井南溟—の男(三ノ六一五下、瓊雜)

龜戸天満宮

雨乞靈現(四ノ八〇上、一話)

龜山天皇

—離宮草木(四ノ四九上、一話)

●カモ

加茂競馬

(四ノ三三六上、一話)

加茂真淵

の歌(四ノ二四下、一話)

●カヤ

萱野三平

赤穂磯士—の書狀(四ノ六四四下、一話)

茅野和助

赤穂磯士—書簡(五ノ一八二下、一話)

●カラ

傘

我國にて—を用ひし初(三ノ三五二下、牛日)

本朝—の始(三ノ六〇九上、瓊雜)

雜

鴉—羽州白(五ノ五五二下、一話)

烏石

鈴ヶ森の—(五ノ三五〇下、一話)

烏瓜

(四ノ六八八下、一話)

烏丸光榮

の書簡(四ノ三一八上、一話)

烏丸光廣

の歌(四ノ七七上、一話)

假世

—の歌并現箱(三ノ八二六下、假世)

鳥森稻荷

芝—の鰯口(五ノ三五〇上、一話)

唐衣橋州

の狂名(三ノ八〇一上、奴風)

唐橋世濟

醫師—(三ノ五四一上、石楠)

辛櫃

といふもの(三ノ一八上、瓊雜)

●カリ

同一九上、牛日)

鷹

白(四ノ一〇七上、一話)

狩獵

御—歌(四ノ三六五下、一話)

小金原

(四ノ八八上、一話)

享保十年

小金原御鹿狩(四ノ三七六上、一話)

●カル

骨牌

キリといふ—(一ノ二五五上、小卷)

箔

(一ノ二五五上、小卷)

●カン

かんびん

といふ器(四ノ六八〇上、一話)

感應寺

—毘沙門緣起(四ノ七六三下、一話)

寒氣

—甚し(三ノ二五五下、牛日)

寒山寺

(三ノ五四六上、石楠)

寒中

—暖氣(三ノ二五八上、牛日)

寒東院

が日蓮宗を排佛せる著述(四ノ七六三上、一話)

寒蘭

(四ノ三〇六上、一話)(四ノ三〇七上、一話)

韓國

「テウ」朝鮮ヲ見ヨ

韓退之

の流所(四ノ四六六上、一話)

神崎與五郎

赤穂磯士—物語(五ノ二八六下、一話)

神田川

江戸—(一ノ四六〇下、武江)

神田橋御門

の普請(三ノ二四五下、牛日)

神田神社

(五ノ二六二下、一話)

話(一ノ四六一上、武江)

—由緒書(一ノ四七八上、武江)

—舊地祭禮の記(一ノ四八〇上、武江)

—祭禮の喧嘩(三ノ二二七下、牛日)

—住吉の手水鉢(五ノ三五二上、一話)

—神主「シン」神職ヲ見ヨ

干支—己が生れたる十二支より七つ目にあたる形を畫しむる事(三ノ七四三上、南畝)

幹珠(四ノ四三三下、一話)

勘助井戸—駿河國久能山—(四ノ一六六上、一話)

姦通—江戸井大阪姦夫の假(三ノ七三四上、金屑)

古井鏡之助密通の事(三ノ三二三下、牛日)

興力後家中問と—(三ノ二八六下、牛日)

本所密夫一件(三ノ三二〇下、牛日)

—鳴子密夫(三ノ三二四下、牛日)

—支那—の繁昌(三ノ六二二下、瓊文)

—廣東—の繁昌(三ノ六二二下、瓊文)

—飽—の儀(四ノ七四一上、一話)

—早魁—明和七年諸國—(三ノ二二九上、牛日)

—明和八年大旱(三ノ二三四上、牛日)

—甘露降る—寛政元年—(四ノ二二二下、一話)

—小机村長福院に—(三ノ六七七上、玉砂)

●キウ

—の字(三ノ五三〇下、石楠)(三ノ七四八上、南畝)

—牛經大全—(四ノ六八五下、一話)

—牛門詠詩歌—春日—序(四ノ四〇六下、一話)

—牛門四友—(三ノ八〇五上、奴風)

—牛門四友集—の序(四ノ八三〇上、一話)

—舊室—俳人—の發句(三ノ四四一上、牛日)

—弓術—賭的矢代の笠掛鏡の異名(四ノ一〇下、一話)

—朝鮮人射藝興行(三ノ四三四下、牛日)

—救恤—町方御救米の事(五ノ五六九下、一話)

—火災ニ付拜借金井御救金高(三ノ三五二下、牛日)

<p>ノ二三九下、半日)</p> <p>天明七年御救金米書付(四ノ一七五下、一話)</p> <p>天明七年未年江戸御救金米(五ノ二三三上、一話)</p> <p>宮城 桓武帝遷都以後炎上記録(四ノ一九一上、一話)</p> <p>宮中 禁裡御遊(三ノ二四八上、半日)</p> <p>御障中御禮(三ノ二五五上、半日)</p> <p>窮鼠狸を齧む といふ諺(四ノ四八八下、一話)</p> <p>袋代 は宮體宮帯に同じ(五ノ四一九上、一話)</p> <p>●キオ 祇園神社 神事行列(四ノ三〇八上、一話)</p> <p>の駕輿丁(四ノ三四〇下、一話)</p>	<p>の額(四ノ三三四上、一話)</p> <p>祇園南海 興一の狂詩(三ノ八一五上、假世)</p> <p>●キカ 紀海音 淨瑠璃作者(三ノ四八二下、俗耳)</p> <p>が作背梅撰食盛の評(三ノ四八二下、俗耳)</p> <p>紙行 類の書(五ノ五二九下、一話)</p> <p>其角 の書簡(五ノ二二六下、一話)</p> <p>の墓(三ノ五二五下、石楠)</p> <p>●キキ 飢饉 元禄十六年(三ノ六四五下、瓊文)</p> <p>寛永十年の(四ノ四一四下、一話)</p> <p>享保十七年の(四ノ七二六上、一話)</p>	<p>●キノ 菊 の和訓井一の花の歌の始(三ノ八二九下、假世)</p> <p>果鴨(四ノ四六九上、一話)</p> <p>果鴨一見(五ノ六三六上、一話)</p> <p>の石(四ノ二〇九上、一話)</p> <p>しらの詩(四ノ二二二上、一話)</p> <p>菊合 (三ノ八二五上、假世)</p> <p>菊地五山 の作歌(三ノ七三七下、金屋)</p> <p>菊亭晴季 琵琶に堪能なり(三ノ八二七上、假世)</p> <p>菊の葉 を油の漬あけにして食ふ事(三ノ七六七下、南畝)</p> <p>菊虫 を絵女といふ其來由(三ノ五二二上、石楠)</p> <p>●キク 木下川薬師 (三ノ三九二下、半日)</p>	<p>淨光寺甚事(三ノ三三二上、半日)</p> <p>の靈寶(四ノ二二五下、一話)</p> <p>鬼狄頭 (三ノ八〇四下、奴風)</p> <p>●キサ 鴟 の字(四ノ六六上、一話)</p> <p>鴟 鴟といふ名(四ノ六八上、一話)</p> <p>歸藏抄 といふ書(三ノ七六八上、南畝)</p> <p>四ノ四八〇上、一話)</p> <p>歸佛 といふ詞(三ノ一一〇上、半日)</p> <p>香山上人 の住居并書翰(三ノ八三〇下、假世)</p> <p>の洒落并狂歌(五ノ四三八上、一話)</p>
--	--	--	---

<p>の狂歌(三ノ八三二上、假世)</p> <p>の狂詩(三ノ八三三下、假世)</p> <p>早一文(二ノ一〇五上、文藝)</p> <p>●キシ 雉子 攝州白雉(四ノ六一四下、一話)</p> <p>起請 の書(四ノ三七四上、一話)</p> <p>偽書 六角氏郷が一目(四ノ四五一上、一話)</p> <p>鬼子母神 雜司ヶ谷 出現の地(四ノ六七五上、一話)</p> <p>の額(三ノ二五二下、半日)</p> <p>開帳(三ノ二五〇下、半日)</p> <p>●キス 奇瑞 高桑徳元家の(三ノ一五二上、半日)</p> <p>●キセ</p>	<p>龜成 俳人一の墓(三ノ四八〇下、俗耳)</p> <p>煙管 煙筒銘(五ノ三四三下、一話)</p> <p>●キノ きとひかり (四ノ一一一上、一話)</p> <p>木曾 山中山茶科を飯に交ふ(三ノ七二五下、金屋)</p> <p>木曾義仲 「ミナ」源義仲ヲ見ヨ(四ノ二一六上、一話)</p> <p>北浦 長崎(三ノ六一〇下、瓊文)</p> <p>北島檢校 の卒日(四ノ五四下、一話)</p> <p>北島三立 書家(四ノ二一六下、一話)</p> <p>北島顯家 の墓(一ノ二六上、荜若)</p>	<p>北政所 喜捨文(四ノ三九二下、一話)</p> <p>北海大戎 書家(三ノ六八八下、向阿)</p> <p>北向 (五ノ四〇五下、一話)</p> <p>北村可昌 (四ノ六七上、一話)</p> <p>北村季吟 幕府歌學方(三ノ四七三下、潮田)</p> <p>父子被召出(四ノ二六六上、一話)</p> <p>の墓(三ノ七七九上、南畝)</p> <p>(四ノ八六下、一話)</p> <p>六八上、一話)</p> <p>の墓并文歌(四ノ六八九上、一話)</p> <p>北村湖春 父子被召出(四ノ二八六上、一話)</p> <p>北保義 番五郎(四ノ七四八上、一話)</p> <p>喜多見氏 代々の戒名(三ノ七〇四上、向阿)</p> <p>喜多見重政 の墓(一ノ二九三上、調布)</p> <p>喜多見村 御林(三ノ七〇九下、向阿)</p> <p>喜多見若狹守 の切腹(三ノ七〇五下、向阿)</p> <p>喜多村 町年寄 由緒書(五ノ五八七、一話)</p> <p>奇談 三十余年間土中に生く(三ノ三〇三下、半日)</p> <p>菊地次郎左衛門(五ノ三五二下、一話)</p> <p>●キチ 義仲寺 近江國(一ノ三九上、改元)</p> <p>吉祥寺 駒込(四ノ五三二上、一話)</p> <p>の椿井苗地(四ノ四二二下、一話)</p>
--	---	--

<p>吉祥寺橋 (四ノ四二下、一話)</p> <p>本地焼 といふ事(四ノ三三〇上、一話)</p> <p>●キツ 吉川家 の由緒書(五ノ四八五下、一話)</p> <p>吉兆 「シヤ」祥瑞ヲ見ヨ の書(四ノ四四八下、一話)</p> <p>狐 一の玉火(五ノ五四九上、一補) 真崎稻荷のお出(三ノ二五九下、半日)</p> <p>狐妖 妖狐禁文(五ノ二〇五下、一話)</p> <p>王子の (三ノ二四八上、半日)</p> <p>上野凌雲院勸進稲荷の事(五ノ四二下、一話)</p> <p>狐憑 の話(三ノ二九一上、半日)</p> <p>狐川の渡 山城山崎(四ノ</p>	<p>五六六上、一話)</p> <p>●キト 奇童 竹細工屋の (三ノ七三三下、金曆)</p> <p>六歳にして歌を詠む(三ノ八五〇下、假世)</p> <p>祇徳 の墓并辞世(四ノ七七上、一話)</p> <p>●キニ 忌日 四十五日の忌(四ノ二三二下、一話)</p> <p>●キヌ 碓 の辯(三ノ四九〇上、俗耳)</p> <p>●キノ 紀國屋文左衛門 紀文が涼の酒盃(三ノ八四八下、假世)</p> <p>城崎温泉 但馬—地方(三ノ五七六下、百舌)</p> <p>木下長嘯子 —短葉の歌(三ノ八三九下、假世)</p>	<p>●キヒ 黍園子 を賣出す(三ノ二七四上、半日)</p> <p>吉備津宮 の社家(四ノ七八下、一話)</p> <p>●キホ 蟻風 淨瑠璃太夫—の藝(一ノ五四下、葉若)</p> <p>●キミ 君が袖 近江國—(四ノ四五一下、一話)</p> <p>●キム 木村重成 長門守最期書(三ノ二一〇下、半日)</p> <p>木村巽齋 の詩(三ノ五五一上、百舌)</p> <p>●キモ</p>	<p>鬼門 鬼月(四ノ四五三下、一話)</p> <p>●キヤ 杏葉 —考(四ノ六九七下、一話)</p> <p>恐悦 書狀の文に—といへる語(三ノ七五〇下、南畝)</p> <p>狂歌 —たび枕抄(四ノ三八〇下、一話)</p> <p>歳旦摺物の始(三ノ八〇六上、奴風)</p> <p>點料を入花といふの始(三ノ八〇六上、奴風)</p> <p>—の會を開きし始(三ノ八〇〇下、奴風)</p> <p>關本伯典極の—(四ノ四四三上、一話)</p> <p>名ある人の—(四ノ二二三上、一話)</p> <p>三府の名物の讀める—(四ノ八二九下、一話)</p>
--	---	---	--

<p>寛文八年火災に就ての—(四ノ七九四下、一話)</p> <p>六月初日を元日といへる—(三ノ二八三下、半日)</p> <p>町々入用減方—(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>神田祭禮—(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>奈萬須盛方辞世の—(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>名主千太郎辞世の—(三ノ二四九上、半日)</p> <p>狂歌師 狂名の始(三ノ八〇六上、奴風)</p> <p>始めて開きし狂歌會に集りし—(三ノ八〇〇下、奴風)</p> <p>狂歌堂に列名を讀る—と葉(二ノ六五下、四留)</p> <p>狂歌師細見 の序(二ノ二四一下、巴人)</p>	<p>狂歌集 の種々(三ノ八〇五下、奴風)</p> <p>狂歌堂眞顔 「目モ」四方眞顔ヲ見ヨ</p> <p>狂歌たび枕 —抄(四ノ三八〇下、一話)</p> <p>狂句 善光寺如來開帳に付て川柳 點(三ノ四八〇下、俗耳)</p> <p>狂女屋敷 大慶の—(四ノ一六六上、一話)</p> <p>仰高日録 の序(三ノ二二〇下、半日)</p> <p>行基壺 といふ器(四ノ三三六下、一話)</p> <p>京極高門 (四ノ七一四下、一話)</p> <p>京極備前守 —病氣退役願一件(三ノ九四上、半日)</p> <p>京都 四月八日—難波の風習(四ノ二九三上、一話)</p>	<p>—各所の盆踊(四ノ三三九下、一話)</p> <p>—の奢侈(五ノ五四〇上、一補)</p> <p>—の淨瑠璃(四ノ三三七下、一話)</p> <p>—の流行唄(五ノ六三六下、一補)</p> <p>—の名物を讀める狂歌(四ノ八二九下、一話)</p> <p>洛中洛外惣町人數改日記(三ノ三二上、半日)</p> <p>町數男女數(三ノ二二八下、半日)</p> <p>—の家數(五ノ五一二下、一話)</p> <p>—大佛燒失(三ノ五三上、半日)</p> <p>天明八年—の火災(四ノ一七六下、一話)</p>	<p>京橋 江戸—(一ノ四三四上、江)</p> <p>癪 の藥(四ノ三〇六下、一話)</p> <p>客人權現 は女神なり(三ノ八〇九下、奴風)</p> <p>木屋藤右衛門 加賀—の關所(四ノ一〇七下、一話)</p> <p>—斬罪(五ノ五五二上、一補)</p> <p>伽羅油 の賣初(三ノ三五二下、半日)</p> <p>●キヨ 虛庵 信州諏訪の異人—(四ノ一四六上、一話)</p> <p>曲馬 大—見世物(三ノ二四一上、半日)</p> <p>旭山和尚 東慶寺十七世—(四ノ七八二上、一話)</p> <p>魚鼓 と鼠鼓の圖(四ノ三七七下、一話)</p>
---	--	--	--

清須城 の怪事(三ノ五四二上、石神)	養子願(五ノ二二〇上、一話)	●キン	金羅 俳人—の點(三ノ四七九下、俗耳)
清水観音 回向院にて京都— 開帳(三ノ二五七上、半日)	淺野長矩に付たる(四ノ三 五二下、一話)	キンホウ といふ毒草(三ノ六 〇八下、瓊雜)	金蘭齋 鴨—の辭世(三ノ八四 二下、假世)
青山長谷寺にて京都—開帳 (三ノ二五七上、半日)	の墓(一ノ四四三上、武江)	金開寺 京都—(一ノ一三五 下、壬戌)	金六 板木師—(四ノ七四一上、 一話)
同開帳揚幕(三ノ二五七下、半 日)	●キリ	金銀 我國の—(四ノ二六七下、 一話)	琴曲 箏曲傳來碑(四ノ五四下、一 話)
清水寺 の釣鐘落つ(三ノ二四 八上、半日)	キリンカク の漢名(三ノ五一 二下、遊遊)	桐 一つくしきり口上(二ノ三〇 上、四あ)	銀座 燗敷町—設立(四ノ七九 三下、一話)
御製 今上皇帝—(三ノ一〇〇 下、半日)	切籠 金吾頭(四ノ三三四上、一 話)	切支丹 南佛とは—なり(四 ノ二〇八上、一話)	近聞雜記 抄(四ノ三〇二 下、一話)
許六 俳人—の俗稱(三ノ六七 四上、玉砂)	麒麟 の圖(三ノ七九三上、南歌)	●キル	勤務 御奉公向ニ付き上意(三ノ 一三九上、半日)
吉良左兵衛 —御預(四ノ六 二三上、一話)	●キレ	●キル キルク(四ノ六七二上、一話)	禁裡 附勤方(三ノ一六上、半 日)
吉良義高 の古城跡(三ノ六八 九上、向阿)	布帛 古—(四ノ六七下、一話)	●ク	文武丸(三ノ八一〇下、奴風)
吉良義央 の幼名(四ノ三六八 上、一話)		櫛篋 (四ノ六一上、一話)	漢羅大妙劑(三ノ五七七上、百 舌)

空海和尚 —いろはを作りし 事(三ノ八二八下、假世)	●クサ	櫛篋 唐—を二十三屋といふ (四ノ二二六上、一話)	文武丸(三ノ八一〇下、奴風)
—の歌(四ノ二二六上、一話)	くさうるし 「ヨウ」御効チ見ヨ	櫛屋 —(四ノ二二六上、一話)	漢羅大妙劑(三ノ五七七上、百 舌)
弘法大師眞蹟(五ノ六三七下、 一冊)	草 伊賀國原風山の奇—(四ノ三 〇七上、一話)	愚者 鼻毛、たいげんあやめ、ふ んちう、はなだら、あほう、は れもの(四ノ二二〇上、一話)	輕英稀痘丹(三ノ五七七上、百 舌)
空華集 といふ書(四ノ五三九 上、一話)	草双紙 流行の—(三ノ二七二 上、半日)	●クス	代五寶丹治毒筋骨疼痛(三ノ五 七七上、百舌)
空也宗 空也僧鉢敲考(五ノ四六 七上、一話)	—の繪并表紙の繪變遷(三ノ 二五八上、半日)	楠馬場 馬喰町—(四ノ七三 三下、一話)	治敵疔一方(三ノ五七七上、百 舌)
●クキ	草津温泉 上州—(五ノ五六 三上、一冊)	楠正成 が金剛山城居間の壁書 (三ノ三九六上、半日)	牛旁子湯(三ノ五七七上、百舌)
九鬼家 —船手陣羽織(三ノ八 三下、半日)	上野 變方(三ノ五七六下、百 舌)	上田秋成 —の變(四ノ六六一 下、一話)	痘瘡妙方(三ノ五七四上、百舌)
釘隠し といふもの、始(三ノ二 五下、半日)	●クシ	—が毒前にて自害せし者の辭 世(三ノ八三三上、假世)	五疔の藥(三ノ五七三下、同五七 四上、同五七四下、百舌)
釘念佛 日光—縁起(四ノ二五 七下、一話)	菊船 (四ノ二二二下、一話)	藥 の字を薬と書く事(三ノ五八 八上、瓊雜)	淋病の妙藥(三ノ五六六上、百 舌)
釘始 東叡山齋齋殿并諸堂社御修 復—之記(三ノ四四二上、半 日)	櫛 鈴鹿—(一ノ三五上、改元)	藥劑 必用の—(三ノ五一七上、 遊遊)	玉田秘方(三ノ五六六上、百舌)
公卿 といふ勝(四ノ七五上、一 日)	お六—の事(一ノ一六一上、壬 戌)	陀羅尼輔(四ノ三六六上、一話)	産後腹痛の妙藥(三ノ五六五下、 百舌)

<p>舌)</p> <p>紫金錠(三ノ五六六下、百舌)</p> <p>白濁の妙方(三ノ五六九上、百舌)</p> <p>耳洗薬(三ノ五六九下、百舌)</p> <p>毛生薬(三ノ五七一上、百舌)</p> <p>萬能三草膏(三ノ五七一上、百舌)</p> <p>香膠丸(三ノ五七一上、百舌)</p> <p>梅毒大秘法(三ノ五七一上、百舌)</p> <p>汗疣の薬(三ノ五七二下、百舌)</p> <p>皮膚の薬(三ノ五七二下、同五七三下、百舌)</p> <p>虫歯の薬(三ノ五七三上、百舌)</p> <p>毛を抜く薬(三ノ五七三上、百舌)</p> <p>即効紙障(三ノ五七三下、百舌)</p> <p>釣藤(三ノ五七四下、百舌)</p> <p>単々痢(三ノ五七四下、百舌)</p>	<p>人參(三ノ五七四下、百舌)</p> <p>三七(四ノ六七〇下、一話)</p> <p>藥玉 (四ノ三三〇下、一話)</p> <p>長命樓(三ノ二二三下、半日)</p> <p>藥賣 弘慶子(三ノ二七〇下、半日)</p> <p>典勸平膏藥(三ノ二七二下、半日)</p> <p>●クセ</p> <p>曲舞揃 といふ書の中の妙文(三ノ五〇四下、扇耳)</p> <p>●クチ</p> <p>鯨 品川沖の井上覽(三ノ五三三上、半日)</p> <p>羽田沖の(三ノ六六一下、五砂)</p> <p>南部濱邊寄書付(三ノ二八七上、半日)</p> <p>神奈川の(三ノ二四二上、半日)</p>	<p>鈍子の寄(三ノ五六上、石楠)</p> <p>一の藪の効用(三ノ五一三下、週遊)</p> <p>一の油を織にする秘傳(三ノ五六七上、百舌)</p> <p>油に匂なきすまし機(三ノ五六七上、百舌)</p> <p>●クテ</p> <p>九條現山 源氏物語を好む(三ノ八二三上、假世)</p> <p>●クハ</p> <p>掛絡 (四ノ四七下、一話)</p> <p>●クマ</p> <p>熊 東蝦夷地にて仕留候一件(四ノ三九四上、一話)</p> <p>熊坂子彦 送序(二ノ二〇六下、文稿)</p> <p>●クメ</p> <p>久米團二郎 の詩(三ノ八一六下、假世)</p>	<p>久米平内 の石俣本姓(三ノ四六五下、瀬田)</p> <p>●クモ</p> <p>雲助風邪 の流行(三ノ二四六上、半日)</p> <p>●クラ</p> <p>藏 の棟木を牛といふ事(三ノ七五〇下、南畝)</p> <p>藏宿 淺草町人禁獄井落書(三ノ二八二上、半日)</p> <p>倉橋檢校 の卒日(四ノ五四下、一話)</p> <p>●クリ</p> <p>栗 の木に文字顯る事(三ノ二九下、半日)</p> <p>●クル</p> <p>車留 の札(四ノ四七六上、一話)</p> <p>曲輪 外門番の始(四ノ二九八上、一話)</p> <p>●クロ</p>
--	--	--	--

<p>黒川龜玉 の傳(一ノ五〇五下、武江)</p> <p>黒澤定幸 の卒日(一ノ四六六上、武江)</p> <p>黒田家 奥女中の奮闘(四ノ六七五下、一話)</p> <p>黒本 といふ名(三ノ二五八下、半日)</p> <p>黒坊 彌勒佛を恐る(三ノ五九八上、瓊雜)</p> <p>九郎助稻荷 の額(三ノ六五八下、玉砂)</p> <p>奉納一卷(五ノ三七四下、一話)</p> <p>●クワ</p> <p>花押 佐々木文山の(四ノ六七上、一話)</p> <p>香川太沖、宇野三平、伊藤平蔵、伊藤元藏、貞原益軒の(四ノ四</p>	<p>花月社 の會(五ノ三一上、一話)</p> <p>花候 花時遊遊(四ノ五三一上、一話)</p> <p>花山院忠長 配所の(四ノ七五上、一話)</p> <p>怪異 天狗隠し(三ノ七一上、半日)</p> <p>疾神(三ノ八六下、半日)</p> <p>本郷彌陀(三ノ二七四下、半日)</p> <p>四谷平阿氏中間吉平(四ノ三九六上、一話)</p> <p>夜着聲を發す(三ノ二七三上、半日)</p> <p>石地蔵踊る(三ノ二五四上、半日)</p> <p>天女降て男に戯る事(三ノ二九上、半日)</p>	<p>兩國橋巻説(三ノ三二〇上、半日)</p> <p>栗の木に文字顯る事(三ノ二九下、半日)</p> <p>下野國佐野氏の家臣(三ノ二八上、半日)</p> <p>小日向の(三ノ三〇一上、半日)</p> <p>紀州屋敷(三ノ三〇二上、半日)</p> <p>屋根に死人落つ(三ノ二〇八上、半日)</p> <p>狐狸要録(三ノ一七〇上、半日)</p> <p>老婦入室(三ノ二七〇上、半日)</p> <p>大傳馬町燈籠屋娘(三ノ一六五下、半日)</p> <p>河童と勝負を決したる話(三ノ一二九下、半日)</p> <p>上總大久保村の(五ノ五五</p>	<p>四下、一話)</p> <p>伊勢雲津川天神の火(五ノ五六二下、一話)</p> <p>青山の妖賭(三ノ三三〇下、半日)</p> <p>外交 朝鮮との(四ノ七二六上、一話)</p> <p>外國船 カビタン船(三ノ三一五上、半日)</p> <p>外典抄 抄(四ノ四三二上、一話)</p> <p>華夷通商考 抄(四ノ四五下、一話)</p> <p>廻米 佐渡御燒失(三ノ一六八下、半日)</p> <p>魁本大字 (四ノ六六五上、一話)</p> <p>光悦寺 鷹か峰(三ノ八三六下、假世)</p>
--	--	--	---

<p>光孝天皇 が御陵の石燈籠(五ノ三五〇上、一話)</p> <p>光尊寺 繪旨(四ノ一四二下、一話)</p> <p>光琳 「オカ」新方光琳ヲ見ヨ</p> <p>光琳書卷 の跋(四ノ五三九下、一話)</p> <p>光了寺 岩松山(三ノ一〇九下、半日)</p> <p>荒神 の徳利(四ノ七三七下、一話)</p> <p>荒政輯要 といふ書(四ノ六〇七上、一話)</p> <p>皇居 (四ノ三三二下、一話)</p> <p>新内裏造られし時の御歌(三ノ四一四下、半日)</p> <p>禁裏炎上に付傳奏衆え被遣候書 付(三ノ一三六下、半日)</p> <p>禁裏へ怪者忍入(三ノ二八四下、半日)</p>	<p>皇太子 元服の間(四ノ三三二下、一話)</p> <p>皇帝 日本—の祖先(四ノ二〇三上、一話)</p> <p>帝王異稱事(五ノ五四四下、一話)</p> <p>皇明實錄 といふ書(三ノ五二八下、石楠)</p> <p>繪畫 山水畫帖(四ノ四七二上、一話)</p> <p>番猫虎人(四ノ四六八上、一話)</p> <p>名畫對軸なし(三ノ七四九下、南效)</p> <p>燒燬(三ノ六二四下、遺文)</p> <p>暹羅香子引首(四ノ六七四下、一話)</p> <p>「ニシ」錦燬ヲ見ヨ</p> <p>火災 桓武帝遷都以後炎上肥録(四ノ一九一上、一話)</p> <p>紅葉山下御門(三ノ三〇四上、半日)</p>	<p>上、半日)</p> <p>寛永寺本坊(三ノ二四五下、半日)</p> <p>上野凌雲院圖録(三ノ二四七下、半日)</p> <p>劇場圖録年歴録(三ノ九四下、半日)</p> <p>御厩谷—并落書(三ノ二八二下、半日)</p> <p>禁裏炎上ニ付傳奏衆え被遣候書 付(三ノ一三六下、半日)</p> <p>火事場御書付(三ノ三六上、半日)</p> <p>正月元日の—(三ノ六五五下、玉砂)</p> <p>寛永江戸大火(五ノ五一二下、一話)</p> <p>明曆大火(五ノ五一二上、一話)</p> <p>明曆三年江戸—燒死人書付(四ノ二八二上、一話)</p>	<p>全年江戸—の出来事(四ノ四一五上、一話)(四ノ三三三上、一話)</p> <p>全—燒屋敷并火事ニ付下金(五ノ五二二下、一話)</p> <p>全—燒死者(五ノ五二三下、一話)</p> <p>寛文八年江戸の—(四ノ七九四下、一話)</p> <p>明和五年江戸新吉原—(三ノ二四上、半日)</p> <p>明和八年江戸新吉原—(三ノ二三上、半日)</p> <p>明和九年江戸—(三ノ二三七下、半日)</p> <p>天明四年江戸—(四ノ一六八上、一話)</p> <p>天明六年江戸—(四ノ一六九下、一話)</p> <p>天明八年京都—(四ノ一七六上、半日)</p>
---	---	--	--

<p>下、一話)</p> <p>享保十六年江戸—(四ノ八九下、同九〇上、一話)</p> <p>文化三年大火の節の戯文(三ノ一六六上、半日)</p> <p>寛政四年大阪—(三ノ八五下、半日)</p> <p>因幡と信濃の—(四ノ一九〇下、一話)</p> <p>佐渡大火(三ノ三三三下、半日)</p> <p>「ハウ」放火ヲ見ヨ</p> <p>火葬 日本—の初(三ノ三五一上、半日)</p> <p>火山 信州淺間山上州吾妻山一件(四ノ八二二下、一話)</p> <p>火事 の字(四ノ八〇下、一話)</p> <p>火龍骨 の圖(三ノ二二四上、半日)</p> <p>鑛山 諸國鑛山名(五ノ二六〇下、一話)</p>	<p>山に石あるを見て金あるを知る 法(三ノ五七〇下、百舌)</p> <p>菓子 —の字(三ノ七六六下、南效)</p> <p>上世の—(三ノ七六六下、南效)</p> <p>桔梗屋—銘(四ノ六六下、一話)</p> <p>木町紅谷志津摩家—譜(四ノ七六八下、一話)</p> <p>笹屋の胡麻扇亂、大木月の牡丹 餅、淀橋の團子(三ノ七二二下、金層)</p> <p>福輪糖(三ノ二七一上、半日)</p> <p>黍團子(三ノ二七四上、半日)</p> <p>五匁銀并四文錢の—(三ノ二二四下、半日)</p> <p>阿蘭陀—製法(三ノ五七九下、瓊雜)</p> <p>黄素妙論 といふ書(四ノ六二二下、一話)</p>	<p>廣福寺 の號(三ノ六九五上、向阿)</p> <p>科擧 唐時代—の法を記せる書(三ノ五三〇上、石楠)</p> <p>貨幣 寶貨の跋(四ノ三四二下、一話)</p> <p>金銀錢年月(四ノ七一三下、一話)</p> <p>金銀出入御觸書(三ノ四九下、半日)</p> <p>乾字金ニ付御觸(五ノ三二二下、一話)</p> <p>正徳四年新古金銀割合次第(四ノ二七二上、一話)</p> <p>同年新金銀吹替ニ付書付(四ノ二七〇上、一話)</p> <p>同年金銀通用の法定書(四ノ二七〇下、一話)</p> <p>二分判金通用(三ノ二八八下、半日)</p>	<p>四文錢五匁銀通用并童謡(三ノ二三四上、半日)</p> <p>南條二朱銀通用(三ノ二四三下、半日)</p> <p>二朱判ニ付兩替屋并錢屋へ御觸(三ノ二五〇下、半日)</p> <p>慶長以來金銀錢(三ノ一〇九上、半日)</p> <p>古錢(三ノ一一三上、半日)(四ノ八五下、一話)</p> <p>古金鑿摺(四ノ八〇二下、一話)</p> <p>泰和重寶の錢(四ノ四四〇上、一話)</p> <p>伊丹古錢(四ノ七六六上、一話)</p> <p>古錢圖(四ノ七三四上、一話)</p> <p>河童錢(四ノ八五下、一話)</p> <p>省百錢長百錢(四ノ四八八上、一話)</p> <p>消人錢(四ノ三二二上、一話)</p> <p>消貨持渡(三ノ六二二下、瓊雜)</p>
--	--	---	---

又 唐銀の名目(三ノ五一五下、遊) 大宰府より掘出せし古錢(四ノ六九下、一話) 青山種田掘得錢(四ノ五九下、一話) 傀儡師 アケルキマツシ(五ノ五四三下、一話) 孫津四宮の——(四ノ三三七下、一話) ●クワン 官位 松岡清介答人之問番(五ノ四五九下、一話) 官中祕策 の作者(四ノ三八二下、一話) 關羽 の書(四ノ二二三上、一話) 關帝祭 長崎の——(三ノ六一五上、瓊雜) 寛永寺 上野——御歴代(三ノ一〇〇上、半日) 上野中堂修復(三ノ二六〇上、半日) 上野本坊并各院正月の重詩(三ノ六五八上、玉砂) ——本坊炎上(三ノ二四五下、半日) 寛政系圖 ——御用姓名(三ノ三四八下、半日) 寛政重修諸家譜 成りける時和歌(五ノ二〇五上、一話) 寛文年間 寛文二年三年四年五年の日記(四ノ二九四上、一話) 寛文元年日記(五ノ二七上、一話) 寛文二年御制禁(五ノ五三三下、一話) 寛文八年日記(四ノ七九四下、一話)	〇〇上、半日) 同二三四月の事(四ノ三一一下、一話) 寛文九年日記(四ノ七四七上、一話) 寛文十年日記(四ノ三八二上、一話) 寛文十二年日記(三ノ六四八上、瓊文) 勸學坂 神田——(一ノ四九四上、武江) 元日 の異名(三ノ一一八下、半日) 御宮家御佳例——献立(三ノ一六下、半日) 府中の齋實(三ノ六八八上、向阿) ——の詩(三ノ一一四上、半日) ——日蝕(三ノ四六六上、瀬田) 六月初日を——といふ事(三ノ二八三下、半日)	觀世音 四萬六千日并——緣日(三ノ七二四上、金曆) 京都清水——開帳(三ノ二五七上、半日) 秩父三十四ヶ所——越開帳(三ノ四四二下、半日) 秩父三十三番の——をめぐる事(三ノ六九一上、向阿) 三十三所——札所(五ノ五一五上、一話) 三十六番——札所(五ノ五一七上、一話) 救世——(一ノ四九九下、武江) 身代——(一ノ四九〇上、武江) 茶壺——(一ノ四五八上、武江) 湖千の——(一ノ五〇七下、武江) 法藏寺の子安——(四ノ四四一下、一話)
---	---	--

觀世音義軌 を唱へて町々を歩く(三ノ二四七上、半日) 觀世捨 「ヨヨ」紙捨ヲ見ヨ 觀世流 の新話(三ノ二五四下、半日) 眼科 の書(四ノ一四六下、一話) 願人 共(御願)(五ノ三三三上、一話) 完來 俳人——の發句(三ノ六八九上、向阿) 冠里 「アム」安藤冠里ヲ見ヨ ●クワン 郡 隣國にて同じ一名(四ノ五八四上、一話) 郡國利病書 (三ノ七二四下、金曆) 軍艦 戦船做法(三ノ六四六下、瓊又) 軍記 に虚説多し(五ノ三四上、一話)	軍配團扇 を持つの由來并其製法(四ノ六二五上、一話) 君臣 家來の智主家の危難を救ふ(三ノ七二二上、半日) 忍城主忠秋の心掛(四ノ四二二下、一話) ●ク 毛 なめく薬(三ノ五七三上、百舌) ——生薬(三ノ五七一上、百舌) ●クイ けいせん 「クイ」傾城ヲ見ヨ 磐 甲州遠山の——銘(四ノ五五三上、一話) 慶庵 といふ名の起(三ノ三五五上、半日) 慶安亂 (四ノ五〇三上、一話)	——の實説(三ノ四六八上、瀬田) 田) 「マル」丸橋忠綱ヲ見ヨ 慶紀逸 俳人——(四ノ一六五上、一話) 慶勝寺 相州小田原——金印(三ノ一〇四上、半日) 桂園 齋家——(四ノ三三八上、一話) 競奇遺聞 といふ書(四ノ六〇六下、一話) 織華集 の序(二ノ五八下、四留) 瓊山和尚 東慶寺十九世——(四ノ七八〇下、一話) 藝者 の變遷(三ノ七三二上、金曆) ——のまわし方(三ノ八〇九上、奴風) 天明以後——の風俗(三ノ八〇八下、奴風)	昔の女——(三ノ八〇八下、奴風) 女——吟味落着(三ノ四五二上、半日) 女——一件ニ付町觸(三ノ四五六上、半日) 藝術 賭藝を習ひ始むる時の心得(四ノ四二四上、一話) 藝人 賭藝集會御願(三ノ二八九下、半日) 傾城 なげいせん(四ノ二二〇上、一話) ——「イウ」遊女ヲ見ヨ 傾城阿波鳴戸 の事蹟(四ノ七二下、一話) 經題 (四ノ四三三上、一話) 經典 大治古寫經(五ノ三七八上、一話) 契沖 僧——の歌(三ノ九〇下、半日)(三ノ八一九下、假世)
---	--	---	--

<p>—の墓(二ノ六四上、並若) 系圖 — 調(四ノ四八九上、一話) — 話) 武家諸家 — (四ノ七一五上、一話) 寛政 — 御用姓名(三ノ三四八下、半日) 輕板 「ハク」博交ヲ見ヨ 嬌客 の字義(四ノ六六六上、一話) 教訓 — 書目(五ノ六三五上、一補) 曉月房 (四ノ八四上、一話) ●タキ 鵬退 左大臣より右大臣となるを — といふ(三ノ一〇四下、半日) ●タケ 下血 の藥(四ノ一六六下、一話) ●タコ</p>	<p>華嚴寺 松尾 — (四ノ二二一上、一話) ●タサ 袈裟 禪僧の — (四ノ四七下、一話) — 輪 — (四ノ四七下、一話) 懸想文 (四ノ五五七下、一話) ●タタ 下駄 流行の — (三ノ四四四下、半日) ●タツ 月餅 「エハ」月餅ヲ見ヨ 削懸 (三ノ七二下、金層) ●タハ 下馬札 の始(五ノ二七九上、一話) ●タフ 俠客 寶曆名代百五十四人異名 — (四ノ四七八上、一話) 脇息 凡(三ノ一九上、半日)</p>	<p>●タマ 蹴鞠 延享三年 — 上覽記(三ノ七四上、半日) ●タモ 獸 踏の性質(五ノ五六〇上、一補) — 有馬の怪(三ノ二四一上、半日) — 薩州奇 — 山嵐井圍(三ノ二四二下、半日) ●タン 拳 — 打圖解(三ノ二三下、半日) 兼好法師 の狀(三ノ一〇四上、半日) — 三社詫言の歌(三ノ五三〇下、石楠) 現金論 の序(二ノ五五下、四留) 喧嘩 仲間 — (三ノ三三一上、半日) 會津相馬兩侯家來道中 — (三ノ三一七上、半日)</p>	<p>ノ三一七上、半日) 喧嘩笠 「カア」冒ヲ見ヨ 檢校 (三ノ三五七下、半日) 戀 — (三ノ三五七下、半日) — 勾當の風俗(三ノ八〇八下、坂風) 言語 踏武將の — に就て(四ノ六二五下、一話) 乾山燒 陶器 — の始(四ノ一六下、一話) 幻住庵 普應國師 — 清規(四ノ六六七上、一話) — 清規抄(五ノ三二六下、一話) 源氏の間 石山寺 — (一ノ一三七上、壬戌) 源氏物語 の人名(三ノ一〇五上、半日) 九條現山 — を好む(三ノ八二三上、假世)</p>
--	--	---	---

<p>— 若紫の巻の内の事(三ノ八三九上、假世) 獻上 安永七年新御盃 — (四ノ三三三下、一話) 劍術 は和奴のみ(四ノ六〇八上、一話) 元政法師 の文(四ノ八三九下、一話) — の歌(四ノ四六四上、一話) (三ノ一〇四上、半日) — 鐘銘(五ノ三四九下、一話) — 熊澤了海と交る(四ノ五九六下、一話) — 俗名并墓(四ノ一二三下、一話) 元服 禁中 — (三ノ四七六下、潮田) 元祿年間 湯原氏 — の日記(五ノ七八上、一話) 謙享筆記 — 抄(四ノ三七三</p>	<p>上、一話) 祝北漫抄 といふ書(五ノ三二五上、一話) 儉約 御 — 御願(三ノ三三三上、半日) 御料理 — を解く(三ノ二四七下、半日) ●コ 恭 「イコ」團恭ヲ見ヨ ●ニア 古近江 三味線師 — の系譜并三絃銘(三ノ八一九上、假世) ●コイ 小石川 磯川(三ノ八〇四上、奴風) — に猪出る(四ノ六九六下、一話) ●コウ コウランテン と云ふ蘭書(三ノ六〇四下、瓊雜) 鶴 の字の訓(四ノ六六五上、一話) 勾股全書 といふ書(四ノ六八一上、一話) 勾當 (三ノ三五七下、半日) 弘慶子 といふ藥寶(三ノ二七〇下、半日) 弘事撮要通文官志 といへる書(三ノ三四八下、半日) 弘法水 下總古河の — (三ノ四四〇下、半日) 弘法大師 「クウ」空海和尚ヲ見ヨ 洪水 肥前島原の — (三ノ八四八上、半日) 利根水溢(三ノ二二三下、半日) 武州玉川の — (三ノ六五六下、玉砂)</p>	<p>小唄 生島新五郎が島にて作れる — (四ノ六三三下、一話) — 漢譯(四ノ四八三下、一話) 天正中聚樂京童の — (四ノ八四〇下、一話) 岡崎女郎衆の歌(三ノ七三二上、金層) 米搗歌柴垣(四ノ八四二上、一話) 文彌節(三ノ四九二下、俗耳) 河東節(三ノ四九二下、俗耳) さんがう節、柴垣節、ひやうた人節(四ノ四〇〇上、一話) 英一蝶のあさづま舟(四ノ四〇〇下、一話) 「ハヤ」流行唄ヲ見ヨ 公人 — 井朝夕人の役目(三ノ四六七上、瀬田) 興福寺 南都 — 化縁之疏(四ノ二五八下、一話)</p>
---	---	--

<p>鉤吻 クサワルシ(四ノ三六六上、一話)</p> <p>孔明 「シヨ」諸葛亮ヲ見ヨ</p> <p>後樂園 水戸邸—の配(四ノ一〇三上、一話)</p> <p>水戸藩邸—の赤梅櫻樹井園(四ノ三〇四下、一話)</p> <p>●コエ</p> <p>五葉松 の序(二ノ六一上、四留)</p> <p>●コオ</p> <p>コーヒー 「カウ」カウヒイヲ見ヨ</p> <p>コラルド 「エノ」繪具ヲ見ヨ</p> <p>●コカ</p> <p>こがね花 淀殿草(四ノ三三五上、一話)</p> <p>古河 下越—に頼政の首を埋む(四ノ二〇二上、一話)</p> <p>古賀 男(三ノ六一五下、一話)</p>	<p>枯漣漫録 といふ書(四ノ三〇六下、一話)</p> <p>小鍛冶宗近 「サン」三條宗近ヲ見ヨ</p> <p>小金井 の櫻(三ノ六七四下、五砂)</p> <p>武州—(三ノ六九九下、向阿)</p> <p>—の近道(四ノ五三二下、一話)</p> <p>五荷棒 といふ菓子(三ノ八一〇下、奴風)</p> <p>●コキ</p> <p>こさの子 (三ノ二九下、半日)</p> <p>(三ノ七五二下、南畝)</p> <p>こさり子 「チク」竹枝歌ヲ見ヨ</p> <p>胡弓 の銘(四ノ三七二下、一話)</p> <p>胡琴 の制(三ノ七七七上、金屋)</p> <p>古器物 花月社會(五ノ三一上、一話)</p> <p>古今集 が序の文法を讀したる</p>	<p>もの多し(四ノ七三下、一話)</p> <p>五行大義 といふ書(三ノ三三三上、半日)</p> <p>碁客 碁打の花見(四ノ六五〇上、一話)</p> <p>當時碁客人名(四ノ五六七下、一話)</p> <p>●コク</p> <p>斛 は五斗米(四ノ二一七上、一話)</p> <p>國恩記 といふ書(四ノ三四八上、一話)</p> <p>國朝大業廣記 —抄(四ノ三五六下、一話)</p> <p>谷響集 といふ書(四ノ五三九上、一話)</p> <p>石町 の鐘(五ノ三四九上、一話)</p> <p>獄門 栗西市之丞—(三ノ二九三上、半日)</p> <p>護花關 「ホツ」彌田六林ヲ見ヨ</p>	<p>護花關隨筆 —抄(四ノ二二二下、一話)</p> <p>五月幟 長崎の—(三ノ六一三下、瓊雜)</p> <p>五月晦日 の豆蒔(三ノ二八三上、半日)</p> <p>●コケ</p> <p>吳敬泉 明人—の墓(三ノ五二八上、石楠)</p> <p>●ココ</p> <p>牛糞橋 (一ノ四三八上、武江)</p> <p>護國寺 —五社(四ノ六八九下、一話)</p> <p>大塚—の額(四ノ七五二下、一話)</p> <p>—什寶(五ノ二四上、一話)</p> <p>小鯉鱒右衛門 (四ノ一六六下、一話)</p> <p>子殺 藤直之進一件(三ノ二九九下、半日)</p>
---	--	--	--

<p>古今武士鑑 元祿九年の—(四ノ七六二下、一話)</p> <p>古今餘材抄 の序(四ノ八三九下、一話)</p> <p>●コサ</p> <p>後櫻町天皇 の御引導(五ノ五一上、一話)</p> <p>後三年役 の繪巻物の内(三ノ一三二下、半日)</p> <p>胡砂吹く といふ言葉(四ノ七〇上、一話)</p> <p>●コシ</p> <p>五色 詠—(二ノ三一五上、萬葉)</p> <p>五十三驛 の事(四ノ六七下、一話)</p> <p>五車 「ホシ」星ヲ見ヨ</p> <p>五松館筆話 —抄(四ノ三七一上、一話)</p> <p>五尺菖蒲 の巻(四ノ一〇一上、一話)</p>	<p>一話)</p> <p>飯巖 長崎—(三ノ六一二下、瓊雜)</p> <p>小十人 徳川氏—の由緒(四ノ一〇一上、一話)</p> <p>兒島郡 備前國—(四ノ四六二上、一話)</p> <p>替者 死の名(四ノ七三下、一話)</p> <p>吳祥瑞 陶工五郎太夫(三ノ八二八下、假世)</p> <p>●コス</p> <p>後水鳥記 (五ノ二六五上、一話)</p> <p>小菅稻荷 武州小菅村—書付(四ノ五五九上、一話)</p> <p>小菅御殿 (四ノ四〇四下、一話)</p> <p>●コセ</p> <p>古銭 「クワ」貨幣ヲ見ヨ</p> <p>●コソ</p>	<p>吳宗觀 明人—の墓(三ノ五二五上、石楠)</p> <p>●コタ</p> <p>兒玉空々 の手簡(四ノ八三六上、一話)</p> <p>五段長屋 尾州侯—(三ノ二二四下、半日)</p> <p>●コチ</p> <p>護持院 の什寶(五ノ二〇八下、一話)</p> <p>吳竹 の書(四ノ八七上、一話)</p> <p>●コツ</p> <p>コツテ鳥 (三ノ一一二上、半日)</p> <p>午頭天王 神田明神社内の—(四ノ五三六下、一話)</p> <p>●コテ</p> <p>五朝小説 —二條(五ノ三三三上、一話)</p> <p>五條天神 上野—開帳(三ノ二七三下、半日)</p>	<p>二七三下、半日)</p> <p>胡兆新 の書(三ノ五五〇下、石楠)</p> <p>●コト</p> <p>琴 の始(三ノ三五二上、半日)</p> <p>百柄—(三ノ五五二下、百舌)</p> <p>心觀院—銘(四ノ二五〇下、一話)</p> <p>琴爪 繫爪(四ノ二一七上、一話)</p> <p>特牛 (四ノ二二〇下、一話)</p> <p>後藤家 金座—由緒書(五ノ五八四上、一補)</p> <p>—盜難(三ノ二五二下、半日)</p> <p>後藤氏 の人名(四ノ三二九上、一話)</p> <p>—系圖(三ノ一九八、半日)</p> <p>後藤三右衛門 —金銀座改役被仰付(三ノ二〇五下、半日)</p> <p>謎 門ヤ木戸ヤ矢倉ヤ(四ノ八四</p>
--	--	---	--

<p>一上、一話)</p> <p>何を仰出さるゝかを仰つけらる (四ノ八四二下、一話)</p> <p>窮鼠狸を密む(四ノ八八下、一話)</p> <p>走り馬に鞭(四ノ五〇上、一話)</p> <p>寶の山へ入りながら手を空して 歸る(四ノ七二下、一話)</p> <p>うのみ鷹の目(四ノ一六五上、一話)</p> <p>現在甘露末綴丸(四ノ二二〇上、一話)</p> <p>論より證據(三ノ五三〇下、石楠)</p> <p>能書筆を擲ばず(三ノ七二二下、金屋)</p> <p>夏雨は馬の脊をわく(三ノ七五二下、南畝)</p> <p>元興寺にかません(三ノ七八六上、南畝)</p>	<p>小鳥 の觀世物(三ノ四四〇下、半日)</p> <p>●コニ</p> <p>小西行長 の遺子(五ノ三七上、一話)</p> <p>五人組 の起原(三ノ三五三上、半日)</p> <p>●コノ</p> <p>近衛基前 の歌(三ノ一六二下、半日)</p> <p>近衛龍山 方官の歌(四ノ七一上、一話)</p> <p>●コハ</p> <p>小春 候といふ語(四ノ五五六下、一話)</p> <p>小春 治兵衛心中場所并 の書置(一ノ六九上、茶若)</p> <p>小旗 はさし物なり(四ノ三九二上、一話)</p> <p>小林重高 の歌(三ノ七六下、半日)</p>	<p>日)</p> <p>琥珀 (四ノ三八二上、一話)</p> <p>●コヒ</p> <p>鯉、移梅得(三ノ一七〇上、半日)</p> <p>淀川水車下の(三ノ七〇下、半日)</p> <p>鯉塚 攝津網島一の由來(一ノ六九上、茶若)</p> <p>鯉草 井園(四ノ二二五上、一話)</p> <p>戀 矢一の亂心并狂詩(三ノ八三二下、假世)</p> <p>戀川春町 の歌(三ノ八二〇上、假世)</p> <p>戀が窪 武藏國一の地(三ノ四七五下、瀬田)</p> <p>戀娘昔八丈 中村座の(一ノ三二五九下、半日)</p> <p>淨瑠璃本(三ノ二五八下、半日)</p>	<p>木挽 明曆三年江戸一の工賃 (四ノ三一四上、一話)</p> <p>五百羅漢 經文にて遊きたる (五ノ五九四下、一話)</p> <p>●コフ</p> <p>小普請 書付(三ノ二六一下、半日)</p> <p>小普請奉行 (四ノ三四九上、一話)</p> <p>吳服橋 (一ノ四三四上、武江)</p> <p>●コハ</p> <p>餅倍尼 (四ノ四三五上、一話)</p> <p>●コマ</p> <p>駒ヶ嶽 奥州一の鶴(三ノ一七二下、半日)</p> <p>駒形堂 淺草駒掛堂(四ノ六〇四上、一話)</p> <p>駒留石 木所の(五ノ三五〇下、一話)</p> <p>駒留橋 (一ノ四三九下、武江)</p>
---	--	--	---

<p>子魔蹄 の訓(四ノ六八四下、一話)</p> <p>小松彌助 の由緒書(五ノ四七六下、一話)</p> <p>小松百龜 (三ノ八二〇上、假世)</p> <p>春橋を好む(三ノ八一〇上、奴風)</p> <p>が心掛(三ノ八一〇下、奴風)</p> <p>●コニ</p> <p>後水尾天皇 の御製(三ノ五三二四上、石楠)</p> <p>御製の詩歌(四ノ一二四下、一話)</p> <p>御製御製和歌の寫(四ノ九下、一話)</p> <p>●コム</p> <p>虚無僧 の提書(四ノ七七八上、一話)</p>	<p>の一本末寺并尺八の山(三ノ六九〇上、向阿)</p> <p>後村上天皇 の發句(四ノ一〇下、一話)</p> <p>●コメ</p> <p>米 諸國上高(三ノ四三二下、半日)</p> <p>精を鑿牙といふ(三ノ七五〇上、南畝)</p> <p>一を八木といふ(三ノ七五〇下、南畝)</p> <p>甲州は三斗俵(三ノ三五四下、半日)</p> <p>我國の昔は一俵五斗なりし事(三ノ三五四下、半日)</p> <p>「ハイ」米價「ハイ」米穀ヲモ見</p> <p>米市場 大阪の(四ノ八〇七上、一話)</p> <p>米相場 の御趣意(三ノ二九六上、一話)</p>	<p>上、半日)</p> <p>高直(五ノ五六八上、一話)</p> <p>御蔵相場(五ノ五七三上、一話)</p> <p>江戸表(三ノ六五九上、五砂)</p> <p>元禄九年(三ノ六四二下、現又)</p> <p>正徳六年(五ノ一九一上、同)</p> <p>享保二十年(四ノ九一上、一話)</p> <p>文化五年(三ノ六五六下、五砂)</p> <p>米俵 朝鮮の(四ノ三〇七下、一話)</p> <p>我國昔の(三ノ三五四下、半日)</p> <p>米搗歌 明曆年中の柴垣(四ノ八四二上、一話)</p> <p>●コモ</p>	<p>枯獸上人 か裝衣を許されし時の歌(四ノ三七五下、一話)</p> <p>後桃園天皇 の時の御局(四ノ三三二上、一話)</p> <p>古文書 の爲(四ノ四七七上、一話)</p> <p>三島神社の(四ノ二四七上、一話)</p> <p>東大寺(四ノ二四四上、一話)</p> <p>大佛(五ノ四二八下、一話)</p> <p>六郷稻毛(四ノ六二八上、一話)</p> <p>攝津有馬湯山町(五ノ五二二下、一話)</p> <p>三州大樹寺村農家(五ノ二三九下、一話)</p> <p>和州舒物師共より書上候(五ノ二三五上、一話)</p> <p>板倉周防守列の(五ノ三七</p>
--	--	--	--

<p>二上、一話)</p> <p>貞和—(四ノ八三一上、一話)</p> <p>津金氏—(四ノ七〇二上、一話)</p> <p>大草氏—(四ノ五八七上、一話)</p> <p>長崎—(四ノ四六五上、一話)</p> <p>御用金—被仰付候町人(三ノ七二下、半日)(三ノ一三四下、半日)</p> <p>曆—改—宣下(三ノ五〇上、半日) 貞享—(四ノ二六二下、一話) 六十一年目の—(三ノ五三六下、石楠)(三ノ七四七下、南畝)</p> <p>阿蘭陀—(三ノ六〇九上、瓊雜) 吹留吧—(三ノ五一八下、迦遊) 紙捻—の始(四ノ七四二下、一話)</p>	<p>是政村 多摩郡—(三ノ六八六下、向阿)</p> <p>コロッソ 塚の口(四ノ六七二上、一話)</p> <p>語路 地口變じて—となる(三ノ八二六上、假世)(三ノ四七九下、俗耳)</p> <p>五郎太夫 「コシ」吳祥瑞ヲ見ヨ</p> <p>金剛山城 楠正成—の毀齊(三ノ三九六上、半日)</p> <p>金池院 寛政十一年—書上(五ノ二八四下、一話)</p> <p>金毘羅神社—の祭禮(四ノ七七下、一話)</p> <p>金輪寺 王子—什寶(五ノ二〇六上、一話)</p> <p>困窮—する事をテコズルと云ふ(三ノ二七〇下、半日)</p>	<p>干體—をユンギリと云ふ(四ノ三四〇下、一話)</p> <p>權現堂堤—の名(三ノ七〇〇下、向阿)</p> <p>近修—男、女(四ノ四八上、一話)</p> <p>混堂—(四ノ三四八上、一話)</p> <p>泔杯—の圖(三ノ一五六上、半日)</p> <p>昆布—と枇杷(五ノ五五三上、一補)</p> <p>根本寺—箱根寺(五ノ三八下、一話)</p> <p>婚禮—娶給以茶(五ノ三二六上、一話)</p> <p>—祝儀に三つ目七つ目と云ひし事(三ノ三五六上、半日)</p>	<p>三六上、同六七四上、一話)</p> <p>禁煙—の書(四ノ五三六上、石楠)</p> <p>西遊記—橋春暉の—(四ノ二八下、一話)</p> <p>西行法師—が片破月の歌(三ノ三九七上、半日)</p> <p>西國米—といふもの(三ノ五五一上、百舌)</p> <p>西福寺—淺草—(四ノ八二下、一話)</p> <p>柴屋軒宗長—連歌師—(四ノ五八六下、一話)</p> <p>柴門—は寒き護るの意(三ノ七四三下、南畝)</p> <p>災害—天明七年毀宅事件(四ノ一七三上、一話)</p> <p>文化七年の—(三ノ二〇七上、半日)</p> <p>「アラ」火災、「チシ」地震ヲモ見ヨ</p>
<p>才藏—(四ノ三三七上、一話) 萬歳—(四ノ四八三上、一話) 才藏集—の序(二ノ二四二下、巴人)</p> <p>才三格子—といふ衣服の緒(三ノ二五八下、半日)</p> <p>歳旦—の詩(四ノ四三〇下、一話) —の題(三ノ七四三下、南畝)</p> <p>歳旦年鑑—の序(二ノ五二下、四留)</p> <p>齋藤實盛—の塔(五ノ三五一上、一話)</p> <p>—の墓(一ノ四七三下、武江)</p> <p>齋藤無佛—の著書并死去の日(四ノ三七七下、一話)</p> <p>齋民要術—の古寫本(四ノ三七八上、一話)</p> <p>細男—の體(四ノ一四二下、一話) 裁判—南市令罪案抄(五ノ一七五下、一話)</p>	<p>酒井親貞亮—(五ノ一九五上、一話)</p> <p>最明寺—の塔(五ノ三五二上、一話)</p> <p>采覽異言—指訂—(四ノ七六二下、一話)</p> <p>祭禮—今昔—の形裝(四ノ四七六下、一話)</p> <p>山王—(三ノ二五四下、半日) 神田—狂歌(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>祭禮番付—寶永三年根津權現—(四ノ二五二上、一話)</p> <p>象—南掌國每十四年例貢—(四ノ六七四下、一話)</p> <p>象牙—求—(三ノ一〇五上、半日)</p> <p>象先和尚—の卒日(四ノ七三下、一話)</p>	<p>早雲寺—相州箱根—(一ノ二二上、改元)</p> <p>早器居士—の傳(四ノ六八八上、一話)</p> <p>創業記考畧—の献上(五ノ五一八上、一話)</p> <p>蒼妓—の劇(三ノ八〇六下、奴風)</p> <p>葬具—はやもの(三ノ六八八下、向阿)</p> <p>葬式—町方—の御願(四ノ八〇九上、一話)</p> <p>挿花—「イケ」生花ヲ見ヨ</p> <p>巢窩—は出合茶屋なり(三ノ五四三下、石楠)</p> <p>草書淵海—の著者(五ノ二二三上、一話)</p> <p>草木—に實を多くする法(三ノ五七〇上、百舌)</p> <p>草履—和履子(四ノ七〇三上、一話)</p>	<p>露地の—(五ノ三四七下、一話)</p> <p>竈中黄土—伏龍肝(三ノ五一六上、迦遊)</p> <p>索麪—切麪を水引と云ふ(三ノ七四八上、南畝)</p> <p>下り—の製法(三ノ六九六上、向阿)</p> <p>酒井氏—の祖先(三ノ一一九下、半日)</p> <p>酒井忠勝—讃岐守の家訓(五ノ二八〇上、一話)</p> <p>酒井忠國—大和守の學識(四ノ七四八上、一話)</p> <p>坂上池院—官醫—の日記(四ノ五二五下、一話)</p> <p>坂上與次右衛門—の發句(四ノ一一三下、一話)</p>

<p>才藏—(四ノ三三七上、一話) 萬歳—(四ノ四八三上、一話) 才藏集—の序(二ノ二四二下、巴人)</p> <p>才三格子—といふ衣服の緒(三ノ二五八下、半日)</p> <p>歳旦—の詩(四ノ四三〇下、一話) —の題(三ノ七四三下、南畝)</p> <p>歳旦年鑑—の序(二ノ五二下、四留)</p> <p>齋藤實盛—の塔(五ノ三五一上、一話)</p> <p>—の墓(一ノ四七三下、武江)</p> <p>齋藤無佛—の著書并死去の日(四ノ三七七下、一話)</p> <p>齋民要術—の古寫本(四ノ三七八上、一話)</p> <p>細男—の體(四ノ一四二下、一話) 裁判—南市令罪案抄(五ノ一七五下、一話)</p>	<p>酒井親貞亮—(五ノ一九五上、一話)</p> <p>最明寺—の塔(五ノ三五二上、一話)</p> <p>采覽異言—指訂—(四ノ七六二下、一話)</p> <p>祭禮—今昔—の形裝(四ノ四七六下、一話)</p> <p>山王—(三ノ二五四下、半日) 神田—狂歌(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>祭禮番付—寶永三年根津權現—(四ノ二五二上、一話)</p> <p>象—南掌國每十四年例貢—(四ノ六七四下、一話)</p> <p>象牙—求—(三ノ一〇五上、半日)</p> <p>象先和尚—の卒日(四ノ七三下、一話)</p>	<p>早雲寺—相州箱根—(一ノ二二上、改元)</p> <p>早器居士—の傳(四ノ六八八上、一話)</p> <p>創業記考畧—の献上(五ノ五一八上、一話)</p> <p>蒼妓—の劇(三ノ八〇六下、奴風)</p> <p>葬具—はやもの(三ノ六八八下、向阿)</p> <p>葬式—町方—の御願(四ノ八〇九上、一話)</p> <p>挿花—「イケ」生花ヲ見ヨ</p> <p>巢窩—は出合茶屋なり(三ノ五四三下、石楠)</p> <p>草書淵海—の著者(五ノ二二三上、一話)</p> <p>草木—に實を多くする法(三ノ五七〇上、百舌)</p> <p>草履—和履子(四ノ七〇三上、一話)</p>	<p>露地の—(五ノ三四七下、一話)</p> <p>竈中黄土—伏龍肝(三ノ五一六上、迦遊)</p> <p>索麪—切麪を水引と云ふ(三ノ七四八上、南畝)</p> <p>下り—の製法(三ノ六九六上、向阿)</p> <p>酒井氏—の祖先(三ノ一一九下、半日)</p> <p>酒井忠勝—讃岐守の家訓(五ノ二八〇上、一話)</p> <p>酒井忠國—大和守の學識(四ノ七四八上、一話)</p> <p>坂上池院—官醫—の日記(四ノ五二五下、一話)</p> <p>坂上與次右衛門—の發句(四ノ一一三下、一話)</p>
--	---	---	--

坂田杉曉 俳優—(五ノ四四 一上、一話)	山—(四ノ三六七上、一話)	櫻井又大夫 の碑(三ノ七五七 下、南歌)	厨 飲酒法令(二ノ三二七上、萬葉)
嵯峨釋迦 の開帳(三ノ二二八 下、半日)(五ノ三二四下、一話)(四ノ六八二上、一話)	新吉原の—(三ノ四三六下、半日)	櫻川 江戸芝—(三ノ二一〇下、半日)	卯—(三ノ五四三下、石楠)
盃 峰龍—の圖(一ノ三八九下、五 披)	加波山の—(五ノ五四六下、一 補)	櫻川お仙 仙台路考—の評判 (三ノ二七二下、半日)	梅—(三ノ六二二下、瓊雜)
逆手地藏 上總國—(五ノ五 五八下、一補)	小金井の—(三ノ六九九上、向 國)(三ノ六七四下、玉砂)	櫻島 薩州—神火の次第(五ノ 三九四下、一話)	白—苦—(三ノ五一五上、迦遊)
佐川田昌俊 (喜六)の文(四ノ 二一七下、一話)	伊豫國—(四ノ九上、一話)	櫻田 江戸—の地(三ノ一一一 下、半日)	セネイフル、葡萄酒、肉桂酒(三 ノ六二五上、瓊文)
●サキ 鶯大明神 (四ノ三五八下、一 話)	豫州松山十六日—(三ノ三三八 下、半日)	櫻田御門 —(二ノ四四九上、武 江)	新—頓(二ノ七二下、四留)
左義長 —三穂打(四ノ三二九下、 一話)	武州眞淨寺の時雨—(三ノ五二 二上、石楠)	櫻峰 上野—(一ノ四六三下、武 江)	「シユ」酒造稅サモ見ヨ
●サク さくはん は二分なり(四ノ四 七上、一話)	唐山に—なし(三ノ五一四上、迦 遊)	櫻山 奥女中—の亂行并刑罰 (四ノ一三八上、一話)	酒上熟寐 狂歌師—(三ノ八 〇三上、奴風)
櫻 (四ノ九二下、一話)	—を賞するの詩(四ノ四三一上、 一話)	左官 明暦三年江戸—の工賃 (四ノ三二四上、一話)	酒客 瓶違病(四ノ二二六上、一 話)
	櫻花帖題跋(五ノ二一九下、一 話)	●サケ 酒 の假懸邊(三ノ七二六下、金 厨)	吉際八十八酒亂(三ノ三〇九上、 半日)
	「ハナ」花見サモ見ヨ		「テラ」地黃坊樺次サモ見ヨ
			鮭 の味(四ノ四九上、一話)
			初—傳(二ノ四三三上、四あ)
			●ササ 佐々木一貫 の歌(三ノ三三九 下、半日)

下、半日)	享保安永千人頭組—帳(四ノ 一六三上、一話)	佐渡國 —地雲一件(四ノ八二 一上、一話)	里村紹巴 の奇答(三ノ三九七 下、半日)
佐々木玄龍 (四ノ二四五下、一 話)	山櫻桃 (三ノ五一四上、迦遊)	佐渡島 遊女屋—の暖簾(四ノ 七二下、一話)	●サノ 佐野善左衛門 —田沼山城 守殿中刃傷(四ノ三五三上、一 話)(五ノ二九八上、一話)
佐々木文山 (四ノ二四五下、一 話)	●サツ 砂糖 江戸一日の黒—使用高 (三ノ五〇九下、俗耳)	佐藤一齋 が富士山の詩(三ノ 二二三上、半日)	●サハ 鱒腐石 の名の起(三ノ六二八 上、瓊文)
佐々軍記 —二條(五ノ三一 一上、一話)	●サツ ざつとう 「サツ」座頭サモ見ヨ	座頭 といふ名(四ノ六六五下、一 話)	澤田東江 (三ノ八五三下、假 世)
笹葉蘭 といふ草(三ノ六二二 上、瓊文)	雑色 (四ノ三三四上、一話)	—の始(三ノ三五六下、半日)	澤村源之助 俳優—(三ノ六 五五下、玉砂)
雀部新六郎 —御替の事(四 ノ七四二上、一話)	幸手宿 の帯(三ノ一一〇上、半 日)	ざつとう(四ノ二一〇上、一話)	澤村宗十郎 の卒日(二ノ三八 五下、尺腹)
山茶花 梅の風といふ—(五ノ 四一三下、一話)	薩摩國 より琉球に到る間の島 々(三ノ五一四下、迦遊)	—官位(三ノ二六一上、半日)	●サフ 雑煮 の始(四ノ三三〇上、一話)
●サシ さし火 放火を—といふ(二ノ 七六上、葦著)	甘藷 (五ノ三二三下、一話)	極官より名字日傘をぬす(三ノ 三五七下、半日)	泊夫藍 といふ植物(三ノ五一八 下、一話)
指物 小旗(四ノ三九三上、一話)	—の我國へ渡りたる始(三ノ 三五〇下、半日)	●サト 里見義豊 稻村殿(四ノ一六六 下、一話)	
—の色(四ノ三九二上、一話)			

<p>下、遊遊)</p> <p>— 國考(四ノ六七〇上、一話)</p> <p>●サホ</p> <p>霸王樹 の漢名(三ノ五一二下、 遊遊)</p> <p>●サマ</p> <p>様 の字(三ノ一一二下、半日)</p> <p>座摩神社 の讀み方(三ノ五四 五上、石楠)</p> <p>●サミ</p> <p>三味線 の始(三ノ三五二下、半 日)</p> <p>— 來由并澤の苗字附る事(五 ノ四六二下、一話)</p> <p>— 師匠近江の系并三枝鈴(三 ノ八一九上、假世)</p> <p>蝦夷 — (五ノ五九四下、一補) の音にて海嶺を豫知す(三 ノ八一五下、假世)</p> <p>●サメ</p>	<p>鮫</p> <p>を「たり」と云ふ(四ノ三四〇 上、一話)</p> <p>めうが(四ノ三〇七下、一 話)</p> <p>— 鯨を呑む(三ノ五二八上、石 楠)</p> <p>●サル</p> <p>猿猴 — の歌(五ノ五〇四上、一 話)</p> <p>— 蜂の巢をとるうたに(三ノ 六二一上、瓊文)</p> <p>— の近所へよるべからず(三 ノ四八四上、俗耳)</p> <p>猿樂 は申樂なり(三ノ三五五上、 半日)</p> <p>猿曳 の歌(四ノ四八三上、一話)</p> <p>— 堀川の段猿廻しの歌(三ノ四八 五下、俗耳)</p> <p>猿若勘三郎 「ナカ」中村勘三 郎ヲ見ヨ</p>	<p>讀留靈王 「ヤマ」日本武尊ヲ見 ヨ</p> <p>●サン</p> <p>さんかう節 「コウ」小唄ヲ見ヨ</p> <p>三庵隨筆 といふ書(四ノ三〇 六下、一話)</p> <p>三勝 狂言師 — 所狀(三ノ二九 四上、半日)</p> <p>— みの辰 — の石塔(四ノ六六一 上、一話)</p> <p>— 半七の石塔(三ノ七三五上、 金層)</p> <p>— の墓(三ノ七三五下、金層)</p> <p>(一ノ七七七上、落着)</p> <p>三ヶ津 の地名(三ノ三五五上、 半日)</p> <p>三教指歸注 — 抄(四ノ四三 三上、一話)</p> <p>三教不齋論 の著者(四ノ四三 三上、一話)</p>	<p>三州志 といふ書(五ノ四一四 上、一話)</p> <p>三十三間堂 江戸淺草 — (一 ノ四八一上、武江)</p> <p>三十番次第 の引替(四ノ一三 七上、一話)</p> <p>三七 は金層の要藥(四ノ六七〇 下、一話)</p> <p>三社 の和歌(三ノ七一七下、金 層)</p> <p>三社權現 日光山 — (四ノ三 〇六下、一話)</p> <p>三社誌宣 (四ノ六六下、一話)</p> <p>三體詩 の講義(四ノ五九三上、 一話)</p> <p>三體傳授 狂歌 — 歌(二ノ七 三下、四留)</p> <p>三代集 — 人名のよみ方(三ノ 一一三下、半日)</p> <p>三代實錄 — 中假名のおかし</p>
---	--	---	---

<p>きもの(四ノ一一五下、一 話)</p> <p>三條橋 京都 — (四ノ一二四 上、一話)</p> <p>三條宗近 刀匠 — (四ノ七二 五下、一話)</p> <p>三品念佛 の縁起(四ノ二五六 下、一話)</p> <p>山家義苑 (五ノ三二二上、一 話)</p> <p>山東京傳 京傳机塚(五ノ二五 八下、一話)</p> <p>參勤 享保七年諸侯 — の制(四 ノ三一五上、一話)</p> <p>珊瑚珠 練 — 秘傳(三ノ五六八 下、百舌)</p> <p>算術家 — 關新助の墓(四ノ三 六三、一話)</p> <p>噺猿 の字義(四ノ六六五下、一 話)</p>	<p>●シ</p> <p>詩 康熙帝の — (四ノ七六上、一 話)</p> <p>樂天 — (四ノ二二八下、一話)</p> <p>乾隆帝南巡御製の — (四ノ三〇 七下、一話)</p> <p>南洞曾の — (三ノ八九上、半日)</p> <p>秩翁箴箴(四ノ四四〇下、一 話)</p> <p>沈潜世 — (三ノ三三六上、半日)</p> <p>王勃 — (五ノ二八下、一話)</p> <p>山谷 — (四ノ六六四下、同六六五 上下、一話)</p> <p>船子和尙の — (四ノ六六六上、 一話)</p> <p>王世吉 — (四ノ六二〇下、一話)</p> <p>李笠翁 — (四ノ六〇四上、一話)</p> <p>陶淵明 — (四ノ六七二上、一話)</p>	<p>有無の對句(四ノ七四八上、一 話)</p> <p>韓退之の聯句(四ノ四八四下、一 話)</p> <p>祝允明樓 — (五ノ三〇九下、一 話)</p> <p>范石湖 — (四ノ四七二下、一話)</p> <p>文徵明 — 勃率山人 — (四ノ四八 二上、一話)</p> <p>草遊紀遊 — (四ノ四八二下、一 話)</p> <p>龜岡十勝 — (四ノ五一一上、一 話)</p> <p>草亭 — (四ノ五一二上、一話)</p> <p>湘東王 — 鮑泉 — (四ノ三八六 上、一話)</p> <p>楊朴の — (四ノ三九一上、一話)</p> <p>圓漸分水界 — (四ノ四三〇下、一 話)</p> <p>楚俊の — (四ノ四八上、一話)</p>	<p>漢居黨 — (五ノ三二〇上、一話)</p> <p>僧百拙 — (三ノ三三三下、半日)</p> <p>僧在禪 — (四ノ四七〇下、一話)</p> <p>高泉禪師夜座の — (三ノ五二二 上、石楠)</p> <p>梅屋禪師の — (三ノ五二四下、石 楠)</p> <p>宋 — の二陳(五ノ三〇五上、一 話)</p> <p>羅翠峰院 — (三ノ三三七下、半 日)</p> <p>冬夜客至 — (三ノ三四〇下、半 日)</p> <p>唐翁承贊 — (五ノ三二七上、一 話)</p> <p>殷麗蘭趣(四ノ六二七下、一話)</p> <p>鬼 — 鬼作(四ノ四八七上、一話)</p> <p>櫻桃花の — (四ノ四三一上、一 話)</p> <p>元日の — (三ノ一一四上、半日)</p>
---	--	---	--

<p>法性寺關白御集抄(四ノ二四二下、一話)</p> <p>徳川家繼の(四ノ八七上、一話)</p> <p>水月侯の(三ノ五二三下、石楠)</p> <p>新井白石容奇の(四ノ四八四上、一話)</p> <p>中井善太夫白河公に呈するの(四ノ一九二下、一話)</p> <p>細井廣澤の(四ノ四七五下、一話)</p> <p>篠崎小竹の(四ノ六四九下、一話)</p> <p>柳澤吉保の(四ノ六八三上、一話)</p> <p>太宰春登賤行(四ノ六八二下、一話)</p> <p>佐藤一齋富士山の(三ノ二二三上、半日)</p>	<p>太田錦城不祥の(四ノ六〇七下、一話)</p> <p>大田南畝歳暮の詩(五ノ八七下、一話)</p> <p>同史館晴望の(三ノ九〇上、半日)</p> <p>市川團藏を哭するの(三ノ二四一上、半日)</p> <p>豆苗(四ノ四六二下、一話)</p> <p>北里歌(四ノ四九四上、一話)</p> <p>水東竹枝詞(四ノ四九八上、一話)</p> <p>芳野齋冥瀆の(四ノ四五二上、一話)</p> <p>肥前の地名に入るべきもの(四ノ二一七下、一話)</p> <p>しら菊の(四ノ二二二上、一話)</p> <p>柴野彦助の(四ノ二二〇上、一話)</p>	<p>妻女の夫に贈るの(四ノ四八六上、一話)</p> <p>五節句の(四ノ四八六下、一話)</p> <p>猿猴の蜂の巣をとるうたかきたるに(三ノ六二一上、瓊文)</p> <p>琉球聘使の(四ノ五〇九上、一話)</p> <p>琉球人富士山の(四ノ二四〇下、一話)</p> <p>琉球人献上硯屏の(四ノ二四〇下、一話)</p> <p>三體詩露稿(四ノ五九三上、一話)</p> <p>三詩の評(四ノ四三九下、一話)</p> <p>太宰春登を評す(五ノ四四〇上、一話)</p> <p>詩話の書(三ノ五三〇下、石楠)</p> <p>死 遠行、永晴暇(四ノ七三三下、一話)</p>	<p>鳥羽三右衛門後の訓戒(三ノ八二二下、假世)</p> <p>志むし といふ事(四ノ二九二上、一話)</p> <p>詩歌 衛生遊稿(五ノ二九上、一話)</p> <p>平賀越溪が論(五ノ四三九下、一話)</p> <p>麹町市人の娘(四ノ七二七上、一話)</p> <p>朱印 國々御(三ノ三一上、半日)</p> <p>勢州角屋七郎次御願書(三ノ五四上、半日)</p> <p>寺院 日本一の敷(三ノ七七五下、南畝)</p> <p>佛蘭開帳に轍を上るの初(三ノ四三六下、半日)</p> <p>山號寺號の事(四ノ五三四下、一話)</p>
--	---	--	--

<p>話(三ノ六九一上、向阿)(三ノ七四四下、南畝)</p> <p>長崎の唐寺(三ノ三三八下、半日)</p> <p>●シツ 聚頭俗韻 といふ書(五ノ三三三上、一話)</p> <p>衆方規矩 といふ書(五ノ三三三下、一話)</p> <p>修性院 谷中日暮里—石炭(四ノ六七上、一話)</p> <p>●シカ 鹿 春日の(四ノ七三三上、一話)</p> <p>志賀瑞翁の狂歌(四ノ一二三上、一話)</p> <p>●シキ 敷尹の字義(四ノ六三三上、一話)</p>	<p>自休 僧の傳(三ノ七六一上、南畝)</p> <p>式三番叟の故實(三ノ三五五上、半日)</p> <p>色紙(四ノ六七四下、一話)(三ノ七四九下、南畝)</p> <p>●シツ 鴨立庵 大磯(一ノ一〇下、改元)</p> <p>鴨立澤の碑(四ノ五三三下、一話)</p> <p>詩經標解 題一首(三ノ二五九下、巴人)</p> <p>●シン 四月八日 に於ける京都難波の風習(四ノ二九三上、一話)</p> <p>●シヤ 指月 假—の遺傳其他(三ノ六六二、玉砂)</p>	<p>自讃歌註 といふ書(三ノ一八六上、半日)</p> <p>●シン 朱子 朱文公小字(四ノ四二二上、一話)</p> <p>寺社 領御朱印(五ノ五二五下、一話)</p> <p>四書 國人の字讀み方(五ノ五一八上、一話)</p> <p>至心院 徳川家治母(四ノ三六九下、一話)</p> <p>紫宸殿 大内裏の時—の瓦(四ノ三三一上、一話)</p> <p>●シセ 辭世 豊臣秀吉の(三ノ四一〇上、半日)(四ノ三三下、一話)</p> <p>荒木田守武(四ノ七〇下、一話)</p>	<p>田安公—の歌(三ノ二五四下、半日)</p> <p>赤穂義士(三ノ四〇六上、半日)</p> <p>俳人紙徳(四ノ七七上、一話)</p> <p>俳人紀逸(四ノ一六五上、一話)</p> <p>狂歌師奈萬須盛方(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>英一蝶(三ノ一〇九上、半日)</p> <p>小澤駒五の(三ノ八四三下、假世)</p> <p>名主—の狂歌(三ノ二四九上、半日)</p> <p>詩聖堂詩集の序(四ノ七五三上、一話)</p> <p>慈善 女房の(三ノ八二二上、一話)</p>
--	--	--	---

<p>假世) 名主の—(三ノ二四二下、半日) 旅宿主人の—(三ノ八五一上、假世) ●シタ 志道軒 の傳(四ノ四四五下、一話) 支府禪師 の傳(三ノ八三一上、假世) 下帯 男女とも—をしばじめる 事を深添着といふ(三ノ五七六上、百舌) 下わらび —抄(五ノ五〇五上、一話) 自墮落先生 の略傳(三ノ七二七下、金屑) 一の逸話(三ノ八一七上、假世) ●シチ</p>	<p>七拳式 —酒令(二ノ二六七下、巴指) 七拳圖式 の序(二ノ七一上、四留) 七字の口傳 (三ノ一〇四上、半日) 七面明神 本淨寺の—(四ノ六七五上、一話) 身延山—開帳(三ノ二二九上、半日) 身延山—炎上(三ノ二六一上、半日) 質屋 享保七年—仲間連判帳寫(五ノ一六九下、一話) 一の簡板(五ノ一七〇上、一話) 慈鎮和尚 の處(四ノ三〇二上、一話) ●シツ</p>	<p>靜ノ前 の古跡(三ノ一〇九下、半日) 一の古跡、結び柳、思案橋、靜返し(三ノ七〇〇下、向岡) 漆器 檢物道具の煤氣取様(三ノ五六八上、百舌) 出恭 大小便(四ノ三四八上、一話) 出産 大兒—(四ノ一九四下、一話) 生男勿喜女勿悲(三ノ四八二下、俗耳) 安産の守(五ノ五五一上、一補) 一の時こしき落す事(四ノ三六四上、一話) 出陣 の引わたし(四ノ六二六上、一話) 産後腹痛の妙藥(三ノ五六五下、百舌) 質素 —可守倫言(三ノ八六上、半日)</p>	<p>半日) 京都所司代(被仰渡(五ノ五四〇上、一補) 濕疥 「サイ」疥癬ヲ見ヨ 實相寺 鳥羽—(四ノ二二一上、一話) 疾妬 養州某士の妻—の事(五ノ五四九下、一補) 竹篋 (四ノ二二四下、一話) ●シテ 詩轍 —抄(四ノ四八三下、一話) 司天臺 (四ノ七〇四上、一話) 四天王寺 「テン」天王寺ヲ見ヨ ●シト 志と、に濡る、といふ詞(四ノ二二〇下、一話) ●シナ 支那 清國地誌の事(五ノ三二四上、一話)</p>
---	--	---	---

<p>盛京は何れの地(三ノ五二二下、遊遊) 露西亞—交易を開きし時代(三ノ五二二下、遊遊) 清朝と朝鮮との交情(三ノ五二二下、遊遊) 唐山にて和産の海産を賣ぶ理由(三ノ五二二上、遊遊) 一人の倅(三ノ六二六上、瓊文) 一の倅(三ノ六二六上、瓊文) 一の倅(三ノ六二六上、瓊文) 唐の斗升の始(三ノ三五四上、半日) 清國の錢(四ノ三二三上、一話) 明代の金穀(四ノ三七五上、一話) 和漢同案(三ノ一〇〇下、半日)</p>	<p>長崎唐館の風俗(四ノ四二一上、一話) 長崎の—演劇(三ノ五八四下、瓊雜) 支那人 の假名書(三ノ五六六下、半日) 湯に浴せず(三ノ七二二下、金屑) 一の朝子(三ノ六一五下、瓊雜) 一の髪の名(三ノ六一二下、瓊雜) 券書、同休書(四ノ二四九下、一話) 浮世給の賛(四ノ五九上、一話) 品川 の大門(四ノ六二四下、一話) 信濃國 の風俗(三ノ三〇二下、半日)</p>	<p>—に竹なし(三ノ五四二下、石補) ●シノ 篠崎小竹 の詩(四ノ六四九下、一話) 篠塚浦右衛門 俳優—の綽名(三ノ四八一上、俗耳) 篠本竹堂 の手簡(四ノ八三六上、一話) 詩文(四ノ七五九下、一話) 信太社 —祭祀配并泉州五社次第(五ノ一三一上、一話) 不忍池 の蓮(三ノ四九二下、俗耳) 不忍辨天 の開帳(三ノ三三二上、半日) 忍池文庫 —所見書目(四ノ三八六下、一話) 忍岡南塾 の樂抄(四ノ七〇五)</p>	<p>下、一話) 忍の森 (一ノ四六三上、武江) ●シハ 芝居 「カフ」歌舞伎ヲ見ヨ 芝居茶屋 和泉屋(五ノ六四三上、一補) 芝口御門 の石垣取拂(五ノ三二二上、一話) 芝山持豊 前權中納言—の文(四ノ六〇六上、一話) 司馬江漢 の書(四ノ七五〇上、一話) 柴垣節 「コウ」小唄ヲ見ヨ 柴崎村 武州多摩郡—(四ノ六〇六上、一話) 柴野彦助 の詩(四ノ二二〇上、一話) 柴屋宗長 「サイ」柴屋軒宗長ヲ見ヨ ●シヒ</p>
---	---	---	---

慈悲心鳥 (四ノ六八一上、一話)	十八羅漢 の名(四ノ三四五下、一話)	七下、半日)	清水家 ノ五五八上、一補)
●シフ	十料村 長崎—の名(三ノ六一二上、瓊雜)	堀寇 稻荷新田の—(三ノ六七四下、玉砂)	清水家 御殿踏士被仰渡の覺(三ノ四二下、半日)
十九日 馬鹿者の異名を—といふ(三ノ七九九下、奴風)	十六羅漢 (四ノ三四六上、一話)	堀飽島 備前—(四ノ四六二上、一話)	清水芝任 慢心身を福つ(四ノ六〇八上、一話)
十語五章 (三ノ一一二上、半日)	集會 踏齋—御願(三ノ二八九下、半日)	潮干 天明六年泉州堺浦の—(四ノ三三五上、一話)	—の強力(四ノ六〇九上、一話)
十五夜 桂陽會(三ノ七四三上、南歌)	詩文 賭家—(三ノ二二〇下、半日)	●シマ	清水中納言 逝去に付御書付(三ノ四〇下、半日)
十三格 (四ノ二八三上、一話)	伊東秋顯—(五ノ一九上、一話)	島 薩州より琉球に到る間の—(三ノ五一四下、遊遊)	清水濱臣 小山田與清との不和を解く(三ノ一六二下、半日)
十三經 嘉慶三年板の—(三ノ五四〇上、石楠)	篠本竹堂—(四ノ七五九下、一話)	島原 肥前—豊賢山噴火并地震洪水(三ノ八三下、半日)	清水與膳 家の文藝の肥(四ノ二四三上、一話)
十三夜 繼華會(三ノ七四三上、南歌)	話(四ノ六〇〇上、一話)	島原亂 島原陣中書狀寫(四ノ三一七上、一話)	●シム
十七史 に附せる書名(三ノ五四四上、石楠)	●シホ	陣中銀拂方(四ノ二五〇上、一話)	志村禎幹 和刻晋書の句讀者(四ノ四七下、一話)
十七屋 「ヒキ」飛脚屋が見ゆ	しほり萩 の歌(三ノ六一七上、瓊雜)	四萬六千日 「クワン」觀世音ヲ見ヨ	●シモ
十二月 臘月世の中詣るといふ事(四ノ四二四下、一話)	壺 井水にて—を製す(四ノ三〇七上、一話)	●シニ	下河邊行平 奉納の金口(五ノ三五〇上、一話)
十二單衣 といふ裝束(四ノ二一八下、一話)	奥州會津郡山中の—(三ノ一一二上、一話)	清水 上總海中より—湧く(五ノ三〇七上、一話)	下總國 武藏國と—との境界

(四ノ五八四上、一話)(一ノ四八四上、武江)	●シヤ	將軍宣下 徳川氏累代—日限(四ノ三六〇下、一話)	吉原心中(三ノ二二五上、半日)
霜除 樹上覆裏(五ノ四二二下、一話)	の名匠(三ノ八三二下、假世)	將軍 裝束(三ノ二二上、半日)	新し橋心中(三ノ二八七上、半日)
●シヤ	曲組(四ノ五五二下、一話)	一家御食物(五ノ五一五上、一話)	日向島相對死(三ノ三〇二上、半日)
祥雲寺 武州豐島郡—鐘銘(四ノ五三二上、一話)	祥瑞 萬事吉兆の圖說(三ノ一七八下、半日)	將軍宣下 徳川氏累代—日限(四ノ三六〇下、一話)	旗本遊女の—(三ノ四九二上、俗耳)
淨岸院 薩州公—逝去(三ノ二四六下、半日)	淨光院 「セウ」祥雲寺ヲ見ヨ	大猷院—(三ノ二二一上、半日)	新宿遊女—(五ノ七五上、一話)
淨瑠璃 京都の—(四ノ三三七下、一話)	近松戲文評(三ノ四八七上、俗	嚴有院—(三ノ二二六下、半日)	男女相對死(四ノ六〇上、一話)
嘉太夫節(四ノ三三七下、一話)	文昭院—(三ノ二一八下、半日)	商人 夜—印札(三ノ四五〇下、半日)	霞宵停止(五ノ三二二下、一話)
近松戲文評(三ノ四八七上、俗	天明七年の—(四ノ一七二下、一話)	常教寺 牛込—の鐘銘(五ノ三九九下、一話)	障子 雨—を繕ふに糊つかざるを付様(三ノ五六八上、百舌)
正月 の異名(三ノ一一八下、半日)	情死 藤枝外配遊女綾組の—(四ノ七九六上、一話)	常行堂 上野—(四ノ六九七下、一話)	尙齒會 天明—(四ノ七四五上、一話)
		唐土—の遊戯(三ノ七五二下、南歌)	尙書大傳 の序(五ノ三七四上、一話)
		八月迎—(三ノ二四三上、半日)	尙直編 といふ書(四ノ二五〇上、一話)
		蜂村百草村—の風習(三ノ六九〇下、尚岡)	
		正直 家來の—(三ノ三〇六下、半日)	
		正徳六年 日配抄(五ノ一八六上、一話)	
		商業 農業と—(四ノ四九二下、一話)	
		商人 夜—印札(三ノ四五〇下、半日)	
		常教寺 牛込—の鐘銘(五ノ三九九下、一話)	
		常行堂 上野—(四ノ六九七下、一話)	
		情死 藤枝外配遊女綾組の—(四ノ七九六上、一話)	

<p>○上、一話)</p> <p>同二月新板本(五ノ一九三下、一話)</p> <p>唐本直段付(四ノ三四九上、一話)</p> <p>朝鮮の—にて我國に存するもの(三ノ五一七下、遊遊)</p> <p>唐土七書(四ノ四一〇上、一話)</p> <p>大徳寺古藏書寶本(四ノ四三五下、一話)</p> <p>時書(五ノ五九三上、一和)</p> <p>紀行類及記類の—(五ノ五二九下、一和)</p> <p>方帙巻軸(四ノ五二五上、一話)</p> <p>「シヨ」書目ヲ見ヨ</p> <p>書籍商 — 双紙屋御改(五ノ三二〇下、一話)</p> <p>書目 教訓—(五ノ六三五上、一和)</p> <p>寛天叢書目(五ノ一〇六下、一和)</p>	<p>話)</p> <p>洛陽本性寺沙門了意著書目録(五ノ三七二下、一話)</p> <p>忍池文庫所見—(四ノ三八六下、一話)</p> <p>六角氏郷が偽—(四ノ四五二上、一話)</p> <p>來朝—(三ノ五八二下、同五八三下、瓊維)</p> <p>唐船持渡—(三ノ六二九下、瓊又)</p> <p>堤氏藏—録(五ノ三〇六下、一話)</p> <p>青木昆陽著述—(五ノ三〇九上、一話)</p> <p>遊月亭叢書目(五ノ二〇〇下、一話)</p> <p>鈴木白藤所藏白石著述—(五ノ二〇〇上、一話)</p> <p>彼岸山書齋目錄(三ノ六九八下、一話)</p>	<p>向阿)</p> <p>福田十右衛門藏—(三ノ六二三下、瓊又)</p> <p>享和九年改濟書齋目錄(三ノ五四上、百舌)</p> <p>鍾馗 の贊(二ノ二三六下、巴人)</p> <p>諸葛亮 武侯廟碑(四ノ五九七下、一話)</p> <p>—の摩太婆(四ノ三三四下、一話)</p> <p>諸侯 「タイ」大名ヲ見ヨ</p> <p>諸例抄 —抄(四ノ五四二下、一話)</p> <p>諸分店卸 は四鶴の作に非ず(三ノ八四四下、假世)</p> <p>植物 梅品、櫻品、關品の外の—書(三ノ五一二上、遊遊)</p> <p>蜀山 大田南畝が—の號の出所(二ノ三九二下、尺廣)</p>	<p>「オホ」大田南畝ヲ見ヨ</p> <p>蜀山人(二世) 文寶亭版木「フシ」ヲ見ヨ</p> <p>食事 古昔の—(五ノ二七四下、一話)</p> <p>職人 膳—作料(三ノ二四三上、半日)</p> <p>職人部類 の序(二ノ五九下、四留)</p> <p>處世 の法(四ノ四九下、一話)</p> <p>如木雜色 の裝束(四ノ二一八上、一話)</p> <p>●シラ</p> <p>白魚 淺草川—の初(三ノ三五〇下、半日)</p> <p>白雄 俳人—の發句(三ノ六七〇上、玉砂)</p> <p>白菊 の事(三ノ七六一上、南畝)</p> <p>白濱 豊後國佐賀關—黒濱(三ノ四九五上、一話)</p>
--	--	---	---

<p>ノ二二三下、半日)</p> <p>虱 を避る法(三ノ五七二下、百舌)</p> <p>除頭—法(三ノ五七二下、百舌)</p> <p>●シル</p> <p>しるしの反古 —抄(四ノ一六五下、一話)</p> <p>●シロ</p> <p>代 —「二」といふ事(四ノ二二三上、一話)</p> <p>城 の無き國々の歌(三ノ二二八下、半日)</p> <p>白銀御殿 の地(三ノ四六五上、瀬田)</p> <p>白木屋 井戸の銘(一ノ四四〇下、武江)</p> <p>●シン</p> <p>心越禪師 (三ノ八二六上、假世)</p> <p>—傳(四ノ五九八下、一話)</p>	<p>心學 の事(五ノ四〇六上、一話)</p> <p>—の講釋(三ノ八二九上、假世)</p> <p>心觀院 徳川家治御靈—の葬去并出棺行列(三ノ二三四下、半日)</p> <p>—御廟炎上(三ノ二三九上、半日)</p> <p>—擊銘(四ノ二五〇下、一話)</p> <p>心中 「シヤ」情死ヲ見ヨ</p> <p>秦漢古瓦記 の撰者(四ノ四五〇下、一話)</p> <p>清國 「シナ」支那ヲ見ヨ</p> <p>眞言宗 の秘書(四ノ一三二上、一話)</p> <p>眞淨寺 武州入間郡—門前の櫻(三ノ五二二上、石楠)</p> <p>人事 の字(四ノ六七二上、一話)</p> <p>—の義(四ノ四九九上、一話)</p> <p>人事記 (三ノ三三六上、半日)</p>	<p>人道 「カウ」交接ヲ見ヨ</p> <p>神社 日本—の數(三ノ七七五下、南畝)</p> <p>神職 神主守名正に改る(四ノ三二二下、一話)</p> <p>神馬記 (三ノ六九二下、向阿)</p> <p>神明宮 日本國七所—(一ノ五六下、葦若)</p> <p>晋書 和刻—(四ノ四七下、一話)</p> <p>新撰ひいながた の序(五ノ一七四下、一話)</p> <p>新筑波集 に永仙の連歌撰に漏れたる落首(三ノ八三二下、假世)</p> <p>新藤勾當 —被爲召(四ノ七七六上、一話)</p> <p>新塲 江戸—(五ノ六四〇上、一和)</p> <p>新幡隨院 谷中—建立に付寄</p>	<p>附の品目(三ノ四三七下、半日)</p> <p>新編江戸志 —抄(五ノ二六一上、一話)</p> <p>親鸞上人 の幼名(四ノ一六五下、一話)</p> <p>—(三ノ七五八下、南畝)</p> <p>高田真修寺系圖(三ノ二〇三、半日)</p> <p>—大師號を許可されず(四ノ五八七上、一話)</p> <p>親王 及諸王の位階(四ノ六四八下、一話)</p> <p>●スア</p> <p>素襖 —「ぬぎ」の事(四ノ二六一下、一話)</p> <p>●スイ</p> <p>隋 の世の版圖(四ノ二四二上、一</p>
--	--	--	---

<p>水泳 御徒士—稽古の始(三ノ四七二下、瀬田) 正保四年—上覽(三ノ四七三下、瀬田)</p> <p>水海神 の御首(三ノ二六〇下、半日)</p> <p>水晶宮 の圖(三ノ七五二上、南畝)</p> <p>水道 たげ川—(四ノ七〇三上、一話)</p> <p>水鳥記 板本—(三ノ六七五上、玉砂)</p> <p>隨園詩集 といふ書(四ノ五三九下、一話)</p> <p>西瓜 の我國へ渡りし初(三ノ三〇下、半日) —は異邦より來れり(三ノ七二下、一話) —の恭解に菴椒を用ふ(四ノ</p>	<p>瑞光院 深草—(四ノ六九二上、一話)(四ノ一三三下、一話)</p> <p>推古天皇 御宇の位階(四ノ六四八上、一話)</p> <p>石蒜 の使用并貯藏法(四ノ六七四上、一話)</p> <p>翠峰院 題—詩(三ノ三三七下、半日)</p> <p>●スエ 末次平藏 が事(四ノ五〇五上、一話)</p> <p>末廣松 の記(三ノ六六三上、玉砂)</p> <p>末吉村 植樹郡上—の記(三ノ六六〇上、玉砂)</p> <p>●スカ 菅原傳授手習鑑 の新淨瑠璃 狂言(三ノ四三七上、半日)</p>	<p>●スキ 杉本九一右衛門 赤穂浪士—(四ノ六三二上、一話)</p> <p>杉山正淳 (活齋)の著書(三ノ五四三上、石楠)</p> <p>●スク 宿世結 「エシ」縁結ヲ見ヨ</p> <p>●スク 菅笠節 (四ノ四〇二下、一話)</p> <p>助六 市村座—狂言大當(三ノ二五九上、半日) —狂言に就ての落語(三ノ四四二下、半日) —の狂言に櫻を植えし始(三ノ四三六下、半日)</p> <p>●スサ すざぶ 雨—風—(四ノ二一上、一話)</p> <p>●スシ 鮮 長門—(二ノ一八上、改元)</p>	<p>●スス 煤 塗物道具の—氣取様(三ノ五六八上、百舌) 金箔を匿たる物—氣取様(三ノ五六八下、百舌) 煤拂 十二月十三日御煤納御規式(三ノ一七上、半日)</p> <p>鈴 金寶橋次の—(四ノ七二〇下、一話)</p> <p>鈴鹿權現 (一ノ三四下、改元)</p> <p>鈴木白藤 の詩(五ノ五二下、一話)(五ノ一一八上、一話) —所藏白石著述目錄(五ノ二〇〇上、一話)</p> <p>繪書城小集詩(五ノ二二九下、一話)</p> <p>鈴木春信 大和給師—死す(三ノ二二八下、半日)</p> <p>鮮吸三聖 井圖(三ノ七四五上、南畝)</p>
--	--	---	---

<p>薄 府中高安寺十寸秘の—(三ノ七一〇上、向阿)</p> <p>錫のもの (四ノ一一二下、一話)</p> <p>雀踊 難波—の祖(四ノ三四〇上、一話)</p> <p>雀半兵衛 雀踊の祖—(四ノ三四〇上、一話)</p> <p>硯 琉球人献上—屏の詩(四ノ二四〇下、一話)</p> <p>京師—匠名石目錄(四ノ二九〇上、一話)</p> <p>—材ツヤヤ石三ノ五二五上、石楠)</p> <p>忍池藏端溪研の圖(五ノ三二下、一話)</p> <p>●スチ 筋違 「ハシ」橋ヲ見ヨ</p> <p>●スマ すまひ草 狂歌—序(二ノ一五</p>	<p>九上、四留)</p> <p>相撲 の濫勝并許狀之寫(五ノ一七下、一話) —を晴天十日と定めし始(三ノ二八二下、半日) 享和二年童—上覽(四ノ八〇九上、一話) 寛政六年—上覽(三ノ三九九下、半日) 繪馬—人名(四ノ五六九下、一話)</p> <p>相撲田樂 (五ノ一七三下、一話)</p> <p>須磨寺 の櫻(三ノ七五九下、南畝)</p> <p>●スミ 炭 火鉢の—を次ぐ事(四ノ四四六下、一話)</p> <p>墨 書家の傳授(四ノ八七下、一話)</p>	<p>が「字」と「禁食」(五ノ五五三下、一和)</p> <p>「シユ」茶器ヲモ見ヨ</p> <p>墨染寺 山城伏見—(一ノ一三三下、玉皮)</p> <p>隅田川 武藏國—(一ノ四三四下、武江)</p> <p>—浮橋—(四七二上、武江)</p> <p>遊藝水賦序(三ノ七八一上、南畝)</p> <p>角倉了以 (四ノ七三三上、一話)</p> <p>住吉踊 (一ノ九二下、菘若)</p> <p>●スハ 寸白 といふ病名(四ノ四三二下、一話) —の治療(三ノ五六五下、百舌)</p> <p>●スハ すべてたごま といふ玩具(三ノ</p>	<p>二四二上、半日)</p> <p>●スル 鯛 鮮魚(三ノ六二九下、瓊文)</p> <p>●スン 寸白 「スハ」寸白ヲ見ヨ</p> <p>駿府城 二の丸の石碑(四ノ一三二下、一話) —四足門(四ノ六九七上、一話)</p> <p>●セイ 青雲寺 日暮里—の古碑(三ノ五三九下、石楠)</p> <p>青山堂 の記(二ノ三三六下、巴人)</p> <p>—所藏の書(四ノ七五〇下、一話)</p> <p>青特 時代遊の話をなすを—といふ(三ノ八四一上、假世)(三</p>
--	--	---	---

ノ四八〇下、俗耳)	正音郷談雑字大全 抄 (四ノ七三四上、一話)	正字通 三條(四ノ七三三下、一話)	正清院 淺野長政の室(四ノ三二六上、一話)	正燈寺 山谷の古墓(四ノ六八〇下、一話)	正福寺 鐘銘(三ノ五二三下、石楠)	惺窩文集 抄(四ノ五四四上、一話)	清書全集 といふ書(四ノ四五五下、一話)	清少納言 の撰(五ノ五〇四上、一話)	清素堂文集 といふ書(三ノ六九二上、向阿)	清文鑑 御製増訂 序(四ノ四五四上、一話)
五四上、一話)	清涼殿 の庭(四ノ三三二下、一話)	成眞寺 皇太子元服の間は(四ノ三三二下、一話)	成眞寺 江戸神田(一ノ四六二下、武江)	贅婿 の字義(四ノ六六六上、一話)	西大寺 南都(三ノ四三七上、半日)	西念寺 四谷(一ノ四四三下、武江)	聖堂 の創建(四ノ三三二上、一話)	の蔵書(三ノ五四四上、石楠)	再建に付ての前句付(三ノ八〇四下、奴風)	の替替(三ノ八〇五上、奴
風)	料に付林大學頭へ被仰渡候書(三ノ五一上、半日)	杏壇門の額(三ノ三三四上、半日)	出千(三ノ三三七下、半日)	の碑(三ノ四五九上、半日)	政治 の論(四ノ四三六下、一話)	政令 延寶八年條令(四ノ八八下、一話)	星布 松原庵(三ノ六七〇下、玉砂)	蜻冥庵 芳野の詩(四ノ四五二上、一話)	精力 百日寐ずしても氣力衰へざる法(三ノ五六八下、百舌)	●セウ の字を新に作る(三ノ五一七下、迦遊)
小機目録 (四ノ九三上、一話)	小山園 の配(五ノ三〇下、一話)	小淑 加州仰西寺(尼詩歌(五ノ四〇五上、一話)	小説 の書き様(五ノ四三九上、一話)	流行の(三ノ六七上、玉砂)	小豆島 (四ノ四六二上、一話)	小兒 が小判と石と取替し時の歌(四ノ四二下、一話)	出羽國の大兒(四ノ一九四下、一話)	喰殺(三ノ三三一上、半日)	實見殺(三ノ三二二下、半日)	の夜泣を止める法(三ノ三五一上、半日)

の五疋の藥(三ノ五七四上、百舌)	蕉窓漫筆 といふ書(五ノ三一六下、一話)	焼酎躍 長崎の(三ノ六一五上、瓊雜)	少女 産童子(五ノ二一八下、一話)	少年 の豪勇(三ノ三〇七下、半日)	童子喧嘩(五ノ五七九下、一補)	照桃 (四ノ一六七上、一話)	紹巴 里村の卒日(三ノ一三三上、半日)	消防 町火消の始(四ノ四〇六上、一話)	の長梯子(三ノ五四三上、石楠)
●セカ 瀬貝 の漢名(三ノ五三三上、迦遊)	瀬川 遊女(三ノ二五八上、半日)	松葉屋(三ノ四八三下、俗耳)	瀬川菊之丞 が代々の墓(三ノ四八八下、俗耳)	(二代目)傳(三ノ四四四下、半日)	の狂名(二ノ二二〇下、巴人)	王子路考死去(三ノ二四八上、半日)	瀬川仙魚 俳優(三ノ四三六下、半日)	瀬川路考 (五ノ四三九上、一話)	世界地圖 寛永八年(一話)
(四ノ三二二上、一話)	●セキ 赤氣 現はる(四ノ二九〇下、一話)	明和七年七月 現はる(三ノ二九九上、半日)	赤山 (四ノ一三七下、一話)	赤城義臣傳 抄(四ノ六九〇上、一話)	赤壁 といふ地五所にあり(三ノ七七九下、南畝)	石斛 (五ノ三二七下、一話)	石城府 「ハカ」博多見	石炭 長州船木の(三ノ二二七、半日)	石幢 武州普濟寺(三ノ七七三上、南畝)
下、金屑)	赤き(四ノ三八二上、一話)	石油 越後奥津の(三ノ一七七下、半日)	關新助 算術家(四ノ三六三下、一話)	關戸村 といふ地(三ノ六八七上、向阿)	關ノ孫六 の發句(四ノ二二三下、一話)	●セチ 節會の文字くさり (四ノ二一三上、一話)	●セツ 五の詩(四ノ四八六下、一話)	節儉 天明七年御檢約御觸并寛政元年再觸同六年再々御觸(四ノ八二〇上、一話)	節分 の江戸城(三ノ七二七上、金

<p>冠 長崎の—(三ノ五八三上、瓊 維) 雪山人 「キタ」北島三立ヲ見ヨ 雪舟 畫家—唐土に於てらる (三ノ七八二上、南畝) —の門人(四ノ三一九上、一 話) 雪踏 の初(三ノ三五二下、半日) 雪踏直し のテイ、といふ出 所(三ノ六八二下、玉砂) 説鈴 といふ書(三ノ五三〇上、石 楠) ●セト 瀬戸物 の名の起(三ノ三五二 上、半日) ●セナ 瀬名貞雄 の忌日(四ノ四八九 下、一話) ●セニ</p>	<p>錢瓶橋 江戸—(四ノ八二下、 一話)(一ノ四三四上、武江) 錢相場 の變遷(三ノ七三二上、 金層) 錢塚 江戸淺草寺内山口—(一 ノ四六八上、武江) 錢屋 兩替屋—(御觸)(三ノ二 五〇下、半日) ●セホ ゼネイフル といふ酒(三ノ六 二五上、瓊文) ●セフ 妾 の惡事(三ノ三二二下、半日) ●セニ 蟬 四年に—少し(四ノ二八上、 一話) ●セロ せろつぼん 「セン」織羅菊ヲ見 ●セン</p>	<p>泉涌寺 京都東山—座敷井書 畫(四ノ三三三上、一話) 泉岳寺 寛政八年高輪—開帳 井橋土遺物(三ノ四〇四上、半 日) 泉谷寺 武州小机村—(三ノ七 一〇下、向阿) 泉山景境詩歌集 抄(四ノ七 三五下、一話) 疝氣 の妙藥(三ノ五六六上、百 舌) 善光寺如來 川口—開帳(三 ノ二五二上、半日) —開帳(三ノ二八三下、半日) —内許(三ノ二八四上、半日) —開帳の繁昌(三ノ四四三上、 半日) 善立寺 の山號龍燈山の由來(三 ノ六九〇下、向阿) 千家滿緒彦 神職—の遺島</p>	<p>千字文 (四ノ八一〇下、一話) 千住大橋 (一ノ四七七上、武 江)(五ノ五九四下、一補) 千田庄兵衛 深川—が事(四 ノ八二九下、一話) 千人組 指物帳(四ノ一六三上、 一話) 千枚張 いため革の通りになる —の仕様(三ノ三八七上、半 日) 千利休 の像并寶(四ノ七〇五 上、一話) —の奇才(四ノ三七五下、一 話) —小倉色紙の添書(四ノ六八 二下、一話) 千里同風 の序(二ノ五二下、四 留) 千六本 「セン」織羅菊ヲ見ヨ</p>
--	---	---	--

<p>淺草寺 江戸淺草—(四ノ五四 五上、一話) 一ノ四六四下、 武江) 明和六年—開帳(三ノ二二五 下、半日) —千百五十年忌開帳(三ノ二 五下、半日) —奉納數石金高(三ノ二九五 下、半日) —什寶目錄(四ノ四五八上、一 話) —の鐘(五ノ三四八下、一話) (四ノ七五二下、一話) —の風雷神(三ノ七二三上、金 層) —の繪馬草をばみしといふ事 并筆者(三ノ四六二下、半日) 宣旨 兼—水—(四ノ六一 上、一話) 禪宗 和同和解(四ノ六三五下、一</p>	<p>話) 禪語(四ノ八三〇下、一話) 逸存禪錄(四ノ三六四上、一話) 船子和尙 の詩(四ノ六六六上、 一話) 仙壽院 青山—(四ノ六九六 下、一話) 仙臺萩 —演義零本(五ノ一一 六下、一話) 仙臺路考 「サク」櫻川お仙ヲ見 仙田龜鶴女 の歌(四ノ七四〇 上、一話) 仙洞御所 —御制法(五ノ五 一四上、一話) —御移徒行列(三ノ六〇、半 日) —御幸始行列(三ノ六六、半 日) 仙人 上利姫(三ノ七五七上、南</p>	<p>歌) 仙波北院 (四ノ五九六下、一 話) 全浙兵制 といふ書(四ノ五九 三上、一話) 全芳備祖 といふ書(四ノ五九 上、一話) 踐祚 安永八年—(四ノ三三三 下、一話) 戰爭 陣中にて思むべきもの(四 ノ六二六上、一話) 陣中の火(四ノ六二六上、一話) 軍陣の働には素肌能し(五ノ三 四上、一話) 敵の首を取る事に就て(四ノ六 二六上、一話) 「カイ」凱旋「シツ」出陣ヲモ 見ヨ 喘息 の治療(五ノ三五上、一話) 梅檀樹 後樂園の赤—并圖(四</p>	<p>ノ三〇四下、一話) 沾徳 「ミツ」水間沾徳ヲ見ヨ 川柳 「キヤ」狂句ヲ見ヨ 川柳 初代柄井—の卒日(四ノ 三三二下、一話) 織羅菊 (四ノ二一〇下、一話) ●ソウ 僧 寛永頃の—侶の風俗(四ノ八 四〇下、一話) —日本七寺—の數(四ノ四四〇上、 一話)(三ノ七七五下、南畝) —足利時代五山の—の學問(三ノ 七八二上、南畝) —御仕置(三ノ四三三下、半日) —平鹽寺住職家來殺(三ノ二七三 下、半日) —の狂言(四ノ一九三上、一話) 僧綱 ありたて衣を—といふ</p>
---	--	--	---

僧服 着りたて衣(四ノ四七下、一話) 宗鑑 「ヤマ」山崎宗鑑ヲ見ヨ 宗祇 の「世にふるも」の句(三ノ七四三上、南畝) 宗對馬守 の長刀御免(四ノ七四六上、一話) 宗澄 歌入(四ノ三八五上、一話) 宗長 「サイ」柴屋軒宗長ヲ見ヨ 宗長寺 上野(四ノ四六八下、一話) 増上寺 芝(一ノ四四九下、武江) ——と本願寺公事答書(三ノ二七五下、半日) ——中羅漢石井影向石の銘(三ノ五二三上、石楠) ——の鐘(五ノ三四九上、一話)	惣領御番入 人名(三ノ二九上、半日) ——書付(三ノ二六二下、半日) ●ソカ 會我記 といふ書(四ノ二五〇下、一話) 會我兄弟 祐成時宗の父始末書(三ノ七六下、半日) 會我禪師房 越後國曼荼羅寺の故跡(五ノ一三四下、一話) 會我物語 富士山本門寺(五ノ一八五下、一話) ●ソク 即位 左傳慶元(一説(四ノ四九三上、一話) ——明和八年禁裡御(三ノ二二三下、半日) ——安永九年御(四ノ三三三下、一話) 俗謠 しほり萩の歌、小五月合の	歌(三ノ六一七上、瓊雜) 男女の丁場唄(三ノ六七二下、五砂) 鎌倉時代の(三ノ七四六上、南畝) 聚樂城の時の(三ノ七四七上、南畝) 京都祇園の(四ノ二九二上、一話) 紀州熊野浦の(三ノ六二一上、瓊文) ——漢譯(三ノ七六五下、南畝) 「チャ」茶摘歌ヲ見ヨ 續群書類從 合戦部目錄(五ノ三七二下、一話) 續檜窩文集 抄(四ノ五二六上、一話) 續百鬼夜行 の序(二ノ五七上、四留) 素觀道人 の傳(三ノ一八二下、	●ソシ 半日) 祖師御書 重刻一序(四ノ六〇一上、一話) 訴訟 小兒小判と石と取替し時の訴狀(四ノ四二下、一話) 楚俊 の詩(四ノ四八上、一話) 十代田 のよみ方(四ノ二二三上、一話) ●ソセ 蘇生 高木久八(五ノ五七八下、一補) 左官庄八(四ノ三六三下、一話) 祖稅 古今取箇の大概(四ノ六六二上、一話) 二分三分(四ノ四七上、一話) 支那の(三ノ三四七下、半日) ●ソチ
--	---	---	---

素女妙論 といふ書(四ノ六二下、一話) 蘇沈良方 といふ書(三ノ三三七下、半日) ●ソツ 即功紙 の傳(三ノ五七三下、百舌) ●ソテ 袖 清人衣の一名(三ノ六一二下、瓊雜) 袖口 かつし初(三ノ三五一上、半日) ●ソト 素讀 といふ事(四ノ二二二下、一話) 外櫻田門 の尊請(三ノ二四五下、半日) 卒塔婆 宇都宮殿(三ノ一七六上、半日) ●ソハ	蕎麥 の肥(三ノ六八二上、五砂) 享保元年(一)式(五ノ一六七下、一話) 大名けんどん(四ノ五七三下、一話) むし——の價(四ノ五三八下、一話) 豆腐——の毒を解す(三ノ八〇八下、瓊風) 道光庵——禁制(四ノ八七下、一話) 蕎麥切稻荷 深川八幡——の繁昌(三ノ四四〇下、半日) 蕎麥粉 の毒(三ノ二二六下、半日) 蕎麥屋 本町に——出来る(三ノ二八二下、半日) ●ソニ ソ民將來 信濃國分寺(四ノ七〇四上、一話)	●ソメ 染木甚太郎 書上(四ノ七四五上、一話) 染物 太閤染、高靈寺染(四ノ三三七下、一話) お駒染(三ノ二五八下、半日) 藍返し染(三ノ二五九下、半日) 紅花染仕様(三ノ五七二下、百舌) 染屋村 といふ地(三ノ六八七上、向阿) ●ソロ 曾呂利新左衛門 の頓智(三ノ三九七上、半日) ●ソソ 存義 俳人——の住居(三ノ八四六上、假世) 俳人——の凶句(四ノ七四〇下、一話) 尊觀法親王 遊行十二代上人	(三ノ一一九下、半日) 檜枕居士 の蘇(四ノ五三二下、一話) ●タイ たいげんあやめ 「ソシ」愚者ヲ見ヨ 大工 明暦三年江戸——の工賃(四ノ三二三下、一話) 大猷院 靈廟橋夫(三ノ四七五下、瀬田) 大間抄 といふ書(五ノ五三〇上、一補) 大黒講 (四ノ二二二下、一話) 大黒しめぢ といふ草(三ノ六八六上、向阿) 大黒天 涼嶺——像(四ノ七三三下、一話) 寄——祝(二ノ三三三上、四句)
--	---	---	--

大藏經 綠山三—綠起(五ノ四二九上、一話)	大佛殿 京都—燒失(三ノ五三三上、半日)	大力 伊豫德猪之盛并入江大藏之巫の—(五ノ一六一上、一話)	對雪家稿 —抄(五ノ三三〇下、一話)
大清摺紳全書 二板あり(三ノ五三四上、石楠)	棟札寫(三ノ四五八下、半日)	代官 へ御下金書付寫(三ノ一六八上、半日)	臺場 —取建(四ノ五四〇下、一話)
大成殿 の棟木(三ノ七〇下、半日)	建設費用(四ノ三九九上、一話)	手代へ被仰付候書付(三ノ一三五上、半日)	臺灣軍談 といふ書(三ノ一八一上、半日)
大抵御覽 の序(三ノ二六六下、巴捨)	大御堂寺 尾州野間—(四ノ一五七上、一話)	太鼓 江戸の—上方の—(三ノ七二三下、金層)	●夕ウ
大廟和尙 の詩(三ノ五五二下、百舌)	大名 上方—は石垣、關東—は堀淺(三ノ三五六上、半日)	太宗 清の—(四ノ三〇二下、一話)	田植唄 各所の—(四ノ三八三下、一話)
大德寺 紫野—(四ノ三三八下、一話)	打物を持つ諸侯(四ノ七四五下、一話)	太平 升平の代(三ノ七六九上、南畝)	陶淵明 の詩(四ノ六七二上、一話)
大八車 の始并其名の起(三ノ三五二下、半日)	御役人役者評判(三ノ二九四下、半日)	太平棒 の圖并發(四ノ五五四上、一話)	陶器 を瀬戸物といふ(三ノ七五一上、南畝)
大般若經 (四ノ七九三下、一話)	大彌勒院 「シャ」錫杖寺ヲ見ヨ	太平樂卷物 の序(二ノ五三三下、四留)	唐津古—譜(五ノ二九五上、一話)
大夫 といふ名(三ノ八三〇上、假世)	大文字 東山—(四ノ三三四上、一話)	太陽 日輪横に没す(三ノ三二四上、半日)	「ラク」樂燒「セト」瀬戸物ヲモ見ヨ
	大文字屋市兵衛 「カホ」加保茶元成ヲ見ヨ	對山集 といふ書(四ノ五三九上、半日)	唐椒 の我國へ渡りたる初(三ノ三五〇下、半日)

唐招提寺 の金堂彩色の銘(三ノ五三四上、石楠)	道本禪師 の歸化(四ノ六七二下、一話)	盜賊 辻強盜(三ノ三二二下、半日)	定家—三百首抄(四ノ五三六下、一話)
唐々泰 といふ熟語(五ノ四四二下、一話)	峠 といふ字(四ノ七二三下、一話)	大塚幸次郎一件(三ノ三二七下、半日)	應匠 —竹刀銘(四ノ一六四上、一話)
道具 (四ノ三八二上、一話)	刀劍 ミツマキ(四ノ一九七下、一話)	青山宮様御門前—(三ノ三二五下、半日)	高井宣風 の歌(四ノ四七七上、一話)
器具を—といふ(三ノ七四八下、南畝)	イグヤキ、みだれヤキ(四ノ一六七上、一話)	代官町道はぎ(三ノ三〇四上、半日)	高尾 遊女初代—(三ノ四七〇下、瀬田)
道光庵 淺草—(四ノ八七下、一話)	友切、鹿切、膝丸、鬼丸、蜘蛛、獅子の子、吼丸、小鳥踏—の由緒(三ノ四〇八上、半日)	四谷千日谷道はぎ(三ノ三〇四下、半日)	萬治—の柳(五ノ一七三下、一話)
道灌山 武藏國—(二ノ四九二下、武江)	鷹匠竹刀銘(四ノ一六四上、一話)	竹橋御藏殿砲—(三ノ二五九上、半日)	朱梳肥(二ノ九下、四あ)
道三橋 江戸—(二ノ四三四上、武江)	漁父所翹太刀(四ノ三七九下、一話)	奇談(三ノ三〇五下、半日)	の舞句(五ノ三七四下、一話)
道成寺 謡曲—の故事(五ノ五九〇上、一補)	脇差の小刀を研、時日(三ノ一八二二三下、假世)	の歌(五ノ五〇九上、一話)	の文(四ノ一〇六上、一話)
中村座—の狂言(三ノ二七三下、半日)	大石主税の刀(三ノ一七七下、半日)	「カイ」海賊ヲモ見ヨ	の墓(二ノ四六四上、武江)
道場法師 の傳(三ノ七八七下、南畝)	●夕カ	鷹 鷹の記(二ノ三〇七上、萬紫)	高桑雲元 醫師—家系(三ノ一五一上、半日)
道富丈吉 雜種兒—由緒書(五ノ一八二上、半日)	鷹 鷹の記(二ノ三〇七上、萬紫)	の書類(五ノ五三〇上、一補)	一家の奇蹟(三ノ一五二上、半日)
	高倉屋敷 八代洲河岸の—(三ノ一八二上、半日)		

ノ五二九下、石楠)	高田専修寺 の系圖(三ノ二〇三、半日)	高宮維齋 (四ノ一四六上、一話)	高山彦九郎 (四ノ三四四上、一話)	高笑 の序(二ノ二六八上、巴指)	多賀城碑 「ツホ」遺碑ヲ見ヨ	多賀常政 家藏珍奇目録(四ノ一五下、一話)	鐵力木 (四ノ五二九下、一話)	寶市 住吉の(一ノ二〇上、叢若)	寶の山に入りながら と云	寶船 — 禁中より出る(四ノ三二九下、一話)	財源福渡 の序(二ノ二八三上、千紅)																
●タキ	打櫓 (四ノ二六五上、一話)	瀧のつたひぶし (四ノ三六五上、一話)	●タケ	澤庵和尚 の語(四ノ一四四下、一話)	澤庵漬 の初(三ノ三五〇下、半日)	●タケ	竹 僧光謙祕密一記(五ノ二九六下、一話)	竹 方(四ノ六七二下、一話)	竹町 淺草—の橋路晴(三ノ二五四上、半日)	竹本安藝守 の自書(三ノ二九三下、半日)	竹本住太夫 の俗稱(三ノ四八五下、俗耳)	竹本文正 の傳(一ノ七七上、叢若)	竹本政太夫 の傳(二ノ二六上、四角)	武川衆 — 文書(四ノ七四二)													
五四上、半日)	「オホ」大川橋ヲモ見ヨ	竹に虎 といふ勝(三ノ六六九上、玉砂)	竹之丞寺 の由來(三ノ四七七上、瀬田)	竹村武藏 劍士(五ノ三六上、一話)	竹本安藝守 の自書(三ノ二九三下、半日)	竹本住太夫 の俗稱(三ノ四八五下、俗耳)	竹本文正 の傳(一ノ七七上、叢若)	竹本政太夫 の傳(二ノ二六上、四角)	武川衆 — 文書(四ノ七四二)	武田勝頼滅亡記 の著者(四ノ六〇六上、一話)	武田信玄 と禪僧の問答(四ノ四二九下、一話)	飯宮信綱より差出したる目安に付—より返附(三ノ三八三上、半日)	武田信松院 の墓(一ノ三二八下、綱布)	武内宿禰 の名(四ノ三三八上、一話)	武林唯七 赤穂義士—(四ノ六九二上、一話)	武田信松院 の墓(一ノ三二八下、綱布)	武内宿禰 の名(四ノ三三八上、一話)	武林唯七 赤穂義士—(四ノ六九二上、一話)	武田信松院 の墓(一ノ三二八下、綱布)	武内宿禰 の名(四ノ三三八上、一話)	武林唯七 赤穂義士—(四ノ六九二上、一話)	武田信松院 の墓(一ノ三二八下、綱布)	武内宿禰 の名(四ノ三三八上、一話)	武林唯七 赤穂義士—(四ノ六九二上、一話)	武田信松院 の墓(一ノ三二八下、綱布)	武内宿禰 の名(四ノ三三八上、一話)	武林唯七 赤穂義士—(四ノ六九二上、一話)

蚰 豊後府内邊にて「を」替文に書入れる(三ノ一二七下、半日)	多胡碑 上野國—全圖(三ノ四二二上、半日)	●タサ	太宰春臺 の畧傳(四ノ四六〇下、一話)	の居所(四ノ四六一上、一話)	の行狀(三ノ八三七下、假世)	の詩評(五ノ四四〇上、一話)	获生祖孫—贈答(三ノ八二五下、假世)	賤行詩(四ノ六八二下、一話)	の法號(三ノ一〇七下、半日)	但馬國 の大畧(三ノ二八九下、半日)	●タタ	人排 の變(三ノ七二上、半日)	多田權現 攝津國—(四ノ三六四下、一話)	多田順女 才人—(五ノ五九四下、一補)	疊屋 明曆三年江戸—の工賃(四ノ三一四上、一話)	●タチ	立花出雲守 — 一件(五ノ五八〇下、一補)	橘千蔭 「カト」加藤千蔭ヲ見ヨ	調布 の古石臼(三ノ六九八上、向阿)	辰巳屋物兵衛 の傳(四ノ五七〇下、一話)	辰巳屋平兵衛 の殺牟并墓(一ノ五八下、叢若)	●タテ	豎川 江戸—(五ノ二六四上、一話)	立川宮内大輔 の城跡(三ノ六九七下、向阿)	伊達騷動 の舊記(四ノ四七三下、一話)	伊達綱村 の義言(四ノ六九〇下、一話)	伊達政宗 の書簡(四ノ四六四下、一話)	蒲生源左衛門に服す(四ノ四一九下、一話)	の和歌(三ノ七二下、半日)	伊達吉村 — 民を愛す(四ノ七二五下、一話)	●タネ	種柿 といふ戯(三ノ七五一上、楠畝)	棚 竹—百貨肆の圖(四ノ三〇六下、一話)	田中丘隅 の奇智酒匂川の水を防ぐ(四ノ七〇〇上、二話)	谷風棍之助 力士—が事(三ノ四八三下、俗耳)	—逸話(三ノ八四一上、假世)	谷左仲 の平常(三ノ八四二下、假世)	●タヌ	狸 の圖(二ノ七〇下、四留)	田沼意次 の履歷(四ノ五五五下、一話)	田沼意行 の履歷(四ノ五五五下、一話)	種柿 といふ戯(三ノ七五一上、楠畝)
--------------------------------	-----------------------	-----	---------------------	----------------	----------------	----------------	--------------------	----------------	----------------	--------------------	-----	-----------------	----------------------	---------------------	--------------------------	-----	-----------------------	-----------------	--------------------	----------------------	------------------------	-----	-------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------	------------------------	-----	--------------------	----------------------	-----------------------------	------------------------	----------------	--------------------	-----	----------------	---------------------	---------------------	--------------------

<p>●タノ</p> <p>頼母子講 (四ノ三二一上、一話)</p> <p>無盡(三ノ七五一上、南畝)</p> <p>●タハ</p> <p>煙草 の我國へ渡りたる初(三ノ三五〇下、半日)</p> <p>禁制(四ノ九上、一話)</p> <p>煙戒(五ノ三四三下、一話)</p> <p>戲答悪煙酒文(五ノ三三三上、一話)</p> <p>—の毒井七種の異名(四ノ四二六上、一話)</p> <p>壓元和尙—を喫せず(四ノ四四二上、一話)</p> <p>煙草入 江口の君が(三ノ八二四下、假世)</p> <p>煙草盆 —百器(四ノ六〇三下、一話)</p> <p>俄 の字(三ノ七五三上、南畝)(五ノ四一三上、一話)</p>	<p>●タヒ</p> <p>足袋 木綿—の始(四ノ一〇下、一話)</p> <p>禁中—を禁ず(四ノ三三三下、一話)</p> <p>平泉清 悪七兵衛—(三ノ四〇九下、半日)</p> <p>—の碑(四ノ三三五上、一話)</p> <p>平清盛 の法名(三ノ七六九上、南畝)</p> <p>平維盛 が隠遁の地(五ノ五四二下、一補)</p> <p>平重盛 の首器(四ノ六二五下、一話)</p> <p>—育王山へ砂金をおくりたる時の跡取(四ノ四八上、一話)</p> <p>平資盛 が事(三ノ七六九上、南畝)</p> <p>平忠度 の腕塚(三ノ七四九上、一話)</p>	<p>南畝)</p> <p>平将門 の首器(四ノ六二五下、一話)</p> <p>—内裏の跡(四ノ三四八下、一話)</p> <p>—の塚(三ノ七四九上、南畝)</p> <p>●タフ</p> <p>田文 (四ノ二五下、一話)</p> <p>●タマ</p> <p>たまれ粉雪 (三ノ七四六上、南畝)</p> <p>玉川 心田にひきし事(三ノ六九五上、向岡)</p> <p>—に遊ぶの記(一ノ三三上、三巻)</p> <p>玉川上水 (二ノ四四三下、武江)</p> <p>—の始(三ノ四六四下、半日)</p> <p>玉菊 遊女—が傳(五ノ一四三下、一話)</p>	<p>玉の浦 長崎—の歌(三ノ五六五上、百舌)</p> <p>玉藻 による所 島(四ノ四三五上、一話)</p> <p>玉藻前 の考(四ノ五六六下、一話)</p> <p>徂徠—賛(四ノ四五三下、一話)</p> <p>玉吉明神 白山—(四ノ五九二下、一話)</p> <p>球突 阿闍陀—の戯(三ノ六〇三下、環雜)</p> <p>●タム</p> <p>田蟲 を願ふ見(三ノ六六一下、玉砂)</p> <p>田村左京大夫 の淺野大學へ遺すの書(四ノ六四三下、一話)</p> <p>●タモ</p> <p>多門院 —日記(四ノ四六二</p>
--	---	--	---

<p>下、一話)</p> <p>●タヤ</p> <p>田安御殿 のくせもの(三ノ一六七上、半日)</p> <p>●タラ</p> <p>太郎稻荷 淺草立花邸内—(四ノ八〇三上、一話)</p> <p>陀羅尼輔 といふ藥(四ノ三六六上、一話)</p> <p>●タリ</p> <p>たり といふ魚、サメ、蚊ナ見ヨ</p> <p>●タル</p> <p>達磨 背面—賛(二ノ一六上、四巻)</p> <p>—番贊(二ノ三一八上、萬葉)</p> <p>—の賛(二ノ七上、四巻)</p> <p>達磨忌 十月五日付—に非ず(三ノ七三四下、金屑)(三ノ七七七上、南畝)</p> <p>樽三ぶ 料理人—(四ノ六一</p>	<p>下、一話)</p> <p>樽屋 町年寄—由緒傳(五ノ五八五下、一補)</p> <p>樽屋與右衛門 の傾減(三ノ一六七上、半日)</p> <p>●タン</p> <p>譚友夏 の愛花(四ノ五三九下、一話)(三ノ七五三下、南畝)</p> <p>且過僧 といふ事(四ノ四五二上、一話)</p> <p>端午 に轡を立つる事(四ノ四八三上、一話)</p> <p>—に兜を飾る事(四ノ四八三下、一話)</p> <p>藥玉(三ノ二二二下、半日)</p> <p>中人形商賣御免(五ノ三二〇下、一話)</p> <p>大阪—の風(二ノ三八六上、尺版)</p> <p>長崎の五月轡(三ノ六一三下、瓊</p>	<p>雜)</p> <p>唐製の粽(三ノ六一四上、瓊雜)</p> <p>初織銘(二ノ四二下、四巻)</p> <p>團子 黍—(三ノ二七四上、半日)</p> <p>彈左衛門 の由緒(四ノ七八二下、一話)(五ノ二五一上、一話)</p> <p>短冊 玉川浮木摺—(三ノ六六九上、五砂)(三ノ六八六下、向岡)</p> <p>談州樓馬場 「ウテ」烏亭馬場ナ見ヨ</p> <p>談州樓ととし咄會 の序(二ノ一上、春夏)</p> <p>誕生 竹千代—に付禁裡より御祝儀物(三ノ一十下、半日)</p> <p>段尻 の事(二ノ一〇二下、葉若)</p> <p>淡々 俳人—の隨筆(三ノ八四五上、假世)</p>	<p>檀特山 の事(三ノ六二九上、瓊又)</p> <p>斷林磨念佛 の縁起(四ノ二五八下、一話)</p> <p>●チウ</p> <p>中將姫 が山居器(四ノ三六七上、一話)</p> <p>中尊寺 陸奥國平泉—鐘銘(五ノ一三五下、一話)</p> <p>忠臣 生駒家士眞鍋彌助(四ノ四二〇下、一話)</p> <p>忠臣藏狂詩集 (五ノ三三六上、一話)</p> <p>忠僕 大工三次郎(三ノ一四四上、半日)</p> <p>—市兵衛が事(三ノ二二二下、半日)</p> <p>●チカ</p>
--	--	--	--

近松門左衛門

の文井略傳(三ノ八一五下、假世)

一の發句(四ノ二二三下、一話)

— 鶴文評(三ノ四八七上、俗耳)

— 获生祖徠—を評す(五ノ四三九下、一話)

— の死日(四ノ二二二上、一話)

力持 女—柳川ともよ(三ノ二六〇上、半日)

●チキ

千木 —カッホ木(三ノ一一二上、半日)

運供(四ノ二二二上、一話)

●チク

竹枝歌 コキリコ、ムギツキウ(四ノ六六七上、一話)

竹林院 京都—八つの窓の園

地口 (四ノ六七四上、一話)

— 變じて器路となる(三ノ八二六上、假世)(三ノ四七九下、俗耳)

●チコ

兒が淵 江の島—(三ノ七六一上、南畝)

— の來歴(四ノ五九二上、一話)

●チサ

地藏 淺草六—の石燈籠(四ノ一一二下、一話)

石—の庵(三ノ二七四下、半日)

— 造酒—の開帳(四ノ四五二上、一話)

●チシ

地震 寛文二年日向綱—(四ノ二九四下、一話)

寛文三年蝦夷松前—(四ノ二九五下、一話)

九五下、一話)

元禄十六年—井津浜(五ノ五二七上、一補)

安永二年—(三ノ二五〇下、半日)

安永三年—(三ノ二五五上、半日)

佐渡國—一件(四ノ八二二下、一話)

肥前島原—(三ノ八四上、半日)

秋田雄鹿大—(三ノ二〇七下、半日)

美濃近江伊勢—(三ノ三二四上、半日)

●チチ

爺か井 奥州大槻村—「イト」井戸ヲ見ヨ

●チト

千鳥蘭 といふ草(三ノ六一九上、半日)

下、瓊文)

●チノ 千野氏—家譜(三ノ三七九下、半日)

●チハ 千葉守胤—の墓(三ノ四六三下、半日)

●チフ 痔佛—秋山自雲(一ノ四六三下、武江)

●チマ 粽 唐製—(三ノ六一四上、瓊雜)

●チヤ 茶 關—(三ノ七五一上、南畝)

—を植付たる初(三ノ三五〇下、半日)

本非(四ノ八二上、一話)

茶膏—の醜票(四ノ六〇四下、一話)

茶釜 柳營—(三ノ五二七下、石楠)

五七桐の紋—(四ノ三八二下、一話)

茶々興祭 貴船—(四ノ一六五下、一話)

茶摘唄 宇治—(四ノ四七上、一話)

茶の湯 浪茶薄茶之式(五ノ三四四上、一話)

露地の草履(五ノ三四七下、一話)

百座の數寄の事附別覽が事(五ノ二六〇上、一話)

細川三齋の茶菓子(五ノ三三上、一話)

尾張殿—(四ノ三一八上、一話)

天正十八年於有馬—の次第(四ノ三二九上、一話)

寛永二年御所様駿河大納言様被爲成候時の—(四ノ三二八上、一話)

茶番 といふ名の起原(三ノ四八一上、俗耳)

茶船—を作らしたる始(三ノ三五二下、半日)

茶店—に般若の面をかかげしてしとせる事(三ノ八〇八上、奴風)

長元記—といふ書(三ノ七五五上、南畝)

長五郎坊主—の火刑(三ノ二四二上、半日)

長壽—の香へ御褒獎(五ノ五七七下、一補)

—者姓名(四ノ八六下、一話)

長生花林抄—といふ書(三ノ八〇四上、奴風)

長曾我部盛親—の最期(三ノ四二二下、半日)

四二二下、半日)

長命水 牛嶋長命寺—(一ノ四八六下、武江)

長樂寺 常陸國—(四ノ三四五上、一話)

張瑞圖—畫家—(四ノ七五下、一話)

帳中香—抄(四ノ六六四上、一話)

挑灯—の籠(四ノ七四二上、一話)

町人—江戸—へ御金被下(三ノ一〇三下、半日)

御用金被仰付候—(三ノ一三四下、半日)

—能書(三ノ三〇七上、半日)

—帶刀の制禁(五ノ五一六下、一話)

●チヨ

猪牙船—「チヤ」茶船ヲ見ヨ

汝圭—畫家—畫師(三ノ一八三上、半日)

上、半日)

勅使—御對顔(三ノ二四九下、半日)

勅撰名所和歌集—といふ書(三ノ一八五下、半日)

徐福—秦—化鶴(四ノ三六二下、一話)

除夜—甲州—木を切る事(五ノ五六〇上、一補)

●チレ 治療—寸白—(三ノ五六九下、百舌)

—廣惠濟急方(三ノ一〇六上、半日)

—痘瘡—(三ノ五六九下、百舌)

—面皰—(三ノ五六九下、百舌)

—頭痛止方(三ノ五七四上、百舌)

—腸の出たる—(五ノ三五上、一話)

喘息の——(五ノ三五一上、一話)
 陰門へ蛇入りたる時の——(五ノ三六下、一話)
 耳病の——(五ノ三六下、一話)
 「クス」藥劑ヲモ見ヨ

●チツ
 地黄坊樽次 其事蹟考附る。とば(四ノ五五九下、一話)

●チン
 狎 の名(三ノ四九二下、俗耳)
 沈楮世 の詩(三ノ三三六上、半日)

陣笠 (三ノ一三二下、半日)
 陣羽織 九鬼家船手——(三ノ八三下、半日)

珍書 青山堂所藏の——(四ノ七五〇下、一話)
 「シロ」書籍ヲモ見ヨ

珍重坊道安 が傳(五ノ二二七下、一話)
 陳白沙 の愛花(四ノ五三九下、一話)(三ノ七五三下、南畝)

●ツウ
 通言無茶揃 の序(二ノ五六下、四留)

●ツエ
 杖 論(四ノ五〇二下、一話)
 龍虎梅竹の——(三ノ一六八下、半日)
 肥里——(四ノ三七三上、一話)
 秩翁施箭詩(四ノ四四〇下、一話)

●ツカ
 塚越菜陽 (二三次)が狂言の作(三ノ四八一上、俗耳)
 冢田虎 が奉白川侯文(三ノ一五三上、半日)

津輕越中守 の叙位(三ノ六五六上、玉砂)
 都賀六藏 (五ノ三一八下、一話)

●ツギ
 月 星貫——(四ノ三四九下、一話)(三ノ三二八下、半日)
 一五車を犯す(四ノ二二七上、一話)
 月の糞 「イシ」石ヲ見ヨ
 月見 の説(二ノ一七下、四あ)
 一のことば(二ノ三四上、四あ)
 一の供物(三ノ三二二上、半日)
 菫中の月をめぐる首葉(二ノ六三上、四留)
 信濃國の——(三ノ三〇二下、半日)

●ツク
 机 按(三ノ一九上、半日)
 机塚 京傳——(五ノ二五八下、一話)
 四方眞顔——に詣てよめる長歌(五ノ二五九下、一話)
 筑紫記 といふ書(三ノ一八五上、半日)
 筑波山 (五ノ五四六下、二補)
 佃渡船 の轉覆(三ノ三二五下、半日)
 木兎引 の贊(二ノ二六下、四あ)
 圖書 の誤(四ノ四四一上、一話)
 ●ツク
 黄揚 朝熊——(四ノ七四下、一話)

●ツシ
 辻 といへる字(四ノ四三六上、一話)
 辻番所 高朝——の始(三ノ四六六下、瀬田)

●ツテ
 對馬國 の有様(三ノ三四八上、半日)
 ——の婦人の眉(四ノ二八六上、一話)

●ツツ
 躑躅 の事々々し書(三ノ八〇四上、奴風)
 鼓 漢銅——(三ノ五三六下、石楠)
 鼓の作者(四ノ一六七上、一話)
 葛籠 等々張る糊の法(三ノ三八七下、半日)

●ツホ
 津戸左次兵衛 の御替(四ノ七五上、一話)
 ●ツナ
 海嘯 三枝の音にて——を豫知す(三ノ八八五下、假世)
 元祿十六年地震并——(五ノ五二七上、一補)
 尾州大風——(三ノ一〇八下、半日)
 肥後國熊本——(三ノ八五下、半日)

●ツネ
 常八村 といふ地名(三ノ六八七上、向阿)

●ツハ
 椿 吉祥寺跡の——(四ノ四二二下、一話)
 燕 秋田白——(五ノ五五三上、一補)

●ツメ
 壺 梅一梨一等(四ノ九二下、一話)
 壺 河州文野郡より掘出せし金——(四ノ一四七上、一話)
 壺碑 多賀城碑(三ノ四二二下、半日)

●ツマ
 局 後桃園院の時の御——(四ノ三三三上、一話)
 妻戀 江戸——(二ノ四七六下、武江)
 妻戀稻荷 (二ノ四七六下、武江)(四ノ四四九下、一話)

●ツム
 紬 山繭——機織の事(三ノ五六六上、百舌)

●ツネ
 津村宗庵 の略傳(四ノ四四一上、一話)
 梅雨 (五ノ三六三上、一話)

●ツル
 釣狐 能狂言——の起(四ノ三七三下、一話)
 釣船清次 が事(三ノ八六下、半日)

●ツル
 鶴 鶴郡鶴羽記(四ノ三六二下、一話)
 鶴岡八幡宮 相州鎌倉——炎上(事記(五ノ四七二上、一話))
 鶴龜 の歳(四ノ四三四上、一話)
 鶴郡 甲斐國——(四ノ三六二下、一話)
 鶴澤蟻風 の墓(三ノ五〇四上、俗耳)
 鶴の丸 の紋(三ノ一〇四下、半日)
 鶴見 の饅頭屋(三ノ六六一上、玉砂)
 鶴見川 の水源(三ノ七〇三下、一話)

<p>向阿 (一話)</p> <p>●ツン</p> <p>づんぎり といふ茶具(四ノ二一〇下、一話)</p> <p>蠶蛭子 今宮の(一ノ六三下、蒸着)</p> <p>●テア</p> <p>出合茶屋 果高(三ノ五四三下、石楠)</p> <p>手網笠 にて可相勤との事(四ノ七一四下、一話)</p> <p>●テイ</p> <p>定家鷹三百首 抄(四ノ五三六下、一話)</p> <p>定光院 高野—僧の言(四ノ四二二上、一話)</p> <p>定林寺 筑後國三池郡—(四ノ七八七上、一話)</p>	<p>郢曲撰要 — 目錄(四ノ四九〇上、一話)</p> <p>鄭成功 の書簡(五ノ三三八下、一話)</p> <p>締息 僧—の著書(五ノ五四四下、一補)</p> <p>貞女 — るん(四ノ六七五下、一話)</p> <p>貞柳 油煙齋—が慕(一ノ七四上、蒸着)</p> <p>艇板 「フネ」船ヲ見ヨ</p> <p>●テウ</p> <p>湖州府 韓退之の流されしといふ—(四ノ四六六上、一話)</p> <p>朝鮮 — 試官契合圖寫(五ノ四二八上、一話)</p> <p>— 征伐役と交通の事(五ノ二二〇下、一話)</p> <p>— との國交(四ノ七二六上、一話)</p>	<p>話)</p> <p>清朝と—との交情(三ノ五一五下、遊遊)</p> <p>— 諺文(四ノ七五一上、一話)</p> <p>元文金銀吹替の時宗對州(被仰渡御書付(四ノ七三三下、一話)</p> <p>— 王奉日本國王并徳川氏の復文(三ノ一八六下、半日)</p> <p>— 人來聘日記(三ノ七五六下、南畝)(四ノ五八九上、一話)</p> <p>— 信使列名(五ノ一〇九下、一話)</p> <p>— 信使三付國役金(五ノ五八二下、一補)</p> <p>— 人來聘一件(五ノ五三二下、一補)</p> <p>— 人來朝人馬(四ノ五〇下、一話)</p> <p>— 正徳辛卯韓使書翰并復書(四ノ二二三下、一話)</p>	<p>四三下、一話)</p> <p>同年韓使來聘三付御觸(四ノ四四上、一話)</p> <p>天明八年—(被遣候書翰(四ノ二四八上、一話)</p> <p>同返翰(四ノ二四九上、一話)</p> <p>文化八年—國往復書翰(五ノ二八三下、一話)</p> <p>— 人へ御返翰の紙直段(五ノ五七九上、一補)</p> <p>— 人射襲興行(三ノ四三四下、半日)</p> <p>朝鮮役 高橋主膳朝鮮よりの書翰(四ノ二四五下、一話)</p> <p>超波 俳人—の素行(三ノ八二一上、假世)</p> <p>●テカ</p> <p>出代 奉公人—の日記(三ノ六六二下、玉砂)</p> <p>●テク</p>
--	--	---	--

<p>てくのぼらう といふ言葉(五ノ五四三下、一補)</p> <p>●テコ</p> <p>てこずる といふ語(三ノ二七〇下、半日)</p> <p>●テツ</p> <p>鐵網珊瑚 — 抄二條(四ノ七二〇下、一話)</p> <p>鐵牛和尚 の古跡(三ノ六九七下、向阿)</p> <p>鐵脚 といふ鳥(三ノ五二三上、遊)</p> <p>鐵石軒吉久 長壽者—(三ノ八二五下、假世)</p> <p>鐵槌子 「イン」陰聲ヲ見ヨ</p> <p>鐵砲 我國に—の術行はれし始(三ノ三五三下、半日)</p> <p>— の功(四ノ六〇九下、一話)</p> <p>— 武人砲術を捨つべからず(四ノ六一一上、一話)</p>	<p>家康 — 七挺(四ノ二二八上、一話)</p> <p>竹橋御殿 — 盜賊(三ノ二五九上、半日)</p> <p>鳥銃(五ノ二七下、一話)</p> <p>●テン</p> <p>蝶 の標(三ノ七三四上、金層)</p> <p>●テハ</p> <p>斗香 といふもの(三ノ二二二上、半日)</p> <p>●テラ</p> <p>寺 の名(四ノ四三二上、一話)</p> <p>— 「シイ」寺院ヲ見ヨ</p> <p>寺川郷談 といふ書(四ノ六〇五下、一話)</p> <p>寺坂吉右衛門 赤穂義士—書狀(四ノ六四三上、一話)</p> <p>●テニ</p> <p>田阿子 の素行(三ノ八二七上、假世)</p>	<p>田樂 豊島屋の—(三ノ七二三上、金層)</p> <p>田樂躍 王子の—(四ノ六八三下、一話)(一ノ四六二下、武江)</p> <p>田樂法師 の初(三ノ三五〇下、半日)</p> <p>天一坊 が事(三ノ四七四下、瀬田)</p> <p>天恩山問答記 (三ノ三三六下、半日)</p> <p>天氣 長崎江戸大阪三所の—比較(三ノ五八七上、瓊雜)</p> <p>天狗 (五ノ五九四上、一補)</p> <p>愛宕—の妖(三ノ二四八上、半日)</p> <p>天狗隠し 仲間—に遇ふ(三ノ七一上、半日)</p> <p>天狗爪 能州石動山—(四ノ四二二下、一話)</p>	<p>天現寺 麻布—の石燈籠(五ノ三五〇上、一話)</p> <p>天秀和尚 豊臣秀頼姫君東慶寺二十世—(四ノ七八二上、一話)</p> <p>天神 「テン」天満宮ヲ見ヨ</p> <p>天神の火 伊勢津川—(五ノ五六二下、一補)</p> <p>天水桶 火の用心の—(三ノ五四三上、石楠)</p> <p>天台教 (五ノ三〇九上、一話)</p> <p>天道 は此方次第(四ノ一四四下、一話)</p> <p>天道法師 の著蹟(四ノ三三五下、一話)</p> <p>天智天皇 が御宇の位階(四ノ六四八上、一話)</p> <p>天女 降て男に戯るゝ事(三ノ二九上、半日)</p> <p>天満宮 渡唐天神贊(四ノ五五六</p>
---	--	---	--

<p>ドグハンス といふ戯(三ノ四八〇下、俗耳)</p> <p>土偶 配所へ赴く者—を携ふ(三ノ七二五下、金層)</p> <p>德行 熊坂氏恤民書付(五ノ四〇六下、一話)</p> <p>徳川氏(宗家) の祖先(三ノ一九下、半日)</p> <p>—を名乗るの起因(三ノ一一五下、半日)</p> <p>—累代將軍宣下日限(四ノ三六〇下、一話)</p> <p>—入國二百年の祝(四ノ二二二下、一話)</p> <p>—御廟塔之配寫(三ノ五三二上、石楠)</p> <p>徳川氏(水戸) の古き日記(三ノ五四三上、石楠)</p> <p>—封邑(四ノ三四九下、一話)</p> <p>—の詩(三ノ五二三下、石楠)</p>	<p>徳川氏(尾張) の世系(四ノ七〇上、一話)</p> <p>—の古き日記(三ノ五四三上、石楠)</p> <p>—五段長屋(三ノ二二四下、半日)</p> <p>—徳川愷千代尾州(養子被仰出(三ノ五二下、半日)</p> <p>—尾張中將逝去(三ノ二四八下、半日)</p> <p>—尾張中納言殿中好君逝去(三ノ二八四上、半日)</p> <p>—「トヤ」外山屋敷ナセ見ヨ</p> <p>徳川氏(紀伊) の古き日記(三ノ五四三上、石楠)</p> <p>—紀州侯花火(三ノ二四三上、半日)</p> <p>—徳川氏(一橋) 一橋殿屏風畫</p> <p>—和歌(三ノ三六二上、半日)</p> <p>—徳川氏(清水) 清水御米被進(三ノ二九七上、半日)</p>	<p>徳川氏(田安) 中納言逝去(三ノ二三四上、半日)</p> <p>—田安公逝去并辭世(三ノ二五四下、半日)</p> <p>徳川綾姫 の誕生并逝去(三ノ五二下、半日)</p> <p>徳川家繼 の詩(四ノ八七上、一話)</p> <p>徳川家綱 殿有院將軍宣下配(三ノ二二六下、半日)</p> <p>徳川家齊 當御代譜(五ノ二二四下、一話)</p> <p>徳川家宣 文昭院將軍宣下配(三ノ二二八下、半日)</p> <p>徳川家治 の御臺心觀院の死去并出棺行列(三ノ二三四下、半日)</p> <p>徳川家光 大猷院將軍宣下配并參内之次第(三ノ二二一上、半日)</p>	<p>—の木像(五ノ三七下、一話)</p> <p>徳川家康 の誕生(三ノ二二二下、半日)</p> <p>—家臣の吉夢を買ふ(三ノ一三三上、半日)</p> <p>—の馬廻り(五ノ三五下、一話)</p> <p>—の像(四ノ四九九下、一話)</p> <p>「トク」東照宮ナセ見ヨ</p> <p>徳川好 尾張中納言殿中—逝去(三ノ二八四上、半日)</p> <p>徳川竹千代 の誕生ニ付賀狀(四ノ二二八下、一話)</p> <p>—が誕生ニ付禁裡より御祝儀物(三ノ一七下、半日)</p> <p>徳川忠長 駿河大納言(四ノ七六一下、一話)</p> <p>—(四ノ七六二上、一話)</p> <p>徳川格姫 の誕生(三ノ五三上、半日)</p>
--	---	---	--

<p>徳川種姫 (四ノ三六八上、一話)</p> <p>—(三ノ二五八上、半日)</p> <p>徳川親氏 (四ノ三五九上、一話)</p> <p>徳川豊三郎 の誕生(三ノ五二二下、半日)</p> <p>—逝去(三ノ五三上、半日)</p> <p>徳川廣忠 が夢想の連歌(三ノ二二三下、半日)</p> <p>—二百五十回忌法事(三ノ五四二下、半日)</p> <p>徳川總姫 の誕生并逝去(三ノ四八上、半日)</p> <p>徳川萬壽姫 の逝去(三ノ二四七七、半日)</p> <p>徳川萬若 の逝去并法號(三ノ一四六上、半日)</p> <p>徳川松千代 (四ノ二五九下、一話)</p> <p>—の逝去(三ノ一四六上、半日)</p>	<p>日)</p> <p>徳川光圀 の書(三ノ三九六下、半日)</p> <p>—の教訓(三ノ三九六下、半日)</p> <p>—の書翰(四ノ七二四上、一話)</p> <p>徳川耀姫 の死去(三ノ一〇五下、半日)</p> <p>徳川宗武 の任官(四ノ八九上、一話)</p> <p>徳川泰親 (四ノ三五九上、一話)</p> <p>徳川吉宗 有徳太君(五ノ七七上、一話)</p> <p>—延享度將軍辭表(四ノ四五上、一話)</p> <p>—有徳院殿遊覽山所(三ノ三〇上、半日)</p> <p>徳川頼宣 南龍公の詩歌(四ノ</p>	<p>二二六下、一話)</p> <p>徳政 (四ノ二四四上、一話)</p> <p>徳利 荒神の—(四ノ七三七下、一話)</p> <p>徳力良顯 (四ノ七三九上、一話)</p> <p>徳和歌後萬載集 の序(二ノ二五五下、巴人)</p> <p>毒解し 紫金錠、解毒丹(三ノ五六六下、百舌)</p> <p>毒草 「クサ」草ナセ見ヨ</p> <p>燭燼 を禱る(四ノ三六五下、一話)</p> <p>●トケ 時計 自鳴鐘(三ノ五一七下、週遊)</p> <p>—斗鶴(四ノ一四四上、一話)</p> <p>●トコ 都勾樹 といふ樹(三ノ五二八上、石楠)</p>	<p>杜工部詩集 集千家註批點—(五ノ四〇五上、一話)</p> <p>床柱 皮付の—(三ノ七五〇上、南畝)</p> <p>●トサ 土佐國 寺川郷の風俗を書ける書(四ノ六〇五下、一話)</p> <p>土佐家 醫師—の系譜(四ノ三一九下、一話)</p> <p>●トシ 年不取川 武藏野—(三ノ一〇下、半日)</p> <p>—歳ノ市 淺草市(三ノ四五一上、半日)</p> <p>—豊島郡 武藏國—の事(五ノ一五三上、一話)</p> <p>●トソ 徒卒隊 の記事(五ノ一四六下、一話)</p> <p>●トタ</p>
---	--	---	---

<p>戸田茂睡 の庵(四ノ七三七上、二話)</p> <p>針丹 (三ノ五一五下、週遊)</p> <p>●トチ</p> <p>土地陥落 上州五官村(三ノ二四八下、半日)</p> <p>丹後國成相寺境内地裂候御届 (五ノ二五七下、一話)</p> <p>信州地陷候御届(五ノ二五八上、一話)</p> <p>●トテ</p> <p>土手 といふ事(五ノ六四〇下、一話)</p> <p>土手節 の歌(三ノ六六一上、玉砂)</p> <p>●トネ</p> <p>舍人(四ノ三三一上、一話)</p> <p>●トハ</p> <p>賭博 「トク」博奕ヲ見ヨ</p>	<p>戸波惣兵衛 御材木石奉行支配 穴太頭二人由緒書(五ノ四六二下、一話)</p> <p>土鉢 上毛の古(五ノ三三二上、一話)</p> <p>鳥羽懸塚 の碑銘(三ノ一五五下、半日)</p> <p>●トビ</p> <p>間屋 江府十組詰(五ノ三五二下、一話)</p> <p>●トホ</p> <p>遠江國 の名(三ノ五三六上、石楠)</p> <p>●トミ</p> <p>富賀岡 深川(三ノ三八〇上、奴風)</p> <p>富籤 の禁止(三ノ二七三下、半日)</p> <p>谷中感應寺(五ノ三二四下、一話)</p>	<p>富突 「トミ」富籤ヲ見ヨ</p> <p>富本豊前様 受領の合(三ノ二八七上、半日)</p> <p>●トモ</p> <p>供 雨ふりたる時の心得(四ノ四三九下、一話)</p> <p>巴寺 近江國(一ノ三九下、改元)</p> <p>照射 (四ノ三四八上、一話)</p> <p>唱門師 (四ノ三二九下、一話)</p> <p>友切丸 鑿切丸(太刀の事)(三ノ四〇八上、半日)</p> <p>伴野貞映 與左衛門實兄の敵討 願(四ノ七二四下、一話)</p> <p>●トヤ</p> <p>外山屋敷 尾州(一見の事)(三ノ七八下、半日)</p> <p>●トヨ</p> <p>土用 冷氣(三ノ二四一下、半日)</p>	<p>豊島信滿 井上正就を刺す(四ノ三五〇下、一話)</p> <p>豊臣秀吉 出生記(四ノ一四八下、一話)</p> <p>明智光秀を恐る(四ノ四二五下、一話)</p> <p>二十二ヶ條の掟(三ノ三九八上、半日)</p> <p>百座の數寄を興行す(五ノ一六〇上、一話)</p> <p>の自費(四ノ七六八上、一話)</p> <p>の歌文(三ノ七六二上、南敵)</p> <p>の大なる歌(三ノ二九七下、半日)</p> <p>の難題(三ノ三九七下、半日)</p> <p>の運命(五ノ三八上、一話)</p>
---	---	--	--

<p>の辭世(三ノ四一〇上、半日)</p> <p>の劇(四ノ三三八上、一話)</p> <p>豊臣秀頼 長壽(三ノ二九九上、半日)</p> <p>豊原龍秋 樂人(三ノ七七一上、南敵)</p> <p>●トシ</p> <p>とらこ石 大磯の(四ノ一六六上、一話)</p> <p>虎 獅一説(三ノ二〇九下、半日)</p> <p>宗氏の家來(三ノ二二三一、半日)</p> <p>虎御門 の撲失(三ノ四六三下、半日)</p> <p>●トリ</p> <p>鳥居 (四ノ五四三下、一話)</p> <p>鳥屋 御停止(五ノ三三二上、一話)</p> <p>取筒 「ツ」租税ヲ見ヨ</p>	<p>酉の市 花又村(三ノ二六一上、半日)</p> <p>●トロ</p> <p>とろ汁 の名(三ノ一一二下、半日)</p> <p>●トン</p> <p>どんど 「サキ」左衛長ヲ見ヨ</p> <p>とんだ茶釜が薬罐に化けた といふ流行語(三ノ二八上、半日)</p> <p>呑 の字(四ノ六六四上、一話)</p> <p>頓阿法師 の歌(三ノ五三九上、石楠)</p> <p>追善和歌(三ノ三三〇上、半日)</p>	<p>二〇四上、一話)</p> <p>内藤新宿 遊女町見世聞(三ノ三九上、半日)</p> <p>宿次建立并遊女御免(三ノ二三七下、半日)</p> <p>●ナカ</p> <p>中井善太夫 の詩(四ノ一九二下、一話)</p> <p>中井履軒 の鳥有園記(四ノ五〇二上、一話)</p> <p>中島正佐 儒者(三ノ八三五下、假世)</p> <p>中田 淺草(一ノ四七二下、武江)</p> <p>中野 武州(郊行)(四ノ五四一上、一話)</p> <p>近傍の訛言(三ノ二七三上、半日)</p> <p>中野桃園 出來の始(三ノ四七四上、瀬田)</p>	<p>中原廣道 枕山居士(與ふる詞)(四ノ一三三下、一話)</p> <p>中村歌右衛門 の技火災を招くの前表(三ノ六五六上、玉砂)</p> <p>逸話(三ノ六七三下、玉砂)</p> <p>中村勘三郎 の家系(四ノ八〇下、一話)</p> <p>中村勘助 赤穂義士(遺族)(五ノ五〇一上、一話)</p> <p>中村かしく 俳優(四ノ二九二上、一話)</p> <p>中村少長 の發句(四ノ六〇下、一話)</p> <p>中村長十郎 俳優(の墓)(三ノ四八八下、俗耳)</p> <p>中村仲藏 狂氣の脱(三ノ二四一下、半日)</p>
---	---	---	---

<p>の狂名(三ノ二〇上、巴人)</p> <p>六代目—の改名(三ノ四九一)</p> <p>中山大納言 寛政五年—御替一件(三ノ一六九上、半日)</p> <p>長崎—の暖氣(三ノ五五二下、百舌)</p> <p>—の氣候(三ノ六二〇下、瓊雜)</p> <p>—の三涼所(三ノ六一六下、瓊雜)</p> <p>—の節分(三ノ五八三下、瓊雜)</p> <p>—は柑類多し(三ノ八〇九下、奴風)</p> <p>—の唐寺(三ノ三三八下、半日)</p> <p>—婦女の風俗(三ノ五五〇下、百舌)</p>	<p>—の野菜と魚類の似(三ノ五五一上、百舌)</p> <p>—の婦人一生眉を剃らず(四ノ二八六上、一話)</p> <p>—の五月蟻(三ノ六一三下、瓊雜)</p> <p>—の食物(二ノ四七六下、尺版)</p> <p>—方言(三ノ七二四下、金屑)</p> <p>時鐘八絶(二ノ二六八下、巴捨)</p> <p>長崎昭威—の碑(三ノ六〇七上、瓊雜)</p> <p>長崎土産—抄(五ノ三七九上、一話)</p> <p>長門—の發句(四ノ七二上、一話)</p> <p>長櫃—の序(二ノ七四上、四留)</p> <p>長柄橋—の歌(四ノ六六上、一話)</p> <p>永請暇—檢校勿當の死を—といふ(四ノ七三下、一話)</p>	<p>—の野原(四ノ一六六上、一話)</p> <p>白癩—の妙方(三ノ五六九上、百舌)</p> <p>奈萬須盛方—狂歌師—の辭世(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>名見崎大喜—のメリヤス(三ノ五〇三下、俗耳)</p> <p>比宮—伏見邦長親王女徳川家重室(四ノ三六八下、一話)</p> <p>なむさう—「へヒ」蛇ヲ見ヨ</p> <p>菜飯—目川—(一ノ三八上、改元)</p> <p>奈良土産返答—の評(四ノ六一下、一話)</p> <p>奈良屋—由緒書(五ノ五八七上、一補)</p>	<p>永原壹岐守—討死の事(五ノ一五七下、一話)</p> <p>半井家—(四ノ七四六下、一話)</p> <p>—傳系(三ノ一三三下、半日)</p> <p>半井ト養—事蹟(五ノ五二二下、一話)</p> <p>●ナギ—小名木川、うなぎ澤等地名—と云ふ字(三ノ六八二上、玉砂)</p> <p>●ナク—なくさみ草—といふ書(三ノ七一七上、金屑)</p> <p>●ナシ—梨—の種類(三ノ六九五下、向阿)</p> <p>宿河原邊の—(三ノ六八六上、向阿)</p> <p>犬ころし(四ノ七四九上、一話)</p>	<p>●ナス—茄子—白—(四ノ二一七上、一話)</p> <p>●ナセ—なせにと、かぬ我思—といふ歌(三ノ七三三下、金屑)</p> <p>●ナツ—謎—(五ノ五六上、一話)</p> <p>—をなんど(四ノ二〇九下、一話)</p> <p>—の言葉(二ノ七四下、四留)</p> <p>●ナツ—の飲物(四ノ三〇六下、一話)</p> <p>夏菊—日本の—を洋菊といふ(四ノ三〇三下、一話)</p> <p>夏御陣—の事(四ノ五一六上、一話)</p> <p>納豆—の初(三ノ三五〇下、半日)</p> <p>●ナナ—なにかま—の漢名(三ノ五一</p>
--	--	---	--	--

<p>七種—日本—始(五ノ三〇四上、一話)</p> <p>—の鹽(三ノ六七二下、玉砂)</p> <p>信濃國—の風俗(三ノ三〇二下、半日)</p> <p>●ナニ—浪花—「オホ」大阪ヲ見ヨ</p> <p>浪花五人男—(三ノ八三八下、假世)</p> <p>難波の蘆—「アシ」蘆ヲ見ヨ</p> <p>●ナフ—名札—年禮に—を配る事(四ノ四八八上、一話)</p> <p>●ナヘ—鍋—行平—(五ノ二二三上、一話)</p> <p>●ナホ—直江河原—といふ地(三ノ七〇二下、向阿)</p> <p>●ナマ</p>	<p>海鼠—(四ノ一六六上、一話)</p> <p>白癩—の妙方(三ノ五六九上、百舌)</p> <p>奈萬須盛方—狂歌師—の辭世(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>●ナミ—名見崎大喜—のメリヤス(三ノ五〇三下、俗耳)</p> <p>比宮—伏見邦長親王女徳川家重室(四ノ三六八下、一話)</p> <p>●ナム—なむさう—「へヒ」蛇ヲ見ヨ</p> <p>●ナメ—菜飯—目川—(一ノ三八上、改元)</p> <p>●ナラ—奈良土産返答—の評(四ノ六一下、一話)</p> <p>奈良屋—由緒書(五ノ五八七上、一補)</p>	<p>●ナリ—業平天神—(一ノ四三九上、武江)</p> <p>業平堂—(一ノ四四〇上、武江)</p> <p>●ナル—成島道筑—の和歌(四ノ六二七上、一話)</p> <p>—紅葉の文井和歌(四ノ一九八上、一話)</p> <p>成瀬正定—の三枚餅(三ノ五七九上、瓊雜)</p> <p>鳴海平藏—が事(三ノ四七五上、瀬田)</p> <p>●ナン—なんど—謎を—といふ(四ノ二〇九下、一話)</p> <p>南湖忠藏—宮森南忠の關所(四ノ一九二下、一話)</p> <p>南掌國——貫象(四ノ六七四下、一話)</p>	<p>南窓閑筆—抄(四ノ二六六下、一話)</p> <p>南朝臘粉—(五ノ一九三下、一話)</p> <p>南蠻—は畜生國(四ノ二〇七上、一話)</p> <p>南部大膳大夫—の任官(三ノ五六上、玉砂)</p> <p>南佛—「キリ」切支丹ヲ見ヨ</p> <p>南畝秀言—未成書(四ノ四八三上、一話)</p> <p>難城事跡傳—といふ書(四ノ三六七上、一話)</p> <p>難船—紀問(五ノ三九六下、一話)</p> <p>房州澤若大商人稟—(五ノ三九八下、一話)</p> <p>男色—の事を書きたる草紙(五ノ五三〇下、一補)</p> <p>相對死(四ノ六〇上、一話)</p>
--	--	--	---

<p>●ノタ 野田 藤の名所(一ノ五五上、葦若) ——古藤の詩歌(一ノ五六下、葦若)</p> <p>●ノツ 鴉消(三ノ一二下、半日)</p> <p>●ノト 咽喉 にとげたる時の咒(四ノ四二下、一話)</p> <p>●ノフ 信頼 笛の名手——の歌(四ノ三六七下、一話)</p> <p>●ノホ 轍 旗(四ノ三九二上、一話) 「タン」端午ヲモ見ヨ</p> <p>●ノマ 野間金三郎(四ノ三七〇上、一話)</p> <p>●ノリ</p>	<p>海苔 紫金苔(五ノ五九四上、一補) ——野草——狂歌(五ノ六三九下、一補)</p> <p>乗物 あんぼつといふ——(三ノ三五二下、半日)</p> <p>●ノロ 烽火山 長崎——(三ノ五五一、下、百舌)</p> <p>●ノハ 齒 虫——の齧(三ノ五七三上、百舌)</p> <p>●ノア ハーリーハ といふ器(三ノ五一八下、遊遊)</p> <p>●ハイ 俳優 の異名(三ノ四八一上、俗耳)</p>	<p>——の無學(五ノ四三九上、一話)</p> <p>——のはや鐵漿をつける事(三ノ七三六下、金層)</p> <p>役者評判明和伎鑑(三ノ二二七下、半日)</p> <p>坂東と吾妻の名字(三ノ四八九下、俗耳)</p> <p>役者似頭齋のあぶり出し(三ノ六五六上、玉砂)</p> <p>「カフ」歌舞伎ヲモ見ヨ</p> <p>俳諧(五ノ二八上、一話)</p> <p>——の字(四ノ一六七上、一話)</p> <p>やう(四ノ四三〇下、一話)</p> <p>凶句(四ノ七四〇下、一話)</p> <p>發句の徳(五ノ五四八下、一補)</p> <p>名ある人の發句(四ノ一一三上、一話)</p> <p>後村上天皇の發句(四ノ一一〇下、一話)</p>	<p>足代弘臣の發句(四ノ一〇七下、一話)</p> <p>林道春の發句(三ノ一〇四上、半日)</p> <p>英一蝶の發句井住所(四ノ四二上、一話)</p> <p>也有的發句(四ノ一一四下、一話)</p> <p>西鶴の發句(四ノ一一上、一話)</p> <p>發句漢譯(三ノ七六五下、南歌)</p> <p>蔓木の發句漢譯(四ノ四八四上、一話)</p> <p>星布と白雄の發句(三ノ六六九上、玉砂)</p> <p>來許の發句(三ノ六六五下、玉砂)</p> <p>沾徳痢床の吟(四ノ一六五下、一話)</p> <p>生島新五郎が島にて作れる發句(四ノ六三三下、一話)</p>
---	---	--	--

<p>大高千葉等淺野稻荷へ奉納の(四ノ六九四上、一話)</p> <p>市村羽左衛門等の齋發句(三ノ五〇六下、俗耳)</p> <p>和歌三神を詠める三千風の發句(三ノ九〇下、半日)</p> <p>九郎助稻荷奉納一卷(五ノ三七四下、一話)</p> <p>遊女の發句(四ノ七二上、一話)</p> <p>光明眞言歌仙(三ノ六六四下、玉砂)</p> <p>麻布湖雲寺歌仙(四ノ六六〇上、一話)</p> <p>兩見編反古さら(五ノ一〇〇下、一話)</p> <p>光岳寺靈太の句碑(三ノ七二六上、金層)</p> <p>秋山源藏辭世の發句(四ノ三七五下、一話)</p> <p>梅屋禪師 の詩(三ノ五二四下、一話)</p>	<p>石楠) 梅毒 の大秘法(三ノ五七一上、百舌)</p> <p>拜借米 (五ノ五八〇下、一補)</p> <p>驛馬 の訓(三ノ六八二下、玉砂)</p> <p>●ハウ 望一 俳人——の手蹟(三ノ八四二下、假世)</p> <p>望火樓 「ヒノ」火の見ヲ見ヨ</p> <p>望汰欄 狂歌師——招客の献立(三ノ五〇八上、俗耳)</p> <p>卯雲 「モク」木室卯雲ヲ見ヨ</p> <p>卯花園漫筆 (五ノ二〇五下、一話)</p> <p>芳宜園 千陰の——といふ號(五ノ三三四上、一話)</p> <p>彗星 出づ(三ノ二二七下、半日)</p> <p>「ホシ」星ヲモ見ヨ</p> <p>方言 晴園——の歌(四ノ七一上、一話)</p>	<p>和泉國貝塚の——(四ノ三四〇下、一話)</p> <p>江州大津の——(一ノ一三六上、玉砂)</p> <p>伊豫松山邊の——(三ノ一一二上、半日)</p> <p>長崎——(三ノ七二四下、金層)</p> <p>八丈島——(四ノ七五四上、一話)</p> <p>松前の——(四ノ四四八上、一話)</p> <p>方山居士 の遺稿(四ノ四四〇上、一話)</p> <p>放火 修験者の靈驗にて——犯人露見す(四ノ五七二下、一話)</p> <p>麻布十番火付(三ノ三三二上、半日)</p> <p>旗本屋敷——(三ノ三三〇下、半日)</p> <p>放下着 「シヤ」尺八ヲ見ヨ</p>	<p>放屁 ——男の觀世物(三ノ二五四上、半日)</p> <p>帽子 婦人の顔形(四ノ二八五下、一話)</p> <p>清人の——(三ノ六一一下、瓊雜)</p> <p>房事 の隱語(三ノ四八六下、俗耳)</p> <p>疱瘡 の藥湯(四ノ一六四下、一話)</p> <p>——妙方(三ノ五七四上、百舌)</p> <p>——をやすくする法(三ノ五六九下、百舌)</p> <p>——の跡を療する法(三ノ五六九下、百舌)</p> <p>禁裡御——(三ノ二四八上、半日)</p> <p>明和八年——流行(三ノ二三〇上、半日)</p> <p>大村氏領内——を病む者少し</p>
--	---	---	--

<p>石地蔵の——(三ノ二七四下、半日)</p> <p>葉唄 の数々(四ノ三七七上、一話)</p> <p>抱腹 といふ文字(四ノ四八九上、一話)</p> <p>寶物 上野兩大師——(一ノ五〇四上、武江)</p> <p>訪問 案内すれば應と答ふる事(四ノ三三二上、一話)</p> <p>●ハオ</p> <p>羽織 流行の——(三ノ四四四上、半日)</p> <p>●ハカ</p> <p>墳墓 芝金杉より掘出せし古——(四ノ七三九下、一話)</p> <p>山谷正澄寺の古——(四ノ六八〇下、一話)</p>	<p>芝青松寺の古——(四ノ六八〇下、一話)</p> <p>日暮里青雲寺の古——(三ノ五三九下、石楠)</p> <p>阿闍陀人井清人の——(三ノ六二〇下、瓊文)</p> <p>博多 筑前——の古蹟(四ノ二八五下、一話)</p> <p>——を石城府といふ(四ノ二八五下、一話)</p> <p>齒固 ——餅の事(三ノ三九四下、半日)</p> <p>袴着 若君——規式次第(三ノ一九上、半日)</p> <p>馬鹿者 の事を十九日と呼ぶ(三ノ七九九下、奴風)</p> <p>●ハキ</p> <p>萩 ならざる詞(五ノ四三三下、一話)</p> <p>萩寺 「リヤ」龍眼寺ヲ見ヨ</p>	<p>——の花の漢名(三ノ五一九上、迦遊)</p> <p>萩原宗固 の歌(四ノ三下、一話)</p> <p>——死去并歌(四ノ六九下、一話)</p> <p>馬玉 といふもの(三ノ三三三上、半日)</p> <p>履物 「セツ」雲踏ヲ見ヨ</p> <p>●ハク</p> <p>剝 の字(四ノ七四上、一話)</p> <p>伯夷十辨 といふ書(四ノ三〇二上、一話)</p> <p>白隠和尚 が盆石の自畫(三ノ七三七下、金屑)</p> <p>白氣立つ (三ノ一六六上、半日)</p> <p>日(五ノ五〇八下、一話)(三ノ二二八下、半日)</p> <p>白山 越前——麓尾添荒谷ニケ村國郡替候儀札書付(五ノ一三</p>	<p>七下、一話)</p> <p>白山御殿 の事(五ノ五四二上、一補)</p> <p>——の跡(一ノ四七五上、武江)</p> <p>——の地(三ノ四六五上、瀬田)</p> <p>白獅 尺八の名手——(三ノ四八九上、俗耳)</p> <p>白雪樓 郡州——(四ノ七二五上、一話)</p> <p>白仙 齋工——の猫虎(四ノ四六八上、一話)</p> <p>白黃野 服部南郭の別荘——といふ號(四ノ五二五上、一話)</p> <p>(五ノ三三四上、一話)(一ノ四四三下、武江)</p> <p>博奕 のかるた一名輕板(三ノ三五三下、半日)</p> <p>小普請御番屋敷内の町人——(三ノ三〇〇上、半日)</p> <p>寛政七年賭的一件(三ノ四四九</p>
---	---	--	--

<p>上、半日)</p> <p>莫愁 といふ名(四ノ七四下、一話)</p> <p>羽倉氏 の系圖(四ノ二四二上、一話)</p> <p>羽倉東滿 が神道の歌(三ノ八三二下、假世)</p> <p>●ハケ</p> <p>馬經大全 (四ノ六八五下、一話)</p> <p>●ハコ</p> <p>箱 の隅の形(四ノ六〇下、一話)</p> <p>箱根権現 の開帳(四ノ四五〇上、一話)</p> <p>箱根山 相模國——(一ノ一二下、文元)</p> <p>——の湖(五ノ二九四上、一話)</p> <p>——正月の門飾(三ノ七二七上、金屑)</p> <p>●ハサ</p>	<p>挾箱 の初(三ノ三五二下、半日)</p> <p>●ハン</p> <p>橋 橋本の——餘(四ノ五四五上、四ノ五六五下、一話)</p> <p>欄、かき板、鼻隠し、筋違、水ぐり、地覆、丸架、平桁、板留、布石、男柱、袖柱、中柱(四ノ二二上、一話)</p> <p>——梓(三ノ六一四上、瓊雜)</p> <p>橋場 淺草——(一ノ四七三上、武江)</p> <p>馬資 の義(四ノ一一一上、一話)</p> <p>麻疹 の流行(三ノ二五九下、半日)</p> <p>梯子 火消の長——(三ノ五四三上、石楠)</p> <p>主冠 「エホ」馬帽子ヲ見ヨ</p> <p>馬射集覽 の題辭(四ノ三八五上、一話)</p> <p>馬術 (四ノ六一一上、一話)</p>	<p>大坪流の祖始(三ノ三五二下、半日)</p> <p>小笠原宗信が——に就ての辭世(四ノ六五二下、一話)</p> <p>「ウマ」馬「ハ」馬場ヲ見ヨ</p> <p>——向(三ノ七四四下、南歌)</p> <p>「トコ」床柱ヲ見ヨ</p> <p>走り馬に鞭 といふ諺(四ノ五〇上、一話)</p> <p>巴人集 の後序(二ノ七七上、四留)</p> <p>●ハス</p> <p>蓮 並頭——、重臺——(三ノ四五一下、半日)</p> <p>●ハセ</p> <p>芭蕉 俳人——(四ノ三七〇下、一話)</p> <p>渡唐の——像(三ノ七〇九上、向阿)(四ノ五九〇下、一話)</p>	<p>蕉翁書簡(五ノ五〇二上、一話)</p> <p>芭蕉庵桃青贊(二ノ一六上、四あ)</p> <p>芭蕉藏 (四ノ六二九上、一話)</p> <p>芭蕉藏 といふ書(四ノ六三〇下、一話)</p> <p>●ハタ</p> <p>旗 の立てやう(五ノ三七上、一話)</p> <p>平陣の——(四ノ三九二上、一話)</p> <p>旗揚松 の配(四ノ五四〇上、一話)</p> <p>羽太氏 の墓(三ノ七三三下、金屑)</p> <p>島中頼母 銅鑼先生の卒年(三ノ八三七上、假世)</p> <p>鱒 といふ魚(四ノ二九一下、一話)</p> <p>●ハチ</p> <p>はちぶする といふ事(四ノ七</p>
--	---	--	---

<p>八雲軒 といふ藏書印(五ノ三二四下、一話)</p> <p>八音 (四ノ四三四上、一話)</p> <p>八助 又奴—傳(五ノ五六四上、一補)</p> <p>八丈絹 — 印鑑(三ノ四五六下、半日)</p> <p>八丈島 の高札に記せる教訓(四ノ八三七下、一話)</p> <p>—より巽の方の島(三ノ五二六上、石楠)</p> <p>八陣 軍法の—といふ名(三ノ三五三上、半日)</p> <p>八ノ宮御文 (四ノ五五七下、一話)</p> <p>蜂須賀侯 の鷹番(三ノ二二八上、半日)</p> <p>鉢敲 空也僧—考(五ノ四六七上、一話)</p>	<p>上、一話)</p> <p>●ハツ はつち坊主の報謝米 といふ話(三ノ四八五上、俗耳)</p> <p>初午 長崎の—(三ノ八〇九上、奴風)</p> <p>初鯉 江戸にて—をめぐる事(三ノ八三九下、假世)</p> <p>—の養井—銘(二ノ六上、春夏)</p> <p>初茸 彦成寺毒—(三ノ六九九上、向阿)</p> <p>八股 の文體(四ノ六八九下、一話)</p> <p>八朔 待估の節(三ノ七四三上、南畝)</p> <p>發狂 松平外記亂心(三ノ三二八下、半日)</p> <p>山形屋吉兵衛母亂心(三ノ三二四下、半日)</p>	<p>青山長谷寺亂心者(三ノ三二二上、半日)</p> <p>稻垣若狭守嫡子(三ノ三二三下、半日)</p> <p>服部南郭 (四ノ六八上、一話)</p> <p>—の居所(四ノ四六一上、一話)</p> <p>—の白貫といふ號(五ノ三三四上、一話)(四ノ五二五上、一話)(二ノ四四三下、武江)</p> <p>—の業行(三ノ八三九上、假世)</p> <p>—の好物(三ノ八二三下、假世)</p> <p>—の儒者評(五ノ四四〇上、一話)</p> <p>—の掃塵會(三ノ七七六下、南畝)</p> <p>檜垣寺古瓦の肥(三ノ七七五下、南畝)</p>	<p>—が春駒狂歌集の序(三ノ七六四上、南畝)</p> <p>—が離情詩話の序(四ノ三七八上、一話)</p> <p>—の法號(三ノ一〇八上、半日)</p> <p>●ハト 鳩吹 (四ノ六七上、一話)</p> <p>●ハナ はなだらけ 「クシ」愚者ヲ見ヨ</p> <p>花 — 形名所(三ノ一三一上、半日)</p> <p>花扇 遊女—(四ノ六一下、一話)</p> <p>花せ といふ事(四ノ二〇六上、一話)</p> <p>花盗人 梅を盗める事(三ノ五四二下、石楠)</p> <p>火花 我國—の始(三ノ三五三下、半日)</p>
---	--	---	---

<p>花見 恭打の—(四ノ六五〇上、一話)</p> <p>—の葉唄片しぐれ(四ノ四〇二下、一話)</p> <p>—の晩年(三ノ八一七下、假世)</p> <p>—卒日并辭世(三ノ一〇九上、半日)</p> <p>●ハニ 土津明神 (五ノ五九三上、一補)</p> <p>土津靈神言行錄 の著者(三ノ五四〇上、石楠)</p> <p>●ハネ 羽根 といふ字(四ノ二二五上、一話)</p> <p>●ハハ 馬場 といふ字(四ノ六五二下、一話)</p> <p>馬場先門 (五ノ五一六下、一話)</p> <p>—を明すの御門と云ふ(二ノ一四三上、武江)</p> <p>●ハヒ 蠅 を去る法(三ノ五七〇上、百舌)</p> <p>●ハフ 法源寺 橋場—の塔(五ノ三五一上、一話)</p> <p>法藏寺 芝ぼら—(四ノ四四一上、一話)</p> <p>法住寺 谷中—建立ニ付寄附(三ノ四三七下、半日)</p> <p>法福寺 淺草—虎の石塔(四ノ七四〇上、一話)</p> <p>法明寺 雜司谷—の鐘(五ノ三四九上、一話)</p> <p>法令 元和元年御制法(五ノ六四二上、一補)</p> <p>●ハマ はまぐりはたまりひめ といふ書(四ノ七三七上、一話)</p>	<p>濱御殿 御齋棟—にての御詠井御詞書(四ノ七二六下、一話)</p> <p>濱田彌兵衛 の養男(四ノ四六二下、一話)</p> <p>濱のきさぎさ の序(二ノ二五〇下、巴人)</p> <p>濱邊黒人 の風俗(三ノ八〇六上、奴風)</p> <p>濱木綿 (三ノ五一〇下、迦遊)</p> <p>●ハム 齒武者 の稱(四ノ六〇八上、一話)</p> <p>●ハヤ はやもの 「サウ」葬具ヲ見ヨ</p> <p>林氏 代々の名(四ノ五〇上、一話)</p> <p>林崎文庫 (四ノ七七下、一話)</p> <p>林述齋 林祭酒詩(五ノ一一七下、一話)</p>
---	---

<p>林春齋 (四ノ七四二下、一話)</p> <p>林春常 甲子元旦詩(四ノ八上、一話)</p> <p>林屋も筆 の評判(三ノ二三八上、半日)</p> <p>林羅山 の發句(三ノ一〇四上、半日)</p> <p>——石川丈山を助ふの詩(三ノ八四〇下、假世)</p> <p>——卒日(五ノ五二三下、一話)</p> <p>羽山庄太夫 の切腹(四ノ二九八下、一話)</p> <p>流行唄 京都の——(五ノ六三六下、一話)(三ノ四八六上、俗耳)</p> <p>浪花の——(三ノ七三六上、金曆)</p> <p>酒にもてはやせる——(三ノ四八六下、俗耳)</p> <p>異船來着ニ付——(三ノ二九一上、俗耳)</p>	<p>上、半日)</p> <p>享保中五百羅漢建立の節——(五ノ一七一上、一話)</p> <p>敷へうた(三ノ二六九下、半日)</p> <p>十七八の歌(三ノ二五二上、半日)</p> <p>めんけりこんけり糖賣の歌(三ノ二八三上、半日)</p> <p>流行語 て、ずるといふ——(三ノ二七〇下、半日)</p> <p>もりや聞へません才三様(三ノ二五八下、半日)</p> <p>疫病本多彌屋宿無姿(三ノ二四六下、半日)</p> <p>とんだ茶釜が薬籠に化けた(三ノ二二八上、半日)</p> <p>原武太夫 御留守居典力——(三ノ七二六下、金曆)</p> <p>——三味線の巧妙(三ノ四八九上、俗耳)</p>	<p>——書置候香物(五ノ二四三上、一話)</p> <p>馬蘭亭舊友尺牘後帖 の後序(二ノ六一上、四留)</p> <p>●ハリ はりこの虎の巻 の序(二ノ五四上、四留)</p> <p>針 薩摩孫八(四ノ五〇上、一話)</p> <p>針金賣 (三ノ七九九上、奴風)</p> <p>等莖 男橋形(四ノ一一二下、一話)</p> <p>張札 の滑稽(三ノ四八四下、俗耳)</p> <p>●ハル 春駒狂歌集 の序(三ノ七六四上、南歌)</p> <p>●ハレ はれもの 「クシ」愚者ヲ見ヨ</p> <p>●ハン</p>	<p>番頭 天明七年——心得遊一件(四ノ七八七下、一話)</p> <p>番匠 ひだくみ(四ノ三四八下、一話)</p> <p>板木師 「ハン」板摺ヲ見ヨ</p> <p>板摺 の見當を付ける事の始(四ノ七四一上、一話)</p> <p>盤溪禪師 の逸話(三ノ八三一下、假世)</p> <p>半翅 といふ鳥(三ノ五一三上、遊)</p> <p>半七 萬屋——の墓(一ノ七七七上、遊)</p> <p>萬事吉兆圖 の來由(三ノ一七八下、半日)</p> <p>萬安橋 泉州——碑(五ノ一二二上、一話)</p> <p>萬靈 三界——の靈の字(四ノ二〇九下、一話)</p> <p>幡隨意上人 (四ノ六七七上、一話)</p>
---	--	---	---

<p>●ヒ 火 かいましむる詞(二ノ三二七下、萬葉)</p> <p>●ヒエ 日枝神社 山王祭禮(三ノ二五四下、半日)</p> <p>稗詩 (四ノ二二三上、一話)</p> <p>●ヒカ 拾垣寺 ——古瓦の配(三ノ七七五下、南歌)</p> <p>拾垣女 の像(四ノ七五下、一話)</p> <p>——の歌(三ノ三三八上、半日)</p> <p>日が窪 麻布——の舊名(四ノ六〇三下、一話)</p> <p>東本願寺 「ホン」本願寺ヲ見ヨ</p> <p>氷川神社 の御神樂式(三ノ七一八下、金曆)</p>	<p>●ヒキ 墓 五尾の——(三ノ四五六下、半日)</p> <p>引札 の始(三ノ四三七上、半日)</p> <p>飛脚屋 の名を十七屋といふの義(四ノ二二六上、一話)</p> <p>●ヒク 比丘 ——比丘尼(四ノ四八上、一話)</p> <p>比丘尼 帝王の姫宮を——となし奉るはひが甚なり(四ノ二〇四上、一話)</p> <p>——惣領(五ノ五〇四上、一話)</p> <p>火食鶏 (四ノ四七五上、一話)</p> <p>飛花落葉 の序(二ノ五五七上、四留)</p> <p>●ヒケ 鬚髯 長鬚會(三ノ一六六下、半日)</p> <p>髭切丸 友切丸——太刀の事(三ノ一八下、金曆)</p>	<p>●ヒシ 火消 「セウ」消防ヲ見ヨ</p> <p>ひしやく 「イフ」遊女ヲ見ヨ</p> <p>毘沙門天 京都東福寺——開帳</p> <p>井籠寶(三ノ二二九上、半日)</p> <p>美人 人をして——とする法(三ノ五六九下、百舌)</p> <p>美人合 の序(二ノ六二下、四留)</p> <p>●ヒセ 疥癬 「カイ」疥癬ヲ見ヨ</p> <p>肥前國 地名詩に入べきもの(四ノ二一七下、一話)</p> <p>肥前瘡 (四ノ八四二下、一話)</p> <p>●ヒタ 飛頭獠 「ロク」轉體首ヲ見ヨ</p> <p>●ヒツ 備中國 の古城跡(五ノ二九三下、一話)</p> <p>●ヒト</p>	<p>尾藤二洲 (三ノ七二七下、金曆)</p> <p>——新編名出(四ノ二〇八下、一話)</p> <p>單衣 ——小麥(三ノ一七下、半日)</p> <p>大人幼童の——(三ノ一八下、半日)</p> <p>人殺 武士の——(三ノ三二七下、半日)</p> <p>麴町貝坂殺害(三ノ三〇四下、半日)</p> <p>廣徳寺前女殺(三ノ二〇六下、半日)</p> <p>夫の妾を殺す(三ノ二二七上、半日)</p> <p>平鹽寺住職家來殺し(三ノ二七三下、半日)</p> <p>「オヤ」親殺「ヨコ」子殺「アヒ」兄殺ヲ見ヨ</p> <p>人見友元 儒者——(五ノ二二二上、一話)</p>
--	---	--	---

四上、一話) — 鐘銘(五ノ三五〇上、一話) 人見元徳 本朝食經の著者— (五ノ二二四下、一話)	初難賦(二ノ四二下、四あ) 雛屋立圃 立圃驛路(四ノ一三 五上、一話)	●ヒナ 非人 は盜をなます(四ノ二一四 上、一話) — の狼藉(三ノ三一四上、半 日)	火用心 の呼び聲(三ノ六八一 下、玉砂)	●ヒバ 批把 昆布と— 禁食(五ノ五五 三上、一話)	火箭 の術(四ノ六一〇下、一話) 廟 寶一の事(五ノ三〇上、一 話)
一ツ木 赤坂—(二ノ四四四 上、武江)	●ヒニ — の狼藉(三ノ三一四上、半 日)	仕置(三ノ三一六上、半日)	火鉢 竹籠の—(四ノ四七二下、 一話)	病氣 疾病(四ノ四八七下、一話) 靈助風邪(三ノ二四六上、半日) 稻葉風流行(三ノ二二七下、半 日)	一柳勘之丞 の一件(三ノ九一 上、半日)
一本亭芙蓉花 狂歌師—の 事(三ノ四八四下、俗耳)	●ヒノ — 時雨櫻の歌(三ノ五二二下、 石楠)	取締方書付(三ノ四八下、半 日)	●ヒマ 火廻し (四ノ四八下、一話)	菱屋新兵衛 (四ノ七七下、一 話)	一柳監物 の一件(三ノ一〇三 上、半日)
一節切 (四ノ七七上、一話) — の銘井—の書(四ノ五九 一上、一話)	●ヒナ — 「シヤ」尺八ヲモ見ヨ	日野資枝 の書簡(四ノ一一五 下、一話)	●ヒメ 姫路城 の築立由來(四ノ六一二 上、一話)	拍子木 といふ名(三ノ六八一 下、玉砂)	●ヒナ 蹴球の—(五ノ二二九上、一 話)
雛祭 の初(三ノ三五〇上、半日)	火の番 「ヨマ」夜廻ヲ見ヨ	火の見 忍火樓(五ノ二二五上、 一話)	●ヒヤ —		

評定所留役 の刑罰(三ノ四四 六下、半日)	百明 俳人—が書(三ノ六 七〇下、玉砂)	水麩 水引餅(三ノ五三六上、石 楠)	●ヒラ 平井權八 が刑罰札文(四ノ 七七七上、一話)	平泉實記 (五ノ三一二上、一 話)	平賀源内 の傳(四ノ五六上、一 話)(三ノ八〇六下、奴風)	淨瑠璃本に用ふる—の名(三 ノ八〇七下、奴風)	の旨(三ノ八一九下、假世)	の豪語(五ノ四三九下、一 話)	の警語(五ノ四三八下、一 話)
屏風 関の—(四ノ三三四下、一 話)	百因縁 といふ書(四ノ五二五 上、一話)	百鬼夜狂集 の序(二ノ五七 下、四留)	百姓 —類焼農具代拜僧(三 ノ三四九下、半日)	百壽 の始(四ノ四八七下、一話)	百拙 僧—詩(三ノ三三三下、半 日)	百椿 齋家清狂—(四ノ一一七 下、一話)	百人一詩 の著者(三ノ五三〇 上、石楠)	百番月歌合 の序(二ノ三二下、 四あ)	百萬遍 京都—圓光大師開帳
北里に不通なり(三ノ八二 六下、假世)	— 新宿に遊びし時平秩東作の 發句(三ノ八二八上、假世)	— 越後が小説の書き様(五ノ四三 九上、一話)	— 風來山人志道軒傳を作る(三ノ 七二七上、金屑)	平河天神 (二ノ四四四上、武 江)	平絹 (三ノ一七下、同一八下、 半日)	平桁 「ハン」橋ヲ見ヨ	平野金華 が挑灯の紋(三ノ八 二二三下、假世)	平林惇信 が臨終の詩(三ノ六 五八下、玉砂)	平山季重 の墓(二ノ三一九下、 調布)
疲勞 草臥れぬ類(五ノ四二五上、 一話)	●ヒン 鬢指 安永時代—の風(三ノ二 四六下、半日)	鬢付 「カミ」髪のおチヲ見ヨ	横撥 人を—する事をハチアト いふ(四ノ七〇下、一話)	●フイ 吹草 といふ器(四ノ七四一上、一 話)	●フウ 風雨 八月朔日の大風(三ノ二四 二上、半日)	九月十七日—(三ノ二四四上、 半日)	大—(三ノ三三二下、半日)	風之 俳人—(三ノ八四九上、假 世)	

世)

風俗 の變遷(三ノ四四四上、半日)

江戸(五ノ二〇上、一話)

安永時代男女の(三ノ二四六下、半日)

信濃國(三ノ三〇二下、半日)

土佐國寺川郡の(一)を寄ける書(四ノ六〇五下、一話)

風病 の流行(四ノ三六七上、一話)

風雷神 淺草寺の(三ノ七〇三上、金層)

風鈴 につける古歌(三ノ三九五下、半日)

楓橋 (三ノ五四六上、石楠)

夫婦 の別(四ノ二〇五下、一話)

●フエ の息に三品あり(三ノ八三四)

下、假世)

●フカ 舞樂 白書院(五ノ五三四下、一話)

伶人の舞被仰付(五ノ五一四下、一話)

文化五年禁裏御遊(四ノ六〇〇下、一話)

深草元政 「ケン」元政法師ヲ見

深草焼 を始て製ぐ(三ノ二八四下、半日)

深添着 といふ事(三ノ五七六上、百舌)

深見新兵衛 「タカ」高宮維新ヲ見

●フキ 吹上御苑 — 巡遊の記(三ノ三五八上、半日)

植込の松(三ノ二九二上、半日)

日)

普救類方 といふ書出版(四ノ八九上、一話)

被仰付(四ノ六九六下、一話)

武器圖説 の出来(四ノ七四六下、一話)

●フク ふくろの記 — 抄(四ノ四八下、一話)

幅 對軸孤軸(四ノ六七四下、一話)

武具 武具要説抄(四ノ一六七下、一話)

復讐 草履打意越松田敵討の事(五ノ二七〇下、一話)

草履打の實説(五ノ三五五下、一話)

宮城野忍敵討の實説(五ノ三五四下、一話)

111

武州掛尾敵討(三ノ一六五上、半日)

奥州敵討(三ノ二五九下、半日)

奥州仙臺敵討(三ノ一〇六上、半日)

石井源藏父の敵赤淵源五郎を討つ(四ノ六二二上、一話)

仙臺百姓敵を被討に參り候實記(五ノ四二五下、一話)

龜山敵討の事(五ノ五一八下、一話)

崇禪寺馬場(一ノ八六上、若)

牛込行元寺 — の碑(五ノ三三三下、一話)

少年敵討(三ノ三一五上、半日)

「アカ」赤穂義士ヲ見

福島綱成 (四ノ三七六下、一話)

福島正則 領地被召上(三ノ四

一三下、半日)

福壽草 の産地(三ノ八〇四上、奴風)

福德 といふ年號(五ノ四九六上、一話)

福德の三年目 といふ事(五ノ四九七上、一話)

福輪糖 といふ菓子賣(三ノ二七二上、半日)

福祿壽 の發(二ノ二三六上、巴人)

腹診書 といふ書(四ノ一一一上、一話)

河豚もどき (四ノ七五上、一話)

●フケ

武家 江戸 — 人数(三ノ一四二下、同一四三下、半日)

諸家系圖(四ノ七一五上、一話)

剃髮後仕官の服制(三ノ五四六下、石楠)

不景氣 臘月世の中詰るといふ事(四ノ四二四下、一話)

●フユ 封戸 の數(四ノ二二六上、一話)

●フシ 武士 侍の強弱(三ノ三三三上、半日)

は心を清潔にし形はいやしめるべし(四ノ六〇七下、一話)

は過言を慎み誇る可らず(四ノ六〇八上、一話)

に無禮なす可らず(三ノ八三三下、假世)

●フタ 武術 加賀農夫の妙術(五ノ五五五下、一話)

附子 (三ノ五一六下、遊遊)

富士權現 甲州郡内 — 祭禮燒

火(五ノ五五四下、一話)

富士山 の詩(三ノ二二三上、半日)

琉球人 — の詩歌(四ノ二四〇上、一話)

武者小路實陸 — の歌(四ノ三七五下、一話)

畫賛(二ノ三三三下、四あ)

頂上の溜井池(三ノ一二八下、半日)

伏見城 の事(五ノ八三三上、一話)

不成就日 (三ノ七五五下、南畝)

普請 御 — 御用掛(三ノ二四二下、半日)

●フタ 葡萄酒 の製法(三ノ五一五上、遊遊)

普陀山 總波府定海縣 — (四ノ四五下、一話)

二つ並べし枕橋 (三ノ七三二下、金層)

の所在(三ノ八三二上、假世)

●フチ 藤 野田の(一ノ五五上、若若)

野田の — の詩歌(二ノ五六下、若若)

藤枝外記 の變死(三ノ一六一下、半日)

藤原家隆 の墓碣(四ノ三二〇上、一話)

藤原定家 の香簡(三ノ五八一上、瓊雜)

小色紙(四ノ六八八下、一話)

「オク」小倉色紙ヲ見

藤原愷窩 が幽棲の地并北肉山人の號の出所(三ノ八二七下、假世)

<p>都勾城といふ號の出處(三ノ五二八上、石楠)</p> <p>文集井和歌日抄(四ノ五四八下、一話)</p> <p>藤原經朝 の卒日井祖先(三ノ五三四下、石楠)</p> <p>藤原町子 の文(三ノ一七〇下、半日)</p> <p>扶持 一人—を二合半とせるは古よりなり(四ノ四六三下、一話)</p> <p>婦女 の隱名(五ノ五三〇下、一話)</p> <p>長崎—の風俗(三ノ五五〇下、百舌)</p> <p>の額形(四ノ二八五下、一話)</p> <p>一生眉を剃らざる國(四ノ二八六上、一話)</p> <p>の病(四ノ四二二上、一話)</p>	<p>鐘を結るに—を忌む(三ノ六九二下、向阿(三ノ七四八上、南歌)</p> <p>轉女身經(四ノ五四二下、一話)</p> <p>少女變死(三ノ三一八下、半日)</p> <p>女力持柳川ともよ(三ノ二六〇上、半日)</p> <p>上、半日)</p> <p>「レツ」烈女ヲモ見ヨ</p>	<p>筆</p> <p>アタシ井筆草(三ノ五三三下、半日)</p> <p>不傳妙集 といふ書(四ノ七六上、一話)</p> <p>抄(四ノ三九二上、一話)</p> <p>不動 鎌倉補陀落寺—開帳(四ノ四五〇上、一話)</p> <p>武徳鎌倉舊記 (五ノ三〇六上、一話)</p> <p>武徳大成記 (四ノ三七二上、一話)</p> <p>—といふ書(三ノ二二三上、半日)</p> <p>の奥書(四ノ四九九上、一話)</p>	<p>九上、一話)</p> <p>船唄 長崎乗初の一(三ノ七二五下、金屑)</p> <p>船宿 の帳面上書(三ノ四八五上、俗耳)</p> <p>●フネ</p> <p>船 踊—古園井考(三ノ五五下、半日)</p> <p>茶—(三ノ三五二下、半日)</p> <p>艇板(三ノ五四三上、石楠)(三ノ七四八下、南歌)</p> <p>東京造の一(三ノ五八七下、瓊雜)</p> <p>大坂川口にある徳川家の一(四ノ三〇二上、一話)</p> <p>—に酔はぬ傳受(三ノ五六九上、百舌)</p> <p>—の酔を治する法(四ノ六二六上、一話)</p> <p>—に乗る人數の忌(三ノ五二五</p>
---	---	--	--

<p>上、石楠)</p> <p>唐—役者(四ノ四六上、一話)</p> <p>地名の下へ—の字を付ける事(四ノ四〇二下、一話)</p> <p>●フハ</p> <p>文箱 の蓋を朱漆にて塗る事(三ノ七五〇上、南歌)</p> <p>●フヒ</p> <p>武備和訓 —抄(四ノ六〇七下、一話)</p> <p>●フミ</p> <p>文月淺間記 の著者(三ノ八四四上、假世)</p> <p>●フモ</p> <p>不聞和尚 が館壁の詩(四ノ四八五下、一話)</p> <p>●フユ</p> <p>冬 安永三年—寒氣甚し(三ノ二五五下、半日)</p> <p>冬御陣 の次第(四ノ五二二上、</p>	<p>芙蓉堂記 (三ノ六九四下、向阿)</p> <p>●フロ</p> <p>風呂 坊主湯(三ノ七三三上、金屑)</p> <p>浴湯禁觸(五ノ五八三下、一話)</p> <p>湖浴(三ノ五七六下、百舌)</p> <p>風呂敷 といふ名の起(三ノ三三五三下、半日)</p> <p>●フン</p> <p>ふんちう 「クシ」愚者ヲ見ヨ</p> <p>文學 文雅の盛時(三ノ八四〇上、假世)</p> <p>文化 —改元記(五ノ二五三下、一話)</p> <p>文臺 清水氏—の記(四ノ二四三上、一話)</p> <p>文徵明 の詩(四ノ四八二上、一話)</p>	<p>文筆 といふ語(四ノ六〇五上、一話)</p> <p>文武 醫道御書付(三ノ一四〇上、半日)</p> <p>文武天皇 が御宇の位階(四ノ六四八上、一話)</p> <p>文武丸 といふ藥(三ノ八一〇下、奴風)</p> <p>文寶亭散木 の書狀(四ノ六六一上、一話)</p> <p>文彌節 の起(三ノ四九三下、俗耳)</p> <p>噴火 信州淺間山上州吾妻山一件(四ノ八二二下、一話)</p> <p>肥前國普賢山—(三ノ八三三下、半日)</p> <p>豊後節 のうた(三ノ七三三下、金屑)</p> <p>—停止(四ノ九二下、一話)</p>	<p>紛失物町觸 定家色紙—(五ノ七七七上、一話)</p> <p>分錢 の法(四ノ二一六上、一話)</p> <p>禪 力士松風瀬平の一(三ノ八二四下、假世)</p> <p>●フイ</p> <p>米價 (四ノ五四三上、一話)</p> <p>室町日記中の—(四ノ四六三上、一話)</p> <p>—賤して士人窮す(四ノ四二二下、一話)</p> <p>寛永以來の一(四ノ四一三下、一話)</p> <p>慶安承應の一(四ノ四六九上、一話)</p> <p>明暦三年江戸の一(四ノ三三三上、一話)</p> <p>天明七年の一(四ノ七九二上、</p>
---	--	---	---

<p>一話)</p> <p>「コメ」米相場ヲ見ヨ</p> <p>米穀 町人へ被仰渡書面(五ノ五 六八上、一補)</p> <p>に付町觸(五ノ五七二上、一 和)</p> <p>平荷集 の序(二ノ三〇〇下、萬 葉)</p> <p>平家 の旗(四ノ三二〇下、一話)</p> <p>平禮雜色 の裝束(四ノ二一八 上、一話)</p> <p>兵器 打物爲持候諸侯(四ノ七四 五下、一話)</p> <p>兵事 兵談二條(四ノ六五三上、一 話)</p> <p>兵法 八陣といふ名(三ノ三五三 上、半日)</p> <p>瓶蓋病 (四ノ二六六上、一話)</p> <p>餅餠 (四ノ二二下、一話)</p> <p>●ハウ</p>	<p>裱装 裱補給(四ノ八八上、一話)</p> <p>表紙 によき紙(四ノ八八上、一 話)</p> <p>書物—どうきの製法(三ノ一 一一上、半日)</p> <p>瓢箪節 「コウ」小唄ヲ見ヨ</p> <p>漂流 興津に外國船漂着(三ノ二 二八下、半日)</p> <p>紀伊國異國船漂着書付(三ノ一 三二上、半日)</p> <p>銚子浦唐船—(四ノ四四六上、 一話)</p> <p>五島異國船—(三ノ三六一上、 半日)</p> <p>享保三年無人島—の語(四 ノ二七七上、一話)</p> <p>標榜 といふ熟字(四ノ七二六上、 一話)</p> <p>●ハコ</p> <p>邊越方人 をいためることは(二 ノ四五下、四あ)</p>	<p>ノ貫 別頁(五ノ二六〇上、一話)</p> <p>●ハツ</p> <p>へつひ 「カマ」籠ヲ見ヨ</p> <p>籠甲 の價(三ノ五八八下、瓊雜)</p> <p>平秩東作 の警語(五ノ四四一 上、一話)</p> <p>吳東家山人(二ノ二四二下、巴 入)</p> <p>●ハニ</p> <p>紅谷志津摩 菓子舖—の菓子 贈(四ノ七六八下、一話)</p> <p>●ハビ</p> <p>蛇 なむきう(四ノ二二〇下、一 話)</p> <p>小兒を産む(三ノ三三一上、半 日)</p> <p>陰門へ入りたる時の治療(五 ノ三六下、一話)</p>	<p>●ハン</p> <p>變災 八月二日江戸の大風雨 (三ノ二四二上、半日)</p> <p>房州小泉院境内陥リし事(三ノ 一〇五上、半日)</p> <p>享保大風雨(四ノ八九上、一話)</p> <p>大石落下(三ノ三三二下、半日)</p> <p>「クマ」火災ヲ見ヨ</p> <p>偏額 紫宸殿承明門の—の筆者 (四ノ七六二下、一話)</p> <p>日光御懸屋二天御門内の勅額ニ 付上野執當より寺社奉行へ差 出候書付(三ノ一三三上、半 日)</p> <p>杏壇門の—(三ノ三三四上、半 日)</p> <p>三州龍山寺の—(三ノ五三四 下、石楠)</p> <p>雜司谷鬼子母神の—(三ノ二 五二下、半日)</p>
--	---	--	---

<p>本所一ツ目辨天—(四ノ三八 七下、一話)</p> <p>大摩國寺の—(四ノ七五二 下、一話)</p> <p>辨慶 武藏坊—寝死にての名 (三ノ五三三上、石楠)</p> <p>蝦夷に於て—の菰藏(三ノ三 〇八下、半日)</p> <p>辨財天 不忍—開帳(三ノ二三 二上、半日)</p> <p>井の頭—開帳(三ノ二五七上、 半日)</p> <p>本所一ツ目—の額(四ノ三八 七下、一話)</p> <p>辨當山 目黒—(一ノ四五三 上、武江)</p> <p>辨天ととよ (三ノ七三一上、金 屑)</p>	<p>●ホウ</p> <p>縫庵 琴の名手—の歌(四ノ三 六七下、一話)</p> <p>奉加帳 の序(二ノ二八三下、千 紅)</p> <p>奉公人 一季居—(五ノ五二七 上、一話)</p> <p>棒歌撰懸合 狂文—序(二ノ 二四二上、巴人)</p> <p>俸給 祿(四ノ二二五上、一話)</p> <p>國司の年給料(四ノ二二五下、一 話)</p> <p>支那官吏の俸給(三ノ三四七下、 半日)</p> <p>封建 の字(四ノ三〇六下、一話)</p> <p>鳳潭和尚 卒年并像(四ノ二二 〇下、一話)</p> <p>北條氏 の印(四ノ三七一上、一 話)</p> <p>小田原—知行分限(三ノ七一</p>	<p>○下、向岡)</p> <p>北條氏直 の袍袴(四ノ四六二 下、一話)</p> <p>北條氏綱 の連歌(三ノ七六上、 半日)</p> <p>—書置(三ノ四一七下、半日)</p> <p>北條氏康 の家老北條左衛門大 夫の強男(四ノ六二五下、一 話)</p> <p>北條時頼 教訓百首抄(四ノ四 上、一話)</p> <p>—の墓(一ノ四五九上、武江)</p> <p>蓬萊 日本に—と稱する處多 し(四ノ二〇八上、一話)</p> <p>蓬萊山 (三ノ三三九下、半日)</p> <p>豊樂亭記 東坡書—(四ノ六 三二下、一話)</p> <p>●ホン</p> <p>牧山和尚 —秩翁に叱らる (四ノ四四一上、一話)</p>	<p>●ホケ</p> <p>法華經 唐本—(五ノ三一五 下、一話)</p> <p>法華經註 の奥書(三ノ七八九 上、南畝)</p> <p>法華經寺 中山—開帳(四ノ 四五二上、一話)</p> <p>●ホコ</p> <p>反古さらへ 兩鬼編—(五ノ 一〇〇下、一話)</p> <p>●ホシ</p> <p>ほしみせ 「ロテ」露店ヲ見ヨ</p> <p>星 一月を貫く(四ノ三四九下、一 話)</p> <p>—(四ノ二二七上、一話)</p> <p>—(三 ノ二二八下、半日)</p> <p>太白歳—を犯す(四ノ二二七上、 一話)</p> <p>—を五車といふ(四ノ二二七上、 一話)</p> <p>「ハツ」星ヲ見ヨ</p>
---	--	--	---

<p>星合具枚 伊左衛門(四ノ七一 四上、一話)</p> <p>星谷 星跡の清水(四ノ六七五上、 一話)</p> <p>蒲室集 の序(四ノ六八三上、一 話)</p> <p>保科正之 家中の法度を定む (三ノ三九五下、半日)</p> <p>精 遺辭(三ノ四一九下、半日) 仙臺の(四ノ三七四下、一 話)</p> <p>●ホソ 細井氏 の系圖(三ノ一八九、半 日)</p> <p>細井九阜 の墓(一ノ二九一上、 調布)</p> <p>細井廣澤 の初の名(四ノ一一 六下、一話)</p> <p>—の詩(四ノ四七五下、一話) —書(五ノ二七〇上、一話)</p>	<p>(四ノ二九三下、一話)</p> <p>—の墓(一ノ二九一上、調布)</p> <p>細井母屋 廣澤の妻—の墓 (一ノ二九一上、調布)</p> <p>細井輔庵 の墓(一ノ二九一上、 調布)</p> <p>細川越中守 熊本侯番筋(四ノ 一二六下、一話)</p> <p>細川藤孝 (玄旨又幽齋)の文 (四ノ八三八上、一話)</p> <p>—示家十一首の事(三ノ三八 五上、半日)</p> <p>—の狂句(四ノ二二〇下、一 話)</p> <p>—の茶菓子(五ノ三三三上、一 話)</p> <p>細川宗教 の殿中變死(四ノ三 五三上、一話)</p> <p>細長 といふ産衣(三ノ一七下、半 日)</p>	<p>—親仕立(三ノ一八上、半日)</p> <p>—の帶(三ノ一九上、半日)</p> <p>●ホタ 菩提樹 の實降る(三ノ二八四 上、半日)</p> <p>補陀落山 —碎陰(五ノ一〇 八下、一話)</p> <p>牡丹 二十日草(四ノ六七上、一 話)</p> <p>夏季歌(四ノ六七上、一話)</p> <p>—贊(二ノ二三七上、巴人)</p> <p>牡丹花宵柏 の贊(二ノ二二上、 四あ)</p> <p>●ホツ 勃翁 宗因四世—墓(一ノ五八 下、葦若)</p> <p>發句 「ハイ」俳諧ヲ見ヨ</p> <p>法華會 高雄の—(三ノ七四六 下、南畝)</p> <p>法華經 「ホケ」ヲ見ヨ</p>	<p>沒食子 「ムシ」無食子ヲ見ヨ</p> <p>堀田正敦 —悼大垣侍從短歌 (四ノ五五八上、一話)</p> <p>堀田正俊 —稻葉正休に刺さ る(四ノ三五〇下、一話)</p> <p>忠誠吟(四ノ八八上、一話)</p> <p>堀田六林 (四ノ二二三上、一 話)</p> <p>—傳(五ノ二六六、一話)</p> <p>●ホテ ほて 「ホテ」布袋ヲ見ヨ</p> <p>布袋 かほてといふ(四ノ二二〇 上、一話)</p> <p>—川を渡る圖(三ノ七五七上、 南畝)</p> <p>●ホト 佛 踏—生日(四ノ五二九下、一 話)</p> <p>「イタ」板佛「フツ」佛教ヲモ 見ヨ</p>
--	--	--	--

<p>時鳥 コツテ鳥、クツテ鳥(三ノ 一一二上、半日)</p> <p>●ホリ 堀尾春芳 の死日(四ノ二九八 上、一話)</p> <p>堀浚 明和二年常盤橋—石橋— (三ノ四四二上、半日)</p> <p>堀部彌兵衛 赤穂義士—(四 ノ六二二下、一話)</p> <p>堀正意 杏庵—(四ノ二二二 上、一話)</p> <p>●ホン ぼん／＼鳥 (四ノ三六六下、一 話)</p> <p>本阿彌光悦 が行狀(三ノ八二 五上、假世)</p> <p>—鷹が峰に—寺を建つ(三ノ 八三六下、假世)</p> <p>本郷の城 江戸—(一ノ四七 七上、武江)</p>	<p>本願寺 宗就の事(四ノ三四三 下、一話)</p> <p>—系圖(三ノ二〇〇、半日)</p> <p>江戸—の歌(一ノ四三八下、武 江)</p> <p>東—繪圖并平瓦圖(三ノ二一 〇下、半日)</p> <p>享和四年宗門之訴(三ノ一六五 上、半日)</p> <p>四—本堂再建入佛(三ノ四一 上、半日)</p> <p>四—門跡變向(三ノ五〇上、半 日)</p> <p>増上寺と—公事答書(三ノ二 七五下、半日)</p> <p>本卦がへり (三ノ七五七下、南 畝)</p> <p>本所 の武家屋敷なりし時代(三 ノ四六六下、瀬田)</p> <p>本淨寺 大野山—七面大明神</p>	<p>(四ノ六七五上、一話)</p> <p>本多唐之助 大和郡山城主— 斷絶領知被召上—件(三ノ四 七四上、瀬田)五ノ三二上— 一話)</p> <p>本多忠勝 の心掛(四ノ三七六 上、一話)</p> <p>本多忠朝 の墓(一ノ六〇上、葦 若)</p> <p>本多正信 の號書(三ノ三八七 下、半日)</p> <p>本多兵庫 —家再興(四ノ一 九三上、一話)</p> <p>本田齋 の流行(三ノ二四六下、 半日)</p> <p>—の前句付(三ノ二八三下、半 日)</p> <p>本朝文辭 の序(二ノ二六七上、 巴拾)</p> <p>本朝學源錄 杉山活齋其著—</p>	<p>を火中せしむ(三ノ五四三上、 石楠)</p> <p>本朝世紀 といふ書(四ノ一一 一上、一話)</p> <p>本朝通鑑 (四ノ一五六下、一 話)</p> <p>—出来并通鑑奉行(五ノ五一 七下、一話)</p> <p>本朝武家根元 —抄(四ノ六 二五上、一話)</p> <p>本度寺 小金—過去帳(四ノ三 六二上、一話)</p> <p>本門寺 池上—(一ノ四五三 下、武江)</p> <p>池上—の石棺(三ノ三〇八下、 半日)</p> <p>—松化石(五ノ三五〇下、一 話)</p> <p>梵天はやし 尾張の—(四ノ 二二七下、一話)</p>
--	--	--	---

<p>●マ 魔 といふ名(四ノ四三二下、一話)</p> <p>●マウ 毛越寺 平泉醫王山—義經堂 棟札寫(五ノ一三五下、一話)</p> <p>毛利主水正 水野準人正—殿 中刃傷(四ノ三五二下、一話)</p> <p>孟子 七經—考文を刻せし人 (三ノ五三四上、石楠)</p> <p>七經—考文の代價(三ノ五五三上、百舌)</p> <p>孟宗竹 (三ノ八〇三上、一話)</p> <p>盲人 の祖(三ノ四九一上、俗耳)</p> <p>●マカ 曲淵勝左衛門 の由緒書(三ノ一四八上、半日)</p>	<p>翻譯 譯文の例(四ノ二二九下、一話)</p> <p>●マキ 卷物 (四ノ五二五下、一話)</p> <p>●マク 楣 の字(四ノ一一二下、一話) 枕 鶴(三ノ六四八上、瓊文) 枕橋 (五ノ二六四下、一話) 二つ並べし—(三ノ八三二上、假世)(三ノ七三二下、金層)</p> <p>鮪 眞黒魚考(五ノ五七九下、一補)</p> <p>●マサ 眞崎稻荷 のお世狐(三ノ二五九下、半日)</p> <p>●マシ 禁厭 二件(四ノ四二下、一話)</p> <p>●マス</p>	<p>曲淵甲斐守 の娘出奔(三ノ三二上、半日)</p> <p>町奉行轉役の事(五ノ五六八上、一補)</p> <p>●マテ 間瀬久太夫 赤穂浪士—次男 定八大島へ流さる(四ノ七七九下、一話)</p> <p>●マチ 町地割役 の由緒書(五ノ五八八上、一補)</p> <p>町火消 —と根來同心との公事(三ノ二七三下、半日)</p> <p>●マツ 松 吹上御庭植込の—(三ノ二九二上、半日)</p>	<p>柵 の我國へ渡りし始(三ノ三五四上、半日)</p> <p>唐の斗(三ノ三五四上、半日)</p> <p>舛市 「ダカ」寶市ヲ見ヨ</p> <p>舛屋 洲崎料理店—(一ノ四三八上、武江)</p> <p>増島金之丞 儒者被仰付(三ノ二〇六上、半日)</p> <p>●マセ 松島 奥女中—卒去(三ノ二四九上、半日)</p> <p>松茸 乾—香の失さる法(三ノ五六九上、百舌)</p> <p>松平氏 松平諸家(四ノ七〇八下、一話)</p> <p>松平石見守 の俳號(四ノ六六〇上、一話)</p> <p>松平越前守 の加増(三ノ二八九下、半日)</p> <p>松平鎌三郎 の卒去(三ノ二四八下、半日)</p>	<p>府中とまりこの並—(三ノ五四八下、石楠)</p> <p>松浦左内 (四ノ七四四下、一話)</p> <p>松飾 八王子正月の—(三ノ六五七下、玉砂)</p> <p>松下源左衛門 (四ノ四一七上、一話)</p> <p>松島 奥女中—卒去(三ノ二四九上、半日)</p> <p>松茸 乾—香の失さる法(三ノ五六九上、百舌)</p> <p>松平氏 松平諸家(四ノ七〇八下、一話)</p> <p>松平石見守 の俳號(四ノ六六〇上、一話)</p> <p>松平越前守 の加増(三ノ二八九下、半日)</p> <p>松平鎌三郎 の卒去(三ノ二四八下、半日)</p>
--	--	--	---	---

<p>松平定信 老中御免(三ノ四〇三上、半日)</p> <p>—所司代引渡に付家中へ被仰渡(四ノ二二四下、一話)</p> <p>冢田虎幸白川侯文(三ノ一五三上、半日)</p> <p>白川侯和歌(五ノ二五七上、一話)(四ノ四四八上、一話)</p> <p>白川樂齋鍋尻の詞歌(三ノ三八七下、半日)</p> <p>松平讃岐守 —名代として上京(三ノ二四五下、半日)</p> <p>松平七人衆 (四ノ七〇八下、一話)</p> <p>松平信濃守 の酒亂(三ノ三〇三上、半日)</p> <p>松平親氏 の眞蹟(四ノ二八六上、一話)</p> <p>松平鶴松 の墓(四ノ六八一上、一話)</p>	<p>松平出羽守 の葬式(三ノ四九一上、俗耳)</p> <p>松平信孝 の末裔(四ノ三六八上、一話)</p> <p>松平信綱 家士をして河越に細割を穿たしむ(四ノ六九九上、一話)</p> <p>松平乗邑 (四ノ三〇一上、一話)</p> <p>—の勝負(四ノ六九〇下、一話)</p> <p>松平伯耆守 の隱居放蕩(三ノ三〇九上、半日)</p> <p>松平正之 自ら墓所を定む(四ノ三七三上、一話)</p> <p>松平光政 備前少將法度書(三ノ四二〇上、半日)</p> <p>新太郎少將の事を配せる書(三ノ五二八下、石楠)</p> <p>松永貞徳 の傳井墓(四ノ二二</p>	<p>松永久秀 洛東在郷合戦の事(五ノ一五七下、一話)</p> <p>松前 —島郷(五ノ一四〇上、一話)</p> <p>松前藩 の奉行支配役人名(四ノ六五七下、一話)</p> <p>松蟲塚 攝津國—(一ノ二一六上、淡若)</p> <p>松本幸四郎 の狂名(二ノ二一九下、巴人)</p> <p>五粒改名(三ノ二四五下、半日)</p> <p>松本大五郎 俳優—の綽名(三ノ四八一上、俗耳)</p> <p>●マト 的 三三九四六三八—(四ノ三二二下、一話)</p> <p>●マナ 魚板 狙撃(四ノ六六六上、一話)</p> <p>眞鍋彌助 生駒家士—の忠節</p>	<p>●マヒ 舞坂 の春歌(五ノ五三一上、一補)</p> <p>●マフ 前田家 加州へ上使(五ノ五七六下、一補)</p> <p>前原伊助 赤穂浪士—(四ノ六二二下、一話)</p> <p>●ママ 眞間の繼橋 慈圓—の歌(四ノ五八四下、一話)</p> <p>●マモ 猫穴 麻布—(一ノ四五二下、武江)</p> <p>間宮敦信 (四ノ三七一上、一話)</p> <p>●マム 蝮蛇 に登れたる時の藥(三ノ七〇二下、向國)〇</p>
---	---	--	---

●マ

豆 のまやし(四ノ四六二下、一話)

一の貯蔵法(四ノ六二五上、一話)

豆男書卷 の序(二ノ三三三上、萬葉)

豆苗 井詩(四ノ四六二下、一話)

豆詩 五月晦日の(三ノ二八三上、半日)

●マユ 眉 堂上方の(四ノ三三三二上、一話)

一生を剃らざる國(四ノ二八六上、一話)

●マラ 魔羅 の辨(三ノ七一九下、金層)

●マル 丸橋忠彌 被補任末(四ノ六二〇下、一話)

召捕一件(四ノ七七三下、一話)

の碑といへるもの(三ノ五二五下、石楠)

「ケイ」慶安亂「ユイ」由井正露サモ見ヨ

丸山權太左衛門 カ士一の墓(三ノ六一一上、瓊雜)

丸架 「ハシ」橋サ見ヨ

●マン 萬葉集 遺漏(五ノ四四六下、一話)

萬葉拾穂抄 (四ノ九三三下、一話)

萬歲 の初(三ノ五〇上、半日)

禁裡の御式(五ノ四二六下、一話)

才藏(四ノ四八三上、一話)

大和 三河(四ノ三三七上、一話)

萬載狂歌集 の序(二ノ二五〇下、巴人)

滿漢事類集要 といふ書(四ノ四五五下、一話)

滿更 といふ詞(四ノ二一〇下、一話)

曼茶羅寺 越後國 故跡(五ノ一三五下、一話)

曼頭 鶴見の「ヨネ」米饅頭ヲ見ヨ

●ミイ 木伊乃 六部の一を拜せしむ(三ノ二四九上、半日)

●ミウ 三浦義明 大介と稱する事(五ノ二七七下、一話)

●ミオ みをつくし 抄(四ノ七二二)

上、一話)

●ミカ 三笠附 (四ノ八八下、一話)

三形ヶ原 の陣戦の士の廟(三ノ五三二上、石楠)

三河記 出来(四ノ三七〇下、一話)

身代觀世音 武藏國(一ノ四九二下、武江)

●ミキ 三杵餅 成瀬家の(三ノ五七九上、瓊雜)

●ミク 三熊思孝 櫻花に妙を得たり(三ノ八四六下、假世)

●ミコ 神輿 押御徒頭(五ノ二八下、一話)

●ミサ 御陵 順徳院の(四ノ七五二)

上、一話)

●ミン

三島應道 壽筵肥(四ノ五六二下、一話)

三島神社 の古文書(四ノ二四七上、一話)

●ミセ 觀世物 珍しき(三ノ四四〇下、半日)

兩國とんだ靈寶の(三ノ二七四上、半日)

鬼娘の(三ノ二八三下、半日)

の狼逃る(三ノ二八二下、半日)

放屁男の(三ノ二五四上、半日)

大曲馬の(三ノ二四一上、半日)

●ミツ

味噌 の字義(三ノ七六六上、南畝)

の名(四ノ二一〇下、一話)

三田 芝(一ノ四五二下、武江)

●ミチ 三千風 俳人 和歌三神の發句(三ノ六一七下、瓊雜)

●ミツ みつがひとつ (四ノ一〇三上、一話)

水 湖よりをとる法(三ノ五六五上、百舌)

水ぐり 「ハシ」橋サ見ヨ

水谷琢元 甚客の心掛(三ノ八三六下、假世)

水足平之允 四肥の秀才(三ノ八四二上、假世)

水帳 天正十九年(四ノ七六三上、一話)

水野十郎左衛門 の罪科(四ノ二九五下、一話)

水野隼人正 と毛利主水正殿中刃傷(四ノ三五二下、一話)

水引 の名の起(三ノ三五三下、半日)

水引餅 「ヒヤ」水廻サ見ヨ

水間沾徳 痢床の吟(四ノ一六五下、一話)

三井親和 龍湖死去(四ノ六〇三上、一話)

三又 (四ノ二二二上、一話)

蛟 伐一説(四ノ四〇三上、一話)

みての宮 (三ノ八五〇下、假世)

●ミナ 源為朝 が事(三ノ七七七下、南畝)

源滿兼 稻村殿(四ノ一六六下、一話)

源義經 (三ノ二九九上、半日)

の首語(四ノ六二五下、一話)

の下書(三ノ四〇三下、半日)

書大般若經(三ノ六六〇下、玉砂)

石狩に在りたり(四ノ六九下、一話)

蝦夷にての名(三ノ五二二上、石楠)

蝦夷の事蹟(三ノ三〇八下、半日)

<p>平泉宮王山毛越寺護經堂棟札寫 (五ノ一三五下、一話)</p> <p>源義朝 の首語(四ノ六二五下、一話) —の最期(四ノ一五九上、一話)</p> <p>源義仲 の墓(一ノ三九上、改元) 源義光 の末裔(四ノ七〇一、一話)</p> <p>源頼朝 の自筆日記(四ノ一〇九下、一話) 日光山摩多羅神は—を祭る(四ノ三〇六下、一話)</p> <p>源頼政 (四ノ一〇二上、一話) —の月(四ノ三七四下、一話)</p> <p>源頼義 の首語(四ノ六二五下、一話)</p> <p>●ミ子 峰村 といふ地名の起(三ノ六九〇上、向岡)</p>	<p>●ミノ 身延山 甲州—道(五ノ五四九上、一補)</p> <p>—七面開帳(三ノ二二九上、半日)</p> <p>—久遠寺主首目唱の罪科(三ノ二七五上、半日)</p> <p>—七面堂炎上(三ノ二六一上、半日)</p> <p>●ミナ 三橋檢校 の卒日(四ノ五四下、一話)</p> <p>●ミナ 壬生忠見 が幼時の歌(五ノ五〇五上、一話)</p> <p>●ミニ 耳 の開えぬ時の藥(五ノ三六一下、一話)</p> <p>●ミヤ 明珍 鑑巧—家譜并巧拙之評</p>	<p>(五ノ四七七下、一話)</p> <p>三宅松明 の詩(五ノ六四三上、一補)</p> <p>三宅石庵 (萬年)の松學問(三ノ八四〇上、假世)</p> <p>三宅道乙 の卒日(三ノ一一三上、半日)</p> <p>宮古路豊後 の碑(四ノ一二八上、一話)</p> <p>宮地 奥女中—の亂行并刑罰(四ノ一三七下、一話)</p> <p>宮崎友禪 幽禪染の祖—(三ノ四九一上、俗耳)</p> <p>宮崎文庫 (四ノ七七下、一話)</p> <p>宮本武藏 の書(五ノ一七三上、一話)</p> <p>都鳥 隅田川の—(一ノ四三四下、武江)</p> <p>都名勝圖會 の圖の筆者(四ノ一二四上、一話)</p>	<p>●ミリ 味淋 —耐(四ノ二二〇下、一話)</p> <p>●ミロ 彌勒 といふ年號(三ノ八二三下、假世)(四ノ四五五下、一話)(五ノ四九七下、一話)</p> <p>●ミワ 三輪物語 —抄(四ノ二〇二下、一話)</p> <p>●ミン 明樂 姫路侯—(四ノ五五六下、一話)(四ノ四五四上、一話)</p> <p>明詩擢材 (五ノ四三九上、一話)</p> <p>●ムカ むかし物語 —抄(四ノ五一二上、一話)</p>
--	---	--	--

<p>向島 —賦(二ノ二七下、四句)</p> <p>向か岡 といふ地(三ノ六八六上、向岡)</p> <p>●ムク 六くさ といふ言葉(三ノ五三九下、石楠)</p> <p>土龍 千年—(三ノ二八二下、半日)</p> <p>●ムサ 武藏國 兩國橋以東—に編入 されし時代(三ノ四六二上、瀬田)</p> <p>—名所(一ノ四八二下、武江)</p> <p>—各郡の人口(四ノ七五三下、一話)</p> <p>—下越國の國境(一ノ四八四上、武江)(四ノ五八四上、一話)</p> <p>武藏志料 に係てよめる長狀并約狀(三ノ一八四上、半日)</p>	<p>武藏野 (三ノ三八四下、半日) —十二社(三ノ六九九上、向岡)</p> <p>武藏野 跡—(三ノ七五下、四留)</p> <p>武藏野話 といふ書(三ノ二〇七下、半日)</p> <p>●ムシ 狸塚 といへる地(五ノ三二七上、一話)</p> <p>虫齒 「ムシ齒」見</p> <p>武者小路實隆 の卒日(四ノ二二二上、一話)</p> <p>—富士山の歌(四ノ三七五下、半日)</p> <p>無宿 —者御書付(三ノ二八二下、半日)</p> <p>無食子 没食子(三ノ五一五上、一話)</p> <p>●ムス 無宿 没食子(三ノ五一五上、一話)</p>	<p>結ひ柳 靜女の—(三ノ七〇〇下、向岡)</p> <p>娘 を五文字といふ(三ノ二〇三上、半日)</p> <p>娘評判記 を賣出す(三ノ二二七下、半日)</p> <p>●ムツ 襦袢 (三ノ一七下、半日) —の本儀(三ノ一八下、半日)</p> <p>●ム子 宗近 「サン」三條宗近ヲ見</p> <p>●ムラ 村 といふ稱呼の始(五ノ二七八上、一話)</p> <p>村岡氏 の系圖(三ノ一九四、半日)</p> <p>村岡鐵之助 (五ノ一四二下、一話)</p> <p>村田春海 が萩をめぐる詞(五ノ四三三下、一話)</p>	<p>村觸 文化元年御勘定奉行より—(三ノ一六八上、半日)</p> <p>村松喜兵衛 赤穂浪士—次男 大島(流さる)四ノ七七九下、一話)</p> <p>紫草 暖簾に—を付くる事(一ノ一九上、紫若)</p> <p>紫式部 が源氏の問(一ノ一三七上、毛皮)</p> <p>●ムロ 室鳩巢 の小傳(三ノ四七六下、瀬田)</p> <p>室直清 の書簡(五ノ一八二上、一話)</p> <p>●メイ 名義備考 といふ書(四ノ一四五下、一話)</p>
---	--	--	--

<p>名所和歌 といふ書(三ノ一八 五上、半日)</p> <p>冥懷 といふ語(四ノ六六七下、一話)</p> <p>明倫堂 尾州の學校(四ノ六 七下、一話)</p> <p>明暦三年 日記抄(四ノ三二三 上、一話)</p> <p>明和伎鑑 役者評判(三ノ 二二七下、半日)</p> <p>●メウ</p> <p>妙國寺 和泉國堺(二ノ二 八上、葉書)</p> <p>妙日寺 貫名山(二ノ二 下、改元)</p> <p>●メク</p> <p>めぐりかると の制禁(三ノ二 五五下、半日)</p> <p>目薬 目洗薬(三ノ五六九下、百 舌)</p>	<p>目黒 武蔵(一ノ四五二下、武 江)</p> <p>の地名(三ノ七九二下、南 畝)</p> <p>●メサ</p> <p>目ざまし草 烏丸光廣卿の 抄(四ノ八四一上、一話)</p> <p>●メシ</p> <p>目白不動 東叡山十五景(二ノ 三〇八下、萬葉)</p> <p>時の鐘供養(四ノ九二下、一話)</p> <p>●メテ</p> <p>めて九百首夷歌 の序(二ノ 五二下、四留)</p> <p>●モク</p> <p>木香花 (四ノ六六九上、一話)</p> <p>木犀花 陳白沙(か愛す(四ノ 五三九下、一話)</p>	<p>木食上人 高野山の(五ノ 一六三下、一話)</p> <p>木室卯雲 の發句(三ノ八〇〇 上、奴風)</p> <p>の狂歌并狂歌集(三ノ八〇 〇下、奴風)(三ノ八一〇上、奴 風)</p> <p>の頓智(五ノ四四一上、一 話)</p> <p>の酒脱(五ノ四四〇下、一 話)</p> <p>木炭 正徳六年(相場(五ノ一 九一上、一話)</p> <p>木端 栗阿亭(の慕(二ノ二 五下、葉書)</p> <p>木母寺 の縁起(五ノ五七四下、 一補)</p> <p>土龍 「ムク」土龍ヲ見ヨ</p> <p>●モス</p> <p>茂睡記 (四ノ三八〇上、一話)</p>	<p>百舌の草莖 の序(三ノ五五〇 上、百舌)</p> <p>●モチ</p> <p>餅 葵葩(四ノ三三〇上、同三三 二上、一話)</p> <p>小豆(四ノ三三〇下、一話)</p> <p>水(四ノ六六六上、一話)</p> <p>芝居三階の(の名(三ノ四九一 上、俗耳)</p> <p>餅屋 の張札(三ノ四八五上、俗 耳)</p> <p>持河宗助 佐竹家士(五ノ 五四七下、一補)</p> <p>辰摺石 の圖(三ノ七五八下、南 畝)</p> <p>●モト</p> <p>元なし草 といふ書(三ノ七一 七上、金層)</p> <p>元空綱 の風俗(三ノ八〇六上、 奴風)</p>
---	---	--	---

<p>本居春庵 を嘲る歌(三ノ七〇 九下、向阿)</p> <p>●モノ</p> <p>尺度 は手渡しせぬものといふ俗 言(三ノ七五〇上、南畝)</p> <p>●モミ</p> <p>紅葉 武州秩父の(三ノ八二 〇下、假世)</p> <p>脚友夏(か愛す(四ノ五三九 下、一話)</p> <p>鳴島遊筑(の文(四ノ一九八 上、一話)</p> <p>紅葉山十六將 の位牌(四ノ二 六〇下、一話)</p> <p>●モメ</p> <p>木綿 の相場(四ノ四六三上、一 話)</p> <p>●モモ</p> <p>桃 駒原の(林(四ノ四四五上、一 話)</p>	<p>安藤國佐東新庄の(三ノ二二 二下、半日)</p> <p>桃井若狭之介 忠臣蔵淨瑠璃 に現れたる(の實説(三ノ 七二上、半日)</p> <p>●モヤ</p> <p>模様 禁中に木瓜の(をつける 事(四ノ三三三上、一話)</p> <p>●モラ</p> <p>貫兒 殺(三ノ三二二下、半 日)</p> <p>●モリ</p> <p>もりの雫 といふ書(三ノ七一 七上、金層)</p> <p>森崎明神 長崎(の舊地(三 ノ六二三上、瓊文)</p> <p>森祖仙 畫家(の媛(三ノ八四 五上、假世)</p> <p>森蘭丸 が本能寺の装(四ノ五〇 八下、一話)</p>	<p>●モン</p> <p>紋章 葵御紋の事(五ノ五七四下、 一補)</p> <p>蒲生氏舞鶴の(の來由(三ノ 一八八下、半日)</p> <p>鶴の丸(三ノ一〇四下、半日)</p> <p>水野家の(四ノ七〇一上、一 話)</p> <p>盤板(四ノ七〇一上、一話)</p> <p>文字 同意(三ノ三三三上、半日)</p> <p>字典抄書(三ノ一〇四上、半日)</p> <p>●ヤア</p> <p>野翁物語 抄三條(五ノ四 二四下、一話)</p> <p>●ヤイ</p> <p>也有 俳人(傳(五ノ二五下、一 話)</p> <p>の發句(四ノ二二四下、一 話)</p>	<p>●ヤウ</p> <p>養安院 の藏書(五ノ二二四下、 一話)</p> <p>養源寺 駒込(鐘銘(五ノ三四 九下、一話)</p> <p>養生 の妙術(三ノ七八二上、南 畝)</p> <p>養川院法印 の忌日(四ノ五三 九下、一話)</p> <p>養福寺 日暮里(の鐘(五ノ三 四九上、一話)</p> <p>養老瀧 美濃國(三ノ二二八 上、半日)</p> <p>楊貴妃 の桐井墓(三ノ七五三 下、南畝)</p> <p>楊枝 の名(三ノ三五二下、半日)</p> <p>楊枝屋お藤 いてう娘(の評 判(三ノ二二七上、半日)</p> <p>楊誠齋詩集 といふ書(四ノ六</p>
---	--	---	--

<p>楊大年 六九上、一話</p> <p>楊大年 祭皇后文(五ノ三七 四下、一話)</p> <p>楊朴 の詩(四ノ三九一上、一話)</p> <p>●ヤウ</p> <p>藥草 白山御藥園の(四ノ四 四九上、一話)</p> <p>藥師 の功徳(四ノ四八上、一話)</p> <p>木下川(三ノ三九一下、半 日)</p> <p>藥籠 (三ノ三五三上、半日)</p> <p>役人 江戸踏—風俗(五ノ二〇 上、一話)</p> <p>七十歳以上の(三ノ四四五 下、半日)</p> <p>幕府—役者見立(三ノ二九四 下、半日)</p> <p>幕府—のおいらんはなし(三ノ二九五下、半日)</p> <p>疫病 の流行(三ノ二四八上、半 日)</p>	<p>流行に付人妻被下(三ノ二 四八下、半日)</p> <p>「ヒヤ」病氣ナモ見ヨ</p> <p>●ヤケ</p> <p>藥研堀 新地の圃(三ノ二三七 上、半日)</p> <p>●ヤコ</p> <p>野語述説 —抄(五ノ二九六 下、一話)</p> <p>●ヤシ</p> <p>夜刃神 青山長谷寺の(五ノ 三五〇上、一話)</p> <p>矢鏃圖鑑 といふ書(四ノ六一 二上、一話)</p> <p>屋代弘賢 の和歌(四ノ五九八 下、一話)</p> <p>安原南潤 が郊行尋春の詩(三ノ 八九上、半日)</p>	<p>安松金右衛門 松平伊豆守家 士—河越に刺刺を穿つ(四ノ 六九九上、一話)</p> <p>●ヤツ</p> <p>耶蘇教 切支丹古文書(五ノ五三 五下、一補)</p> <p>阿闍陀人へ申渡御書付二通寫 (五ノ六二上、一話)</p> <p>轉切支丹類族(四ノ六八七下、一 話)</p> <p>●ヤツ</p> <p>やつがれ 臣僕(四ノ四三五上、 一話)</p> <p>八手 の漢名(三ノ五一九上、週 遊)</p> <p>八橋檢校 の卒日(四ノ五四下、 一話)</p> <p>●ヤナ</p> <p>柳 堤防に—を挿す時候(三ノ六 八九上、向岡)</p>	<p>移—記(二ノ一一九上、文稿)</p> <p>柳川ともよ 女力持—(三ノ 二六〇上、半日)</p> <p>柳澤吉保 の詩(四ノ六八三上、 一話)</p> <p>—昇進の順序(三ノ四六九上、 瀬田)</p> <p>胡録 福島正則—の圖(五ノ三 二上、一話)</p> <p>梁田蛻巖 の書翰(四ノ七六七 下、一話)</p> <p>梁田才右衛門 の花押(五ノ三 七七下、一話)</p> <p>●ヤネ</p> <p>屋根 木賊茸、柳茸、木柿茸(四ノ 三四二上、一話)</p> <p>茅屋改瓦(四ノ七二四下、一話)</p> <p>—生毛(四ノ三〇二下、一話)</p> <p>屋根職 明暦三年江戸—の工 賃(四ノ三一四上、一話)</p>
---	---	---	--

<p>●ヤノ</p> <p>矢の根五郎 の狂言(三ノ四三三 七上、半日)</p> <p>●ヤフ</p> <p>やぶぜり (四ノ三〇六上、一 話)</p> <p>野夫鑑 の序(二ノ五八上、四留)</p> <p>流鏑馬 天満天神—神事(二ノ 一二二上、交若)</p> <p>高田馬場—(三ノ二七二下、半 日)</p> <p>破傘 一節切の曲—といふ書 (四ノ七七上、一話)</p> <p>●ヤホ</p> <p>やぼてん といふ俗語(二ノ二 七九上、調布)</p> <p>八百屋お七 の墓(四ノ八四下、 一話)(二ノ四七五下、武江)</p> <p>●ヤマ</p>	<p>山嵐 といふ奇歌并圖(三ノ二四 二下、半日)</p> <p>山岡俊明 の傳(四ノ五四下、一 話)(三ノ八一六下、假世)</p> <p>明阿彌の文(三ノ一八四下、半 日)</p> <p>送山岡阿房(二ノ一〇九下、文 稿)</p> <p>山岡瀬兵衛 由緒書(三ノ一四 七上、半日)</p> <p>山和尚 といふ鐘(四ノ五四三 上、一話)</p> <p>山鹿玄庵 の墓(二ノ五〇五上、 武江)</p> <p>山鹿素行 が事(三ノ四七〇下、 瀬田)</p> <p>—が海なき國の歌(三ノ八三 三上、假世)</p> <p>山鹿高基 の墓(二ノ五〇五上、 武江)</p>	<p>武江)</p> <p>山縣周南 の略傳(四ノ四六〇 下、一話)</p> <p>山左 の字(四ノ四三二下、一話)</p> <p>山口宗永 —作長橋(四ノ五 四五上、一話)</p> <p>山崎宗鑑 が幽居の地(四ノ一 二二上、一話)</p> <p>—庵の掟(四ノ四三〇上、一 話)</p> <p>—の狂歌(四ノ二二一上、一 話)</p> <p>—が事(三ノ二一〇上、半日)</p> <p>山崎橋 山城國—興廢(四ノ五 六五上、一話)</p> <p>橋本之橋跡(四ノ五六五下、一 話)</p> <p>山崎與次兵衛 の事(四ノ七三 二上、一話)</p> <p>山下次郎三 俳優—の籍名</p>	<p>山田仙之助 —一件(三ノ三 二二上、同三二二上、半日)</p> <p>山田長政 (四ノ一〇下、一話)</p> <p>山路才助 著書を献ず(四ノ七 四八上、一話)</p> <p>山手白人 狂歌師—客を招請 せる時の献立(三ノ五〇七上、 俗耳)</p> <p>山猫 「イン」隠賢女ヲ見ヨ</p> <p>山の根 といふ頂上なり(三ノ 一一一上、半日)</p> <p>山本維碩 (四ノ一四六上、一 話)</p> <p>山燒 秋田—(五ノ五七八上、一 補)</p> <p>日本武尊 讚留靈王(四ノ五四 四上、一話)</p> <p>大和本草 具原氏の—中の事 (三ノ五二九下、石楠)</p>
--	--	---	--

大和小學 —抄(四ノ一〇二)

上、一話)

薯蕷 の田樂(五ノ四四〇上、一話)

話)

私領—(四ノ七六四下、一話)

●ヤリ

鎗 取用—の始(三ノ三五三下、半)

話)

●ヤロ

やろふ蓋 といふ名(三ノ三五三上、半日)

三上、半日)

●ユイ

由井正雪 が實説(三ノ四六八上、瀬田)

上、瀬田)

—の騒動(四ノ五〇三上、一話)

話)

●ユウ

熊織江 畫家—傳(四ノ五三八)

上、一話)

融通念佛 の縁起(四ノ二五六下、一話)

下、一話)

●ユキ

雪 文化六年の大—(三ノ七三〇下、金層)

下、金層)

美濃越前の—書(三ノ六五九下、玉砂)

玉砂)

京都井越前の大—(三ノ六五六下、玉砂)

下、玉砂)

但馬國大—(三ノ二八九下、半日)

日)

雪の盛 歌に—といふ事(四ノ三七五下、一話)

三七五下、一話)

雪見 のことば(二ノ八八上、四あ)

遊行寺 藤澤山字寶神縁起(三ノ一一五上、半日)

一、一五上、半日)

藤澤山寶物の引(三ノ一二三下、半日)

半日)

遊行上人 の廻國(三ノ一二一)

上、半日)

●ユシ

湯島天神 の開帳(三ノ二七三下、半日)

下、半日)

●ユス

野櫻桃 (四ノ三六七上、一話)

野櫻桃

●ユフ

結城陣 —年月(四ノ七〇一)

下、一話)

夕霧 遊女—の句(四ノ七二上、一話)

一話)

—本日(四ノ七二上、一話)

幕(二ノ六二上、遊若)

鬼貫棒—(四ノ七二下、一話)

夕霧阿波鳴戸 淨瑠璃—の事實(二ノ六二下、遊若)

事實(二ノ六二下、遊若)

●ユメ

弓 願成(四ノ三七四下、一話)

「キウ」百術チモ見ヨ

弓町路考 「オノ」尾上松之盛ヲ見ヨ

弓絃 くすね(四ノ三七五上、一話)

話)

●ユメ

夢 肥—(五ノ三七五上、一話)

徳川家康吉—を買ふ(三ノ二二三上、半日)

葛西太郎が家の妻が奇—(三ノ五二二下、石楠)

陸尺奇—(三ノ三二四下、半日)

盜賊奇談(三ノ三〇五下、半日)

夢見か崎 太田道灌舞夢の地なる—(三ノ七〇二上、向阿)

●ユメ

夜商人 の印札(三ノ四五〇下、半日)

●ユイ

上、半日)

よ〜〜 といふ病氣(三ノ二〇七上、半日)

●ユウ

ようさやてらさ (四ノ三四〇上、一話)

○上、一話)

擁書城 近藤正齋が—(三ノ一八二上、半日)

八二上、半日)

用堂和尚 後醍醐天皇姫宮東慶寺五世—(四ノ七八一、一話)

話)

●ヨカ

與勘平 といふ音楽(三ノ二七一、下、半日)

下、半日)

●ヨコ

横川勘平 宗利書狀(四ノ六四〇上、一話)

○上、一話)

横田袋翁 の和歌(四ノ六二七上、一話)

上、一話)

横田筑後守 の御役御免(五ノ五六七下、一話)

五六七下、一話)

横山數馬 冷泉爲村贈答和歌(四ノ三四四下、一話)

(四ノ三四四下、一話)

●ヨシ

吉川惟足 神道者—(五ノ五一〇上、一話)

一〇上、一話)

—盆の歌(三ノ三八八上、半日)

日)

芳澤あやめ の狂名(二ノ二二〇上、巴人)

○上、巴人)

芳澤崎之助 俳優—改名(三ノ二八四下、半日)

ノ二八四下、半日)

吉田追風 が相模免許の寫(五ノ一七下、一話)

ノ一七下、一話)

吉田兼見 (四ノ七八下、一話)

吉田仙吉 小普晴組—一件(三ノ二五七上、半日)

(三ノ二五七上、半日)

吉田忠左衛門 赤穂浪士—次男大島へ流さる(四ノ七八〇上、一話)

○上、一話)

吉田蘭香 哭齋人—(三ノ三三七上、半日)

三三七上、半日)

三七上、半日)

—主人へおくる言葉(二ノ二四〇上、巴人)

四〇上、巴人)

吉田李園 を祝する—ことば(二ノ四四下、四あ)

ノ四四下、四あ)

吉原遊廊 新吉原根元の事(三ノ四二五上、半日)

ノ四二五上、半日)

—櫻植付の始(三ノ四三六下、半日)

半日)

—の編笠茶屋(三ノ八二四上、假世)

假世)

—中の町茶屋に不幸ある時の贈物(三ノ六五八上、玉砂)

(三ノ六五八上、玉砂)

—の忌言葉(三ノ七三六下、金層)

層)

—總人数(三ノ一四二上、半日)

日)

—新吉原焼失并火龍骨(三ノ二二四上、半日)

四上、半日)

—明和八年—焼失(三ノ二二三上、半日)

二二三上、半日)

上、半日)

—里の花燈籠の肥(二ノ六九下、四留)

留)

—かくれ里の節(二ノ一一七上、巴人)

上、巴人)

—吉原細見 の序(二ノ二四一上、延享三年—序(三ノ二二三上、半日)

二二三上、半日)

●ヨセ

寄席 隣席にて書物を圖にて出す(三ノ二七上、金層)

(三ノ二七上、金層)

寄場人足 へ被仰渡書付(三ノ一四〇上、半日)

一四〇上、半日)

●ヨタ

夜鷹 香山和尚—の狂詩(三ノ八三三下、假世)

八三三下、假世)

●ヨツ

世織物語 の縁(三ノ一一二下、半日)

半日)

四谷 の御州(一ノ四四二下、武

四四二下、武

江)

—に武家屋敷出来し始(三ノ四六七上、瀬田)

●ヨト

淀河 尾藤三洲—の詩(三ノ一三下、半日)

淀殿草 「ヨガ」かれ花ヲ見ヨ

淀の水車 (三ノ七〇上、半日)

淀屋三郎右衛門 の欄所道具

(五ノ二三八上、一話)

●ヨナ

夜泣 小兒—を留る法(三ノ三五一上、半日)

●ヨネ

米澤城 羽州—内の御堂(三ノ三八九上、半日)

米の賀 (五ノ三五上、一話)

米饅頭 の歌(三ノ六六一上、五砂)

●ヨフ

呼子鳥 は歌道の秘(四ノ二二上、一話)

●ヨマ

夜廻 市中—(三ノ二四七下、半日)

●ヨモ

蓬田 平将門の古跡下地—(四ノ三四八下、一話)

四方真顔 の長歌(五ノ四三四上、一話)

—机裏に詠てよめる長歌(五ノ二五九下、一話)

送—旅行詞(二ノ六〇上、四留)

●ヨラ

與樂寺 田畑—は六阿彌陀四番本尊に非ず(四ノ七二六上、一話)

●ヨリ

與力 根來組—同心の來由(三ノ四七六上、瀬田)

●ヨロ

の脇を合せる事(四ノ六〇上、一話)

●ヨイ

雷 大—(三ノ二五四下、半日)

寛文中大阪天守—火注進狀(四ノ六七三上、一話)

安永三年江戸各町の落—(三ノ三九上、半日)

寛政七年江戸各町の落—(三ノ三六下、半日)

寛政九年落—場所(三ノ四五二下、半日)

雷斧 (四ノ三六六上、一話)

來許 俳人櫻待庵—(一ノ三〇四下、開布)

—の歌仙并發句(三ノ六六四)

下、玉砂)

頼政藤 「ヨミ」ヨチ見ヨ

●ラウ

蠟 半—さらし燐(三ノ五六七下、百舌)

鯨油のおり—にする秘傳(三ノ五六七上、百舌)

蠟燭 一寸—の法(三ノ五七三上、百舌)

雨中—の法(三ノ五六八下、百舌)

風前燭の法(三ノ五六九上、百舌)

臘月 「シフ」十二月ヲ見ヨ

●ラカ

羅漢 十六—十八—(三ノ八〇八上、奴風)

羅漢寺 (四ノ七三下、一話)

本所—住職代々(一ノ四四一上、武江)

羅漢石 増上寺—の銘(三ノ五二三上、石楠)

●ラク

落 村—部—の—(四ノ二一八上、一話)

落語 助六狂言に付ての—(三ノ四四二下、半日)

新吹金の—(三ノ二八九上、半日)

菅原手習鑑に付ての—(三ノ四三七上、半日)

—寶船(三ノ六五五下、玉砂)

落首 寛政八年勢州百姓騒動の—(四ノ八一九下、一話)

寛永寺本坊炎上の—(三ノ二四五下、半日)

安永改元の—(三ノ二四六上、半日)

安永年間—(三ノ二五一下、半日)

有栖川宮御馳走御能に付て—(三ノ二五四上、半日)

霖雨に付—(三ノ二五七下、半日)

川井越前守死去に付—(三ノ二五七下、半日)

徳川種姫養女に付—(三ノ二五八上、半日)

淺草日輪寺能狂言の—(三ノ四八五上、俗耳)(三ノ二五四下、半日)

永代橋陥落の—(五ノ五三七下、一補)

落書 蔵宿町人禁獄に付て—(三ノ二八二上、半日)

御麻谷出火—(三ノ二八二下、半日)

流行—(五ノ四二五下、一話)

樂彼園 大村氏—の碑(三ノ五三五上、石楠)

樂燒 といふ名(三ノ三三二上、半日)

羅姑野錄 といふ書(四ノ三〇六下、一話)

羅城門 の札(四ノ三三八上、一話)

らちあかぬ といふ詞の出處(四ノ三三六上、一話)

羅念庵文集 —抄(五ノ四一四上、一話)

蘭 千鳥—(三ノ六一九下、瓊糖)

符葉—(三ノ六二二上、瓊糖)

亂曲 のよみ方(四ノ二〇九下、一話)

亂暴 宮橋御門前あはれもの(三ノ三〇四下、半日)

嵐雪 が三勝半七手向の句(三ノ七三五下、金層)

龍 求—説(四ノ二一四下、一話)

—天に昇る(三ノ四四八下、半日)

龍興寺 小石川—什物(五ノ二八六上、一話)

龍眼寺 萩寺(五ノ四二五下、一話)

龍眼樹 (四ノ三〇五上、一話)

龍骨 といふもの(三ノ五一六上、遊遊)

—を掘出す(三ノ五三四上、石楠)

龍山寺 三州—の額(三ノ五三三下、石楠)

龍土 麻布——(一ノ四五一上、武

江)

龍燈 筑波山——(五ノ五四六下、

一補)

泉州堺浦の——(四ノ三三五

上、一話)

龍騰 の原料(五ノ三六上、一話)

流行 の風俗(三ノ四四四上、半

二)

寛文年中當世——物(五ノ四三

〇下、一話)

寛政八年江戸の——もの(三ノ

三九一上、半日)

琉球國 (四ノ四九九上、一話)

——事略(四ノ一五四下、一話)

——王日本中華の交易を介す

(四ノ二八上、一話)

——王の書(四ノ二二八上、一

話)

承應二年復——書(四ノ二二七

下、一話)

天和二年復——書(四ノ二二八

上、一話)

永享十一年復——書(四ノ二二

八下、一話)

應永二年復——書(四ノ二二九

上、一話)

中山王書(四ノ二二九下、一話)

——副返翰(四ノ二四〇上、一話)

中山王の石高(四ノ二二九上、一

話)

——の難(五ノ二二九上、一話)

琉歌一編(四ノ二二九下、一話)

——朝宗の事(五ノ五五五上、一

補)

——の樂器(四ノ二二七下、一

話)

琉歌并唐曲(四ノ二二三下、一

話)

——九品位(四ノ二二九上、一

話)

奉養樂儀註(三ノ三四一上、半

日)

琉球人 寶徳三年——來朝(四ノ

二二八下、一話)

——明和元年——來朝書付(四ノ二

二九下、一話)

——寛政二年來朝——姓名(四ノ二

三六上、一話)

——寛政八年——來朝の姓名(四ノ

三八八上、一話)

——登城之節之書付(四ノ二四

一上、一話)

琉球聘使の詩(四ノ五〇九上、一

話)

——觀中山國聘使入觀歌并序(四ノ

五六一上、一話)

——宜野灣王子宿士の詩歌(四ノ二

四〇上、一話)

隆光 護持院——の碑(四ノ四一

二下、一話)

立圃 の發句(四ノ一一三下、一

話)

●リキ 力婦傳 といふ書(三ノ二六〇

上、半日)

●リク 陸璣 清人——(三ノ五一四下、週

遊)

●リシ 離情詩話 の序(四ノ三七八上、

一話)

●リタ 李太白 の碑(四ノ七二五上、一

話)

●リツ 栗花集 の序(二ノ三九下、四あ)

立正安國論 (四ノ二〇二上、一

話)

●リト

吏登 露申庵——の卒日(三ノ八

〇〇上、奴風)

●リハ

理髮 の道具(四ノ六三上、一話)

理髮店 本會道中——の看板(三

ノ八〇九上、奴風)

●リヒ

痢病 を受けざる法(三ノ五七三

下、百書)

●リズ

利瑪竇 晴道大西洋國人——疏

(五ノ三二三上、一話)

●リヤ

良家 と書て馬人と讀む(三ノ七

四上、半日)

兩替店 井鐘屋へ御願(三ノ二五

〇下、半日)

兩國橋 (一ノ四三九下、武江)

——渡初(三ノ二一〇上、半日)

——の繁昌(三ノ七三〇上、金

曆)

——向築出新地(五ノ四一二上、

一話)

——の納涼(一ノ四三四下、武

江)

●リニ

亮朝院 高田——(五ノ五九三

下、一補)

量目 輕重雜記(四ノ五下、一話)

●リヨ

凌雲院 上野——一作(三ノ二四

四上、半日)

——圓録(三ノ二四七下、半日)

——勸請圓稻荷の事(五ノ四一

下、一話)

●リリ

李笠翁 の詩(四ノ六〇四上、一

話)(三ノ五四五上、石楠)

●リン

霖雨集 ——抄(四ノ五九三上、

一話)

鄰交提醒 ——抄(四ノ七一五

下、一話)

繪旨 曆應五年——の寫(四ノ三

八三上、一話)

淋病 の妙藥(三ノ五六六上、百

書)

●ルス

留守居 ——役の始(五ノ五三九

上、一補)

——諸侯——仕置(三ノ一六八下、半

日)

——組頭(四ノ七三九上、一話)

呂宋國 の番筋(四ノ一三三下、

一話)

●レイ

靈雲院 深川——の建立(三ノ四

一話)

四一上、半日)

靈會日鑑 といふ書(四ノ八八

上、一話)

綠書郭有道碑 二二本あり(三

ノ五三五上、石楠)

冷泉爲村 横山數馬——贈答和

歌(四ノ三四四下、一話)

鈴録 といふ書(三ノ八三五下、假

世)

●レウ

蓼太 の發句(三ノ六八六下、向

岡)

——が發句の漢譯(三ノ七六五

下、南鼓)

——の凶句(四ノ七四〇下、一

話)

——火災中に百酌をなす(三ノ

二三九上、半日)(三ノ七九九

下、奴風)(三ノ八四二上、假

世)

<p>大田南畝と會す(三ノ七九 九下、板屋)(三ノ八四二上、假 世) ——太平神の贊(四ノ五五四上、 一話) 光岳寺——の句碑(三ノ七二六 上、金層) ●太葉 の序(二ノ二五九上、巴 人) 料理 御當家御佳例正月元日獻立 (三ノ一六下、半日) 白鳥——被下(三ノ二五〇下、半 日) 藤五獻立(三ノ六〇五上、瓊雜) 珍らしき——(三ノ六五六下、玉 砂) 清水御屋形御成の節表御供方御 ——物調(五ノ一九七下、一 話) 天明三年洲崎津浦備食次回(五</p>	<p>ノ二九七下、一話) 望汝備招客の獻立(三ノ五〇八 上、俗耳) 狂歌師山手白人招客の獻立(三 ノ五〇七上、俗耳) 御——御儉約を解く(三ノ二四 七下、半日) 料理人 祝阿彌の獻立(三ノ五〇 八上、俗耳) ●レツ はつこの假名略類(四ノ六 五下、一話) 烈女 傳 (四ノ五四一上、一話) ●レン 連歌 (四ノ五八下、一話)(四ノ 一〇下、一話) ——の式(三ノ二〇八下、半日) ——の作意(四ノ二一〇上、一 話) ——の發句(四ノ七二下、一話)</p>	<p>徳川慶應夢想の——(三ノ一三 二下、半日) 北條氏綱——(三ノ七六上、半 日) 寛政七年柳營——(三ノ四四八 下、半日) 寛政八年柳營——(三ノ四五 一上、半日) 寛政九年柳營——(三ノ四五二 上、半日) 寛政十年柳——(三ノ五一 下、半日) 文化八年柳營——(四ノ七二〇 下、一話) 連歌師 ——次第(三ノ二〇八 下、半日) 聯句 和漢、漢和(四ノ四八五上、 一話) 蓮空 井蓮蓮の歌(四ノ七五二上、 一話)</p>	<p>蓮光院 (三ノ二五五上、半日) ●ロウ 樓洲 俳人森——(四ノ六三〇上、 一話) ●ロク 家來の——を信る(四ノ四二四 上、一話) 六阿彌陀 の四番本尊(四ノ七 二六上、一話) 六郷 二ノ四五四下、武江) 六郷橋 武州——(四ノ四七一 上、一話) 六歌仙 の贊(二ノ一八四下、千 歳)(二ノ二三九上、巴人) 六月朔日 の雜煮(三ノ二八三 下、半日) 六樹園 「イシ」石川雅喜見 六地藏川岸 淺草——(二ノ四</p>
--	---	--	--

<p>七二上、武江) 轆轤首 飛頭祭(五ノ一一六下、 一話) ●ロシ 露西亞 (三ノ五八下、瓊雜) 俄羅斯の旗(三ノ六〇二下、瓊 雜) ——の事書きし書(三ノ六一四 上、瓊雜) ——の唐山に通せし時代(三ノ 五二二下、遊遊) 寛政五年オロシヤ船入津の儀ニ 付御書取(二ノ四六二上、尺 廣) 露西亞人 蝦夷地へ——來る (五ノ五九〇下、一補) ●ロス 鷺水 俳人——の發句(三ノ六一 七下、瓊雜) ●ロテ</p>	<p>露店 ホシミセ(三ノ六九二下、向 四) ●ロン 論語 古寫本——の末書(三ノ八 二九下、假世) 論語要文 ——抄(四ノ八三一 上、一話) 論より證據 といふ証(三ノ五 三〇下、石楠)</p>	<p>見ヨ 王世吉 の詩(四ノ六〇二下、一 話) 王寧宇 醫藥竹堂五雲子傳(三ノ 一四九下、半日) 黃克晦 の畫(四ノ五三〇上、一 話) 往生傳 の書類(五ノ五三二上、 一補) ●ワカ 若木の櫻 の制札(三ノ七五九 下、南畝) 若俗 といふ詞(四ノ四八下、一 話) 和歌三神 鷺水——の發句(三 ノ六一七下、瓊雜) 三千風——の發句(三ノ九〇下、 半日) 和漢同詠衆 の序(二ノ五六下、 四留)</p>	<p>●ワキ 脇坂侯 の藏書印(五ノ三三四 下、一話) ●ワコ 和琴 善福寺の——(四ノ二五二 上、一話) ●ワス 和推 俳人——の發句(五ノ四四 一上、一話) ●ワセ 早稻田太神宮法樂 の文井歌 (二ノ二八下、四あ) ●ワタ 渡船 三國稻荷開帳の節の——鏡 (三ノ七八下、半日) 渡邊永壽尼 の墓銘(五ノ一四 五上、一話) 渡邊幸庵 (四ノ七六一上、一 話) ——出生と卒年(三ノ八五四上、</p>
---	--	---	--

假世)
 —の歌(五ノ三七上、一話)
 —の詩歌(五ノ三八上、一話)
 —連歌の名(五ノ三六上、一話)

—の書置(五ノ四〇下、一話)
 —の父(五ノ四一上、一話)
 —の妻(四ノ七六下、一話)
 ●ワニ
 鱈口 文龜三年の—(三ノ七〇)

○下、向阿)
 ●ワフ
 和文 躬絃—井和歌(五ノ二〇
 二下、一話)
 ●ワラ

笑 抱腹(四ノ四八九上、一話)
 ●ワソ
 碗 河内古市玉—の肥(五ノ二二
 八下、一話)

蜀山人全集索引終

明治四十一年九月廿二日印刷
 明治四十一年九月廿五日發行

新百家
 説林
 蜀山人全集索引

編輯兼
 發行者
 代表者
 合資
 會社
 吉川弘文館

吉川半七
 東京市京橋區南傳馬町一丁目三番地

印刷者
 廣瀨鐘太郎
 東京市本所區番場町四番地

印刷所
 內外印刷株式會社
 東京市本所區番場町四番地



發行所

東京市京橋區
 南傳馬町一丁目
 合資
 會社
 吉川弘文館
 振替貯金口座二四四番

製本由美

